

幼儿教育学科

2023 年 4 月 1 日 更新

2023 年 4 月 26 日 更新

2023 年 10 月 5 日 更新

科 目 名	日本国憲法		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	わたなべ のぶひさ 渡 辺 演 久	
ナンバリングコード	PUL11101		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	憲法はなぜ存在するのかを理解し、憲法は国家権力を縛ることによって、人権を保障していることを説明していく。また子どもの権利条約などの国際法や教育基本法との関連性についても講義していく。最終的には子どもにまつわる憲法上の諸問題について考えられる講義とする。								
到 達 目 標	1．憲法の制定目的について説明できる 2．立憲主義について説明できる 3．子どもの人権について理解している								
学位授与方針	幼児教育学科（2，3，5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス、憲法はなぜあるのか（立憲主義）	予習	憲法の前文を読む				
				復習	憲法の目的を理解する				
	第2回	内容	憲法は素晴らしいが、何の役に立つのだろうか？（憲法は誰に遵守義務があるのか）	予習	憲法は誰を縛っているのか調べる				
				復習	憲法尊重擁護義務について理解する				
	第3回	内容	戦後の日本はへそによって作られた（日本国憲法の制定過程）	予習	民間の憲法案を調べる				
				復習	民間の憲法案がどう反映されたかを理解する				
	第4回	内容	天皇の給料はお仕事にみあっているか（象徴天皇制）	予習	女性宮家について調べる				
				復習	現在の皇室をとりまく状況を理解する				
	第5回	内容	ウルトラマンは地球を守るために戦う？（平和主義と自衛隊）	予習	平和のための戦いはありうるのか考える				
				復習	平和主義について理解する				
	第6回	内容	自由が先か、平等が先か（法の下での平等）	予習	一票の格差とは何か調べる				
				復習	選挙制度について理解する				
	第7回	内容	大岡政談にみる黙秘権と無罪の推定（刑事司法における人権保障）	予習	事件報道について調べる				
				復習	無罪推定の意義について理解する				
	第8回	内容	言論の自由は「言いたいことを言う権利」ではない（言論の自由）	予習	民主政治には何が必要か調べる				
				復習	言論の自由の意義を理解する				
	第9回	内容	教育の主体は国家？それとも国民？（教育を受ける権利）	予習	学校教育の誕生について調べる				
				復習	教育を受ける権利について理解する				
	第10回	内容	幸福追求権の中身と自己決定（幸福追求権）	予習	学校のおかしな校則について調べる				
				復習	幸福追求権が人権の源になりうることを理解する				
	第11回	内容	参政権があるだけでは民主主義とはいえない（参政権と民意）	予習	自分の選挙区の選挙結果を調べる				
				復習	多数が民意とは限らないことを理解する				
	第12回	内容	統治機構は人権を守る手段である（法の支配）	予習	国家を支配しているのは誰か考える				
				復習	法の支配について理解する				
	第13回	内容	国会と国会議員の実像（立法機関）	予習	国権とは何か調べる				
				復習	三権分立について理解する				
	第14回	内容	内閣と議員内閣制の不思議（内閣）	予習	憲法の行政について読んでおく				
				復習	行政権の範囲について理解する				
	第15回	内容	まとめとレポート作成	予習	憲法にまつわる新聞記事を調べる				
				復習	憲法の視点から政治問題を考える				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題に関して授業で復習を行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（90%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（10%）							
教科書	『憲法のおもしろさ（第3版）』（山本聡・渡辺演久、北樹出版）								
参考文献	授業内で適宜紹介する								
補足事項	新聞記事等を通じて子どもをとりまく人権状況を取り上げるので、新聞などの報道に興味をもってほしい。								

科 目 名	体育実技		単 位 数	1	授業時間数	4 4	担当教員	きたほら つ だ 北 洞 ・ 津 田
ナンバリングコード	DMB11101		授業形態	実技	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本講義では、生涯にわたって運動・スポーツと親しむための基礎的技能の習得、正しい知識、実践方法について学ぶとともに、運動・スポーツを通して他者との関り方について考えることをねらいとする。また、将来幼児教育者として必要な幼児の運動あそびに関する知識、技能、さらに子どもの指導や援助の技術について理解を深めることを目的としている。							
到 達 目 標	1. 運動・ダンス・スポーツに親しむための基礎的技能を習得している。 2. 自己の身体に関心を持ち、健康の維持・向上を実践していく知識・方法を習得している。 3. 運動・ダンス・スポーツを通して協調性・社会性を身に付けている。 4. 幼児教育者として必要な幼児の運動遊びに関する基本的な知識と技能を習得している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 3,4 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	からだの調整力を育むからだ遊びといろいろなハイハイ（四足移動）	予習	乳幼児期におけるハイハイの必要性を調べる			
				復習	授業内容を Google クラスルームで復習する			
	第 2 回	内容	マット遊びⅠ：マットを道具とした遊び	予習	教科書等でマット遊びを調べる			
				復習	授業内容をレポートにまとめて提出する			
	第 3 回	内容	マット遊びⅡ：回転遊び	予習	回転遊びを教科書等で調べる			
				復習	授業内容をレポートにまとめて提出する			
	第 4 回	内容	レクリエーションスポーツⅠ：ソフトバレーボール	予習	ソフトバレーボールのやり方を調べる			
				復習	授業で体験したことをレポートにまとめる			
	第 5 回	内容	跳び箱遊びⅠ：台として遊ぶ	予習	跳び箱遊びについて教科書等で調べる			
				復習	台として遊ぶ跳び箱遊びの内容をまとめる			
	第 6 回	内容	跳び箱遊びⅡ：腕立て開脚跳び越し	予習	腕立て開脚跳び越しの跳び方を調べてくる			
				復習	腕立て開脚跳び越しのポイントをまとめる			
	第 7 回	内容	ボール遊びⅠ：一人遊び	予習	ボール遊びの遊び方を教科書等で調べる			
				復習	ボールの一人遊びをまとめる			
	第 8 回	内容	ボール遊びⅡ：ペアでパス、転がしドッジボール	予習	子どものボールゲームを調べる			
				復習	ボールもペア遊び・ドッジボールをまとめる			
	第 9 回	内容	レクリエーションスポーツⅡ：バスケットボール	予習	バスケットボールのルールについて調べる			
				復習	バスケットボールで使う体力をまとめる			
	第 10 回	内容	縄遊びⅠ：短縄遊び	予習	短縄と使った遊びを調べる			
				復習	授業で行った短縄遊びをまとめる			
	第 11 回	内容	縄遊びⅡ：長縄遊び	予習	長縄を使った遊びを調べる			
				復習	授業で行った長縄遊びをまとめる			
	第 12 回	内容	身近なものを使った遊びⅠ：新聞紙、レジ袋	予習	新聞紙とレジ袋を使った遊びを調べる			
				復習	授業で行った遊びをまとめる			
	第 13 回	内容	レクリエーションスポーツⅢ：バドミントン	予習	バドミントンのルールを調べる			
				復習	バドミントンで使う体力をまとめる			
	第 14 回	内容	巧技台遊びⅠ：器具の名称を覚える、基本の動き	予習	巧技台の器具の名称を教科書で調べてくる			
				復習	巧技台の基本の動き方をまとめる			
	第 15 回	内容	巧技台遊びⅡ：色々な使い方	予習	巧技台の使い方を教科書で調べてくる			
				復習	授業で行った動きをまとめる			
	第 16 回	内容	さまざまな動きについて	予習	幼児期の運動の意義について教科書を読んでおく。			
				復習	授業内容をノートにまとめる。			
	第 17 回	内容	幼児の運動あそび① 遊びの工夫について	予習	幼児期の運動発達について調べておく。			
				復習	授業内容をノートにまとめる。			
	第 18 回	内容	幼児の運動あそび② 幼児指導の想定、実践	予習	指導法について教科書を読み、要点を確認する。			
				復習	授業内容をノートにまとめる。			
	第 19 回	内容	いろいろな用具を使った運動あそび ボール、フープ、縄を使った運動あそび	予習	用具を使う遊びについての留意点を調べておく。			
				復習	授業内容をノートにまとめる。			
		内容			予習	幼児期のダンスの意義について教科書を読んでおく。		

	第 20 回		リズムカルなダンス① グループワーク：作品創り	復習	授業内容をノートにまとめる。
	第 21 回	内容	リズムカルなダンス② グループワーク：作品のブラッシュアップ	予習	前回の授業内容を思い出し、アイデアをまとめる。
				復習	授業内容をノートにまとめる。
	第 22 回	内容	リズムカルなダンス③ グループワーク：発表	予習	発表に向け練習。
				復習	創作過程を振り返り、感想や反省を記入する。
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題に対するレポートや小テストの解答提出に関しては、Google クラウド上で評価をフィードバックする				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（10%）、レポート・課題（50%）、作品・発表（ ）、実技（20%）、授業態度【積極性】（20%）				
教科書	乳幼児・児童の運動あそびと表現あそび～からだところを育む指導法（宮下恭子・茗井香保里編、大学図書出版）				
参考文献	脳を鍛えるじゃれつき遊び（正木建雄・井上高光・野尻ヒデ、小学館）				
補足事項	実技の際は、指定のジャージを着用すること。また実技はレクリエーション以外、基本的に「裸足」で行うので、ストッキングを脱いでくること。 第1回の②③野外環境実習（夏・冬）に参加する際に関わる各諸経費については、全額学生負担となる。 野外環境教育実習（夏・冬）に参加する各諸経費については全額学生負担となる。 野外環境教育実習（冬）に参加した場合、体育実技の12回分の出席に該当する。（夏は該当しない）				

科 目 名	体育実技			単 位 数	1	授業時間数	4 4	担当教員	ひぐち かずひろ 樋口 和 洋
ナバリングコード	DMB11101			授業形態	実技	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本科目は、人間形成の柱となる自己の探求及び集団での協働に、身体活動という観点からアプローチする。授業内容は 1:生涯に渡る健康実現にむけた運動の知識と実践について集団内でコミュニケーションを取りつつ他者との関り方を考えながら学ぶ。2:将来、幼児教育者として必要な幼児の運動遊びに関する知識、技能、さらには子供の指導や援助技術について理解を深める。								
到 達 目 標	1. 運動・スポーツ文化的価値の多様性について理解している。 2. 協働的に課題に取り組みながら人と表現工夫することの意義を理解している 3. 運動・スポーツ文化を伝承する保育者としての基本的資質を獲得している。								
学位授与方針	幼児教育学科（1, 2, 3, 5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス アイスブレイク	予習	シラバスを熟読し実技に必要な準備を整える				
				復習	アイスブレイクの手法を振り返る				
	第2回	内容	グループコミュニケーション1 課題解決における相互作用の重要性	予習	グループコミュニケーションの活性化について調べる				
				復習	課題解決におけるグ相互作用について振り返る				
	第3回	内容	グループコミュニケーション2 課題解決における課題解決の過程の重要性と支援の在り方	予習	グループにおける課題解決の過程について調べる				
				復習	課題解決の過程ついて振り返る				
	第4回	内容	キンダーコーディネーショントレーニング1 一人で行えるコーディネーション	予習	コーディネーション能力について調べる				
				復習	トレーニングの実践例を振り返る				
	第5回	内容	キンダーコーディネーショントレーニング2 グループで行うコーディネーション	予習	グループで行うコーディネーションについて調べる				
				復習	トレーニングの実践例について調べる				
	第6回	内容	キンダーコーディネーショントレーニング3 ゲーム形式を取り入れたコーディネーション	予習	ゲーム形式を取り入れたコーディネーションについて調べる				
				復習	トレーニングの実践例について調べる				
	第7回	内容	キンダーコーディネーショントレーニング4 親子で行えるコーディネーション	予習	親子で行えるコーディネーション				
				復習	トレーニングの実践例について調べる				
	第8回	内容	ソフトバレーボール1 ボールに慣れながら基本的技術の習得	予習	ソフトバレーボールの競技特性について調べる				
				復習	ソフトバレーボールの基本技術について振り返る				
	第9回	内容	ソフトバレーボール2 ルールの理解とゲームを楽しむ	予習	ソフトバレーボールのルールを調べる				
				復習	ゲームに必要なコミュニケーションについて振り返る				
	第10回	内容	バドボン（ニュースポーツ）1 基本的ショット技術の習得	予習	ラケットを用いたネットスポーツの特性を調べる				
				復習	基本的なショットについて振り返る				
	第11回	内容	バドボン（ニュースポーツ）2 ルールの理解とゲームを楽しむ	予習	ゲームに必要なショットを想像する				
				復習	バドボンのゲーム特性を振り返る				
	第12回	内容	バドミントン1 基本的ショット技術の習得	予習	バドミントンの競技特性を調べる				
				復習	基本的ショット技術を振り返る				
	第13回	内容	バドミントン2 ルールの理解とゲームを楽しむ	予習	ダブルスのルールを調べる				
				復習	バドミントンのゲーム特性を振り返る				
	第14回	内容	バスケットボール1 基本的シュート技術の習得、ミニゲーム	予習	バスケットボールの競技特性を調べる				
				復習	基本的シュート技術を振り返る				
	第15回	内容	バスケットボール2 ルールの理解とゲームを楽しむ	予習	バスケットボールのルールを調べる				
				復習	バスケットボールゲーム特性を振り返る				
	第16回	内容	バスケットボール3 ルールの理解とゲーム楽しむ	予習	ゲームに必要なコミュニケーションについて考える				
				復習	ゲームに必要なコミュニケーションについて振り返る				
	第17回	内容	紙飛行機の制作と記録会	予習	どんな紙飛行機を作るか調べる				
				復習	紙飛行機遊びの狙いを振り返る				
	第18回	内容	仲間との運動遊び1 鬼ごっこ	予習	鬼ごっこの種類やルールについて調べる				
				復習	鬼ごっこ遊びの狙いを振り返る				
	第19回	内容	仲間との運動遊び2 長縄跳び	予習	長縄跳びを用いた遊びの種類について調べる				
				復習	長縄跳び遊びの狙いを振り返る				
	第20回	内容	仲間との運動遊び3 短縄跳び	予習	短縄跳びを用いた遊びの種類について調べる				
				復習	短縄跳び遊びの狙いを振り返る				

	第 21 回	内容	ミニ運動会 1 運動会の企画・準備	予習	運動会の実施に必要な企画と準備について調べる
				復習	運動会の実施に必要な企画と準備について振り返る
	第 22 回	内容	ミニ運動会 2 運動会の実施	予習	運動会が盛り上がるために必要なコミュニケーションについて考える。
				復習	運動会への取り組み方を振り返る
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題のフィードバックを行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度【意欲をもって積極的に取り組む姿勢】（30%）				
教科書	「乳幼児・児童の運動あそびと表現あそび～からだところを育む指導法～」(宮下恭子編 大学図書出版)				
参考文献	使用しない				
補足事項	実技の際は必ず指定の運動着を着用して受講すること。				

科 目 名	体育講義		単 位 数	1	授業時間数	1 6	担当教員	つ だ ま き こ 津 田 麻 希 子
ナバ [®] リングコート [®]	DMB11102		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	心身の健康保持増進は、豊かなライフスタイルを送る上で必要不可欠である。健康と運動との関わりに関する正しい知識を身に付け、理解を深めることを目的とする。また、自身の身体の仕組みについて知識を深め、自らの健康維持増進の方法を考え、実践していく力を養うことを狙いとする。							
到 達 目 標	1. 健康に関する正しい知識を学び、健康的なライフスタイルを実践する力を身に付けている。 2. 各年齢に適した食事や運動実践方法について理解をしている。 3. 自己管理や、子どもの健康・運動の援助指導を適切に行えるよう、基礎知識を習得している。							
学位授与方針	幼児教育学科（1、3、4）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	受講上の留意事項について	予習	教科書 p5～18 を読んでおく。			
			現代社会と健康、食事について考える	復習	授業内容をノートにまとめる。			
	第2回	内容	心の健康と運動、対処法について	予習	教科書 p21～26 を読んでおく。			
				復習	授業内容をノートにまとめる。			
	第3回	内容	青年期の性、性教育について	予習	教科書 p27～32 を読んでおく。			
				復習	授業内容をノートにまとめる。			
	第4回	内容	運動と健康、体力について	予習	教科書 p35～50 を読んでおく。			
				復習	授業内容をノートにまとめる。			
	第5回	内容	トレーニングの基礎理論	予習	教科書 p51～56 を読んでおく。			
				復習	授業内容をノートにまとめる。			
	第6回	内容	スポーツ傷害と応急処置、実践法について	予習	教科書 p57～63 を読んでおく。			
				復習	授業内容をノートにまとめる。			
	第7回	内容	乳幼児の体育について	予習	教科書 p65～75 を読んでおく。			
				復習	授業内容をノートにまとめる。			
	第8回	内容	まとめ	予習	今までの授業内容を見直す。			
				復習	講義内容を全て見返し、理解を深める。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	小テストや復習問題等で解説をする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（50％）、レポート・課題（20％）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（30％）							
教科書	『大学生のための体育講義-今日つくる未来・今日を生きる知恵-』（若井香保里他、推敵舎）							
参考文献	必要に応じてプリントを随時配布。							
補足事項	授業は11月頃より開始予定、毎回教科書とプリント、ノートを必ず持参すること。							

科 目 名	体育講義		単 位 数	1	授業時間数	1 6	担当教員	ひぐち かずひろ 樋口 和洋
ナソバ°リンク°コート°	DMB11102		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）							
授 業 の 内 容	健康や運動に関する情報が溢れている現代社会において、それらに対応していく力を身につけることが望まれる。よって、本講義では健康・運動・体力について正しい知識及び自らの健康の維持増進の方法を理解し、実践していく力を養うことを目的とする。							
到 達 目 標	1. 健康に関する正しい知識を学び、健康的なライフスタイルを実践する力を身に付けている。 2. 食事や休息、運動実践の方法について具体的に理解している。 3. 幼児教育者としての自己の健康管理、子供たちの健康・運動・安全の援助指導を適切に実践できる基本的知識を習得している。							
学位授与方針	幼児教育学科（1, 2, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス 体育講義のねらい	予習	講義ガイダンスの事前確認			
				復習	体育講義の狙いについて振り返る			
	第2回	内容	健康・体力と生活①：現代社会と健康	予習	現代社会と健康について教科書を確認しておく			
				復習	各自のヘルスプロモーションを考える			
	第3回	内容	健康・体力と生活②：食事と健康	予習	食事と健康について教科書を確認しておく			
				復習	各自の食生活の目標設定をする			
	第4回	内容	健康・体力と生活③：体力と健康	予習	体力について教科書を確認しておく			
				復習	各自の体力を把握して体力向上プログラムを考える			
	第5回	内容	健康・体力と生活④：トレーニングの基本理論	予習	トレーニングの基礎理論を教科書で確認しておく			
				復習	学習したトレーニング理論に基づき各自のトレーニングを見直す			
	第6回	内容	スポーツと Quality of Life	予習	スポーツについて教科書を確認すると共に各自のスポーツへのイメージを膨らませておく			
				復習	スポーツについての新たな発見を整理し、各自がプログラムした運動の実践に取り組む			
	第7回	内容	運動スキルの発達と支援の在り方	予習	運動スキルについて下調べをしておく			
				復習	運動スキルの発達について整理し、各自が取り組んでいる運動実践に活かす			
	第8回	内容	スポーツ障害と応急処置	予習	スポーツ障害と応急処置について教科書を確認しておく			
				復習	現在の救急の現状と救急処置の在り方を整理し理解を深める			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	「大学生のための体育講義 今日つくる未来・今日を生きる知恵（茗井香保里他、推誠舎）							
参考文献	必要に応じてプリントを随時配布							
補足事項	授業は11月頃より開始。詳細は掲示にて連絡する。							

科 目 名	キャリアデザインⅠ		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	しおぎき きたざわ とねがわ ほりうち 塩 崎 ・ 北 澤 ・ 利 根 川 ・ 堀 内	
ナンバリングコード	SEM11105		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	この授業は、広い意味での「教養」を身につけるためのものである。授業を通して女性が直面している諸課題を明らかにし、女性が直面している諸課題を明らかにし、女性が職場や地域社会で活躍することの意義について学習する。自分らしい生き方や働き方とは何か、資料やデータを活用し、自己実現を図るための方法とキャリアデザインの重要性を理解する。								
到 達 目 標	1. 授業を通して自己を見つめ、自分らしく主体的に大学生活を送る姿勢を身につけている。 2. さまざまな生き方、働き方を参考に自分のキャリアデザインについて考えることができる。 3. 社会人としてのマナーや礼儀作法を身につけることができている。								
学位授与方針	幼児教育学科（2・4・5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	【塩崎①】 授業ガイダンス 自己紹介スライドを作成しよう！	予習	シラバスを読み、授業の概要を捉える				
				復習	本時の活動を振り返り、まとめる				
	第2回	内容	【塩崎②】 自己&他己紹介 研修交流会のグループワーク	予習	自己紹介文章、紹介するデザインを考えてくる				
				復習	仲間の発表を踏まえ、自分の発表について振り返り、まとめる。				
	第3回	内容	【利根川①】 女性の生き方・働き方とジェンダー① 著名な女性の半生を学ぶ	予習	女性の生き方・働き方について考える				
				復習	講義で取り上げた人物をまとめる				
	第4回	内容	【利根川②】 女性の生き方・働き方とジェンダー② 著名な女性の半生を学ぶ	予習	女性の生き方・働き方について考える				
				復習	講義で取り上げた人物をまとめる				
	第5回	内容	【利根川③】 女性の生き方・働き方とジェンダー③ 建学の心と保育をテーマにスライドを作成する	予習	女性の生き方・働き方について考える				
				復習	スライド内容を作成する				
	第6回	内容	【利根川④】 女性の生き方・働き方とジェンダー④ 建学の心と保育をテーマにスライドをまとめる	予習	スライド内容を作成する				
				復習	スライド発表の準備をする				
	第7回	内容	【利根川⑤】 女性の生き方・働き方とジェンダー⑤ 建学の心と保育をテーマにスライドを発表する	予習	スライド発表の準備をする				
				復習	授業を振り返り、自分の保育観について考える				
	第8回	内容	【堀内①】 言葉遣いと人間関係のマナー	予習	社会人として必要な基礎力について考えてみる				
				復習	授業内で見つけた課題について取り組むこと				
	第9回	内容	【堀内②】 電話のマナー、手紙・はがきのマナー	予習	言葉遣いについて自分を顧みる				
				復習	授業で学んだ事を日常生活で活用してみること				
	第10回	内容	【堀内③】 職場のルール、来客応対・席次のマナー	予習	社会人として働く姿を想像してみる				
				復習	授業で学んだ事を日常生活で活用してみること				
	第11回	内容	【堀内④】 箸使い・食事のマナー	予習	箸を準備、持ち方を確認する				
				復習	授業で学んだ事を日常生活で活用してみること				
	第12回	内容	【堀内⑤】 立ち居振る舞い	予習	鏡に姿を映し、姿勢や歩き方を確認する				
				復習	全5回を振り返り社会人としての基礎力をつける				
	第13回	内容	【北澤①】 キャリアとは キャリアとは・ライフラインチャートの作成	予習	キャリアとは何かについて考えてくる				
				復習	ライフラインチャートをみながら振り返りを行う				
	第14回	内容	【北澤②】 キャリアデザインのための自己理解① ～自分のこれまでについて振り返ろう～	予習	教科書p199を読んでくる				
				復習	自己史チェックシートをみながら感想を記入する				
	第15回	内容	【北澤③】 キャリアデザインのための自己理解② ～自分の強みをみつけよう～	予習	自分の好きなことや得意なことを箇条書きにしておく				
				復習	偏愛マップをみながら自分の強みについて考える				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う 演習時に模範解答を示し説明・指導する。レポートは添削をして返却する。発表については講評をする。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（50％）、作品・発表（30％）、実技（ ）％、授業態度【 演習 】（20％）							
教科書	『建学の心』冊子 『保育者になるための初年次教育・キャリア教育』（浅井拓久也編著、萌文書林） 『新生活教養』（近喰晴子他、建帛社）『保育のマナーと言葉』（長島和代編、わかば社）								
参考文献									
補足事項	卒業および資格取得のための必修科目なので、全員が履修すること。 塩崎2回、北澤3回、利根川5回、堀内5回								

科 目 名	キャリアデザインⅠ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	おおくま しおぎき せき ののみや ほりうち 大 熊 ・ 塩 崎 ・ 関 ・ 野々宮 ・ 堀 内	
ナンバリングコード	SEM11105		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	この授業は、広い意味での「教養」を身につけるためのものである。授業を通して女性が直面している諸課題を明らかにし、女性が直面している諸課題を明らかにし、女性が職場や地域社会で活躍することの意義について学習する。自分らしい生き方や働き方とは何か、資料やデータを活用し、自己実現を図るための方法とキャリアデザインの重要性を理解する。								
到 達 目 標	1. 授業を通して自己を見つめ、自分らしく主体的に大学生活を送る姿勢を身につけている。 2. さまざまな生き方、働き方を参考に自分のキャリアデザインについて考えることができる。 3. 社会人としてのマナーや礼儀作法を身につけることができている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・4・5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	【塩崎①】 授業ガイダンス 自分を見つめてみよう	予習	シラバスを読み、授業の概要を捉える				
				復習	本時の活動を振り返り、まとめる				
	第2回	内容	【堀内①】 言葉遣いと人間関係のマナー	予習	社会人として必要な基礎力について考えてみる				
				復習	授業内で見つけた課題について取り組むこと				
	第3回	内容	【堀内②】 電話のマナー、手紙・はがきのマナー	予習	言葉遣いについて自分を顧みる				
				復習	授業で学んだ事を日常生活で活用してみること				
	第4回	内容	【堀内③】 職場のルール、来客応対・席次のマナー	予習	社会人として働く姿を想像してみる				
				復習	授業で学んだ事を日常生活で活用してみること				
	第5回	内容	【堀内④】 箸使い・食事のマナー	予習	箸を準備、持ち方を確認する				
				復習	授業で学んだ事を日常生活で活用してみること				
	第6回	内容	【堀内⑤】 立ち居振る舞い	予習	鏡に姿を映し、姿勢や歩き方を確認する				
				復習	全5回を振り返り社会人としての基礎力をつける				
	第7回	内容	【野々宮①】 女性が働くということ	予習	卒業したら働きたいと思っている職業・職種について考えてくる				
				復習	友達の見解を知り、今後の自分の職業について考える				
	第8回	内容	【野々宮②】 結婚と出産	予習	どんな結婚をしたいか、子どもは何人欲しいか考えてくる				
				復習	将来を具体的に考えられるようにノートにまとめる				
	第9回	内容	【金森①】 自分を知る	予習	1分間で自己紹介を考えてくる				
				復習	プリントを仕上げる				
	第10回	内容	【金森②】 何のために働くのかを考える	予習	なぜ働くのかを自分なりに考えてくる				
				復習	今日の感想をノートに書く				
	第11回	内容	【金森③】 なりたい自分を考えてみよう	予習	将来の夢、なりたい姿を考えてくる				
				復習	今日の感想をノートに書く				
	第12回	内容	【金森④】 なりたい自分になるために必要なことは？	予習	事前に配布するプリントの目標を考えてくる				
				復習	プリントを仕上げ、今日から実践してみる				
	第13回	内容	【金森⑤】 幸せに働くとは？まとめ	予習	今までの授業を振り返る				
				復習	授業の感想をまとめる				
	第14回	内容	【野々宮③】 子育てとその後のこと	予習	どんな子どもに育って欲しいか考えてくる				
				復習	様々な意見を参考に具体的に考えてみる				
	第15回	内容	【野々宮④】 チームで働くということ	予習	今から18年後働いているとしたらどんな自分になっているか考えてくる				
				復習	自分の将来について具体的な考えを持つ				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う 演習時に模範解答を示し説明・指導する。レポートは添削をして返却する。発表については講評をする。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（60%）、作品・発表（20%）、実技（ ）、授業態度【積極的な参加】（20%）							
教科書	『新生活教養』（近喰晴子他、建帛社）『保育のマナーと言葉』（長島和代編、わかば社）								
参考文献									
注意事項	第9回・11回・13回：大熊、第10回・第12回：関								

科 目 名	キャリアデザインⅡ		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子
ナンバリングコード	SEM11106		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本授業では、受講者一人ひとりが、自分自身の価値観やこれまでの生き方、長所や短所など知り、これからの学生生活や生き方、働き方を考えていくための授業である。このような生き方や働き方を考えていく理論と方法であるキャリアデザインの基本を理解した上で、現在社会人として活躍している多様な先輩のキャリアについて聞き、2年次に始まる就職活動に向け、自分自身の職業生活についてイメージしていく。また、就職活動の流れや履歴書の書き方、自己PRなど就職活動の際に必要な技術についても具体的に学んでいく。							
到 達 目 標	1． キャリアデザインの基本と方法について理解している 2． 授業を通して自分の長所や短所、生活や行動のスタイル、価値観等について自己理解を深めようとする姿勢が身についている 3． 先輩や卒業生、資格や免許を活かして働いている方の人生やキャリア、働き方等を参考に、自分のキャリアについて考えることができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・2・5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション・キャリアデザインとは 就活までの道のり・心構え・これからすべきこと	予習	シラバスを読んでくる			
				復習	教科書該当ページを読み返す			
	第2回	内容	幼・保・施フェアに参加し、幼稚園・保育所・施設の方の話を聞く	予習	フェアに参加するために必要なマナーや服装について自分なりに考え準備をする			
				復習	参加して聞いた話をまとめる			
	第3回	内容	本学、幼児教育学科で取得できる資格を生かした多様な仕事についての理解①幼稚園	予習	教科書p 129, 153 から 155 を読んでくる			
				復習	幼稚園の特徴について復習をする			
	第4回	内容	本学、幼児教育学科で取得できる資格を生かした多様な仕事についての理解②保育所	予習	教科書p 146 から 151 を読んでくる			
				復習	保育所の特徴について復習をする			
	第5回	内容	本学、幼児教育学科で取得できる資格を生かした多様な仕事についての理解③認定こども園	予習	教科書p 156 から p 157 を読んでくる			
				復習	認定こども園の特徴について復習する			
	第6回	内容	本学、幼児教育学科で取得できる資格を生かした多様な仕事についての理解④施設	予習	施設について調べ学習を行う			
				復習	保育士資格をいかして就職できる施設について復習する			
	第7回	内容	働く意義・現代を取り巻く平均的なライフサイクルの現状について	予習	自分のライフプランについて考える			
				復習	配布資料を読み返す			
	第8回	内容	秋草OBから聞く保育の仕事①幼稚園	予習	幼稚園についての質問を考えてくる			
				復習	授業内容についての振り返りをまとめる			
	第9回	内容	秋草OBから聞く保育の仕事②保育所／認定こども園	予習	保育所・認定こども園についての質問を考えてくる			
				復習	授業内容についての振り返りをまとめる			
	第10回	内容	秋草OBから聞く保育の仕事③施設／企業	予習	施設・企業についての質問を考えてくる			
				復習	授業内容についての振り返りをまとめる			
	第11回	内容	秋草OBから聞く保育の仕事④小規模保育など	予習	小規模保育について予習してくる			
				復習	授業内容についての振り返りをまとめる			
	第12回	内容	履歴書の書き方・社会人基礎力としてのマナー	予習	教養演習などの資料を見返し、マナーの復習をしてくる			
				復習	履歴書の書き方の復習を行う			
	第13回	内容	キャリアデザインのための自己理解②自己PR・自己紹介	予習	教科書p 1 9 9 読んでくる			
				復習	自己PRのエピソード収集をする			
	第14回	内容	先輩の就職体験記（2年生）	予習	先輩への質問を考えてくる			
				復習	授業内容を振り返りまとめる			
第15回	内容	自分のキャリアをデザインしてみる	予習	自分のキャリアデザインを考えてくる				
			復習	1 5 回を振り返り感想をまとめる				
予習に要する学習時間：概ね9 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね9 0 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	レポートを返却し、どのような視点で採点したのかについてフィードバックする時間を設ける。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 8 0 %）授業態度【 積極的態度 】（ 2 0 %）							
教科書	『保育者になるための初年次教育・キャリア教育』（浅井拓久也編著 北澤第3章担当、萌文書林）							
参考文献	『大学生のキャリアデザイントレーニング』（稲本恵子編著、晃洋書房）							
補足事項	・外部講師の都合等で内容が前後する場合があるため授業内でアナウンスを行う。							

科 目 名	キャリアデザインⅡ		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	みやばやし よしこ 宮 林 佳子	
ナンバリングコード	SEM11106		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本授業は、受講者一人ひとりが自分自身の価値観やこれまでの生き方、長所や短所などを知り、これからの学生生活や生き方、働き方を考えていくための授業である。生き方や働き方を考えていく理論と方法であるキャリアデザインの基本を理解した上で、現在社会人として活躍している多様な先輩のキャリアについて聞き、2年次に始まる就職活動に向け、自分自身の就業生活についてイメージしていく。また、就職活動の流れや自己PRなど就職活動の際に必要な技術についても具体的に学んでいく。								
到 達 目 標	1. キャリアデザインの基本と方法について理解している 2. 授業を通して自分の長所や短所、生活や行動のスタイル、価値観等について自己理解を深めようとする姿勢が身についている 3. 先輩や卒業生、資格や免許を生かして働いている方の人生やキャリア、働き方等を参考に、自分のキャリアについて考えることができる								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・2・5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、キャリアデザインとは 就活への道のり・心構え・これからすべきこと	予習	シラバスを読んでくる				
				復習	教科書該当ページを読み返す				
	第2回	内容	キャリアデザインのための自己理解① 自己チェックシート	予習	教科書該当ページを読んでくる				
				復習	自己チェックシートの見直し				
	第3回	内容	キャリアデザインのための自己理解② 自己チェックシート・相互インタビュー	予習	自己チェックシート				
				復習	事業内容について振り返りをまとめる				
	第4回	内容	自己分析（エニアグラム）	予習	自分が思う自分の特徴を簡潔書きにしてくる				
				復習	自分の強みや伸ばしたいところを見つける				
	第5回	内容	コミュニケーション 『聴く、話す、話し合う』①	予習	教科書該当ページを読んでくる				
				復習	様々な場面でどのような話し方が適しているか考える				
	第6回	内容	コミュニケーション 『聴く、話す、話し合う』②	予習	前回の授業を基に実践イメージを作る				
				復習	実践後の自分の強み弱みを認識する				
	第7回	内容	秋草0 Bから聞く保育の仕事①保育所	予習	保育園についての質問を考えてくる				
				復習	授業内容について振り返りをまとめる				
	第8回	内容	秋草0 Bから聞く保育の仕事②幼稚園	予習	幼稚園についての質問を考えてくる				
				復習	授業内容について振り返りをまとめる				
	第9回	内容	秋草0 Bから聞く保育の仕事③認定こども園	予習	認定子ども園についての質問を考えてくる				
				復習	授業内容について振り返りをまとめる				
	第10回	内容	秋草0 Bから聞く保育の仕事④小規模保育	予習	小規模保育について予習してくる				
				復習	授業内容について振り返りをまとめる				
	第11回	内容	秋草0 Bから聞く保育の仕事⑤施設/企業	予習	施設/企業についての質問を考えてくる				
				復習	授業内容について振り返りをまとめる				
	第12回	内容	ライフワークゲーム	予習	ライフワークゲームについて調べてくる				
				復習	授業の感想をまとめる				
	第13回	内容	社会におけるルールのいろいろ (なりたい職業)	予習	どんなルールがあるのか考えてくる				
				復習	自分の現在の環境と照らし合わせてみる				
	第14回	内容	就職フェアに参加し様々な業種の方の話を聞き自分のキャリアについて考える	予習	フェアに参加するために必要なマナーや服装について自分なりに考え準備する				
				復習	参加した感想をまとめる				
	第15回	内容	自分のキャリアをデザインしてみる (まとめ)	予習	自分のキャリアデザインを考えてくる				
				復習	15回を振り返り感想をまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題を提出してもらい、フィードバックの時間を設ける							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	『大学生のキャリアデザイントレーニング』（稲本恵子編著、見洋書房）								
参考文献	『大学生のためのキャリアデザイン 自分を知る・社会を知る・未来を考える』（川崎友嗣 編著 ミネルヴァ書房）								
注意事項	外部講師の都合で内容が前後する場合があるため授業内でアナウンスを行う								

科 目 名	基礎演習 I		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡 美	
ナバ [®] リング [®] コード [®]	SEM11102		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	大学での学習に必要な基礎学力である語彙力や文章表現力、保育に関わる基礎用語や敬語等について学ぶ。これらは、社会人として、さらに幼稚園教諭免許や保育士資格取得のための保育の実践（実習）にて、必要な文章力（例えば実習生調査書や実習日誌、指導案作成）が求められる。そのため、授業を通して基礎学力の向上を目指し、グループワークやAL（アクティブ・ラーニング）補習を活用しながら学習する態度を身につける。								
到 達 目 標	1．保育分野の基礎的な用語を理解し、正しく書くことができる。 2．実習日誌や指導案作成など、保育者に必要な基礎的な文章表現力を身につけている。 3．手紙の書き方を正しく理解している。 4．敬語など、言葉での表現の仕方を正しく使うことができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1. 2 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション/短大で学ぶこと/AL補習の説明	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	これから学ぶ内容を理解する				
	第 2 回	内容	4 月の漢字/入学前ワークブックの振り返り（グループワーク）	予習	教科書 p 16-17 を行う/入学前ワークブックを見直す				
				復習	ワークブックを完成させる				
	第 3 回	内容	5 月の漢字/保育を学ぶ/電子メールのマナー/保育の基礎用語	予習	教科書 p 18-19/保育の基礎用語を調べる				
				復習	課題を完成させる				
	第 4 回	内容	6 月の漢字/文章表現方法/保育の基礎用語	予習	教科書 p 20-21/保育の基礎用語を調べる				
				復習	間違えた漢字や基礎用語を復習し覚える				
	第 5 回	内容	7 月の漢字/保育者になるためのグループワーク（集団における活動計画と運営）/保育の基礎用語	予習	教科書 p 22-23/保育の基礎用語を調べる				
				復習	間違えた漢字を復習し覚える				
	第 6 回	内容	8 月の漢字/入学前ワークブックの振り返り②2 部	予習	教科書 p 24-25 を行い、ワークブックを見直し、復習をする				
				復習	間違えた箇所を復習し覚える				
	第 7 回	内容	9 月の漢字/・敬語①言葉での表現方法・グループワーク/保育の基礎用語	予習	敬語のプリントを見直す/教科書 p 26-27 と保育の基礎用語を調べる				
				復習	間違えた漢字や基礎用語、敬語を復習し覚える				
	第 8 回	内容	10 月の漢字/敬語②保育で用いる言葉遣い・グループワーク/保育の基礎用語	予習	教科書 p 28-29/敬語を調べ、課題を行う				
				復習	間違えた漢字や敬語を復習し覚える				
	第 9 回	内容	11 月の漢字/手紙の書き方①構成・季語など/保育の基礎用語	予習	教科書 p 30-31 行う/手紙や季節の挨拶状を理解する				
				復習	間違えた漢字を復習し覚える/季語を調べる				
	第 10 回	内容	12 月の漢字/手紙・季節の挨拶状の書き方②手紙を書く/保育の基礎用語	予習	教科書 p 32-33/保育の基礎用語を調べる				
				復習	手紙を完成させる/間違えた漢字や基礎用語を復習し覚える				
	第 11 回	内容	1 月の漢字/理想とする保育者像（グループワーク/ディスカッション）	予習	教科書 p 34-35/保育者に必要な資質を考える。				
				復習	自分の考えをまとめる				
	第 12 回	内容	2 月の漢字/レポートの書き方	予習	教科書 p 36-37 を行う				
				復習	レポートの書き方について理解する				
	第 13 回	内容	3 月の漢字/保育者になるための文章表現①ワーク A ・解説	予習	教科書 p 38-40 を行い、保育者に必要な文章表現の仕方を整理する。				
				復習	課題を完成させる				
	第 14 回	内容	保育者になるための文章表現②ワーク B ・解説	予習	園生活の 1 日（ディリープログラム）を理解する。				
				復習	課題を完成させる				
	第 15 回	内容	文章表現の確認・まとめ/保育の基礎用語	予習	文章表現・基礎用語の確認をする				
				復習	文章表現・基礎用語の振り返りをする				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題や確認テストを実施し、解説を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題（30％）、小テスト（30％）、発表（20％）、授業態度【積極的な取り組み】（20％）							
	教科書	『保育者になりたい人のためのワークブック～秋草学園短期大学・幼児教育学科の歩き方～』（秋草学園短期大学 幼児教育学科編） 『改訂版 わかる・書ける・使える 保育の基本用語』（長島和代編、わかば社）							

参考文献	
補足事項	必修科目のため、全員が履修すること。各自意欲をもって取組み、基礎学力の向上を図ること。A L（アクティブ・ラーニング）補習を活用すること。

科 目 名	基礎演習Ⅱ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡美
ナンバリングコード	SEM11103		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本科目は、保育者に求められる語彙力、読解力、文章表現力を「基礎演習Ⅰ」からの継続として学修する。保育の基礎用語、文章表現力を身につけ、保育の実践記録の記入や読み取り、レポートの書き方など演習を通じて学ぶ。グループワーク等に参加し、ＡＬ（アクティブ・ラーニング）補習を活用しながら、学習する意欲・態度を身につける。							
到 達 目 標	１．専門科目を理解するための読解力が身についている。 ２．保育分野の基礎的な用語を説明できる。 ３．実習日誌や指導案の作成の基礎となる文章表現力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ １．２ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	「基礎演習Ⅰ」の確認テスト/実習に向けてのワーク/ＡＬ補習の説明	予習	「基礎演習Ⅰ」の確認・復習			
				復習	テストを振り返る			
	第 2 回	内容	保育の実践記録の文章表現方法/保育の基礎用語	予習	幼稚園のディリープログラムを確認する			
				復習	課題を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第 3 回	内容	保育の実践記録（幼稚園①年少・解説）/保育の基礎用語	予習	課題①を読んでおく			
				復習	課題①を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第 4 回	内容	保育の実践記録（幼稚園②年中・解説）/保育の基礎用語	予習	課題②を読んでおく			
				復習	課題②を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第 5 回	内容	保育の実践記録（幼稚園③年長・解説）	予習	課題③を読んでおく			
				復習	課題③を行う。			
	第 6 回	内容	保育の実践記録（保育園①乳児・解説）/保育の基礎用語	予習	保育園の乳児クラスのディリープログラムを確認する/課題①を読んでおく			
				復習	課題①を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第 7 回	内容	保育の実践記録（保育園②幼児・解説）/保育の基礎用語	予習	保育園の幼児クラスのディリープログラムを確認する/課題②を読んでおく			
				復習	課題②を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第 8 回	内容	レポート・考察の書き方	予習	教科書 p48～52 を読む			
				復習	課題を行う。			
	第 9 回	内容	手紙の書き方（お礼状）	予習	「基礎演習Ⅰ」手紙の書き方を確認する/実習を振り返る			
				復習	お礼状を完成させる			
	第 10 回	内容	エピソード記録の書き方	予習	教科書 p 53～57 を読んでおく			
				復習	課題を完成させる			
	第 11 回	内容	部分実習指導案①説明・文章表現	予習	教科書（p 66～）を読む			
				復習	指導案の作成の仕方をまとめる			
	第 12 回	内容	部分実習指導案②絵本の読解/文章表現	予習	子どもの発達にあった絵本を選ぶ			
				復習	教科書 p 82. 83 を参考に指導案を完成させる			
	第 13 回	内容	部分実習指導案③手遊びについて/文章表現	予習	教科書（p 72～）を読む			
				復習	教科書 p 80. 81 を参考に指導案を完成させる			
	第 14 回	内容	部分実習指導案④主活動の指導案作成/文章表現	予習	教科書 p 88. 89 を読む			
				復習	指導案を完成させる			
	第 15 回	内容	部分実習指導案⑤まとめ（グループワーク）	予習	課題プリントを読んでおく			
				復習	指導案作成を理解する			
予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	確認テストを返却し、コメントをする。課題作成後、解説をする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（30%）、課題（40%）、授業態度【積極的な課題への取り組み】（30%）							
教科書	『改訂版 わかる・書ける・使える 保育の基本用語』（長島和代編、わかば社）／『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド』（小櫃智子編、わかば社）							
参考文献	なし							
補足事項	必修科目のため、全員が履修すること。 各自意欲をもって取り組み、基礎学力の向上を図ること。ＡＬ（アクティブ・ラーニング）補習を活用すること。							

科 目 名	基礎演習Ⅱ			単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子
ナンバリングコード	SEM11103			授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本科目は、保育者に求められる語彙力、読解力、文章表現力を「基礎演習Ⅰ」からの継続として学修する。保育の基礎用語、文章表現力を身につけ、保育の実践記録の記入や読み取り、レポートの書き方など演習を通じて学ぶ。グループワーク等に参加し、ＡＬ（アクティブ・ラーニング）補習を活用しながら、学習する意欲・態度を身につける。								
到 達 目 標	１．専門科目を理解するための読解力が身についている。 ２．保育分野の基礎的な用語を説明できる。 ３．実習日誌や指導案の作成の基礎となる文章表現力を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ １．２ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第１回	内容	「基礎演習Ⅰ」の確認テスト/実習に向けてのワーク/ＡＬ補習の説明	予習	「基礎演習Ⅰ」の確認・復習を行う				
				復習	テストを振り返る				
	第２回	内容	保育の実践記録の文章表現方法/保育の基礎用語	予習	幼稚園のディリープログラムを確認する				
				復習	課題を行う。基礎用語の説明を要約する				
	第３回	内容	保育の実践記録（幼稚園①年少・解説）/保育の基礎用語	予習	課題①を読んでおく				
				復習	課題①を行う。基礎用語の説明を要約する				
	第４回	内容	保育の実践記録（幼稚園②年中・解説）/保育の基礎用語	予習	課題②を読んでおく				
				復習	課題②を行う。基礎用語の説明を要約する				
	第５回	内容	保育の実践記録（幼稚園③年長・解説）	予習	課題③を読んでおく				
				復習	課題③を行う。				
	第６回	内容	保育の実践記録（保育園①乳児・解説）/保育の基礎用語	予習	保育園の乳児クラスのディリープログラムを確認する/課題①を読んでおく				
				復習	課題①を行う。基礎用語の説明を要約する				
	第７回	内容	保育の実践記録（保育園②幼児・解説）/保育の基礎用語	予習	保育園の幼児クラスのディリープログラムを確認する/課題②を読んでおく				
				復習	課題②を行う。基礎用語の説明を要約する				
	第８回	内容	レポート・考察の書き方	予習	教科書 p48～52 を読む				
				復習	課題を行う。				
	第９回	内容	手紙の書き方（お礼状）	予習	「基礎演習Ⅰ」手紙の書き方を確認する/実習を振り返る				
				復習	お礼状を完成させる				
	第１０回	内容	エピソード記録の書き方	予習	教科書 p 53～57 を読んでおく				
				復習	課題を完成させる				
	第１１回	内容	部分実習指導案①説明・文章表現	予習	教科書（p 66～）を読む				
				復習	指導案の作成の仕方をまとめる				
	第１２回	内容	部分実習指導案②絵本の読解/文章表現	予習	子どもの発達にあった絵本を選ぶ				
				復習	教科書 p 82、83 を参考に指導案を完成させる				
	第１３回	内容	部分実習指導案③手遊びについて/文章表現	予習	教科書（p 72～）を読む				
				復習	教科書 p 80～81 を参考に指導案を完成させる				
	第１４回	内容	部分実習指導案④主活動の指導案作成/文章表現	予習	教科書 p 88、89 を読む				
				復習	指導案を完成させる				
	第１５回	内容	部分実習指導案⑤まとめ（グループワーク）	予習	課題プリントを読んでおく				
				復習	指導案作成を理解する				
予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 40 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	確認テストを返却し、コメントをする。課題作成後、解説をする。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（30%）、課題（40%）、授業態度【積極的な課題への取り組み】（30%）								
教科書	『改訂版 わかる・書ける・使える 保育の基本用語』（長島和代編、わかば社）／『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド』（小櫃智子編、わかば社）								
参考文献	なし								
補足事項	必修科目のため、全員が履修すること。 各自意欲をもって取り組み、基礎学力の向上を図ること。ＡＬ（アクティブ・ラーニング）補習を活用すること。								

科 目 名	基礎演習Ⅱ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	しみず すみこ 清水 澄子	
ナンバリングコード	SEM11103		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	基礎演習Ⅰで学んだ基礎知識をさらに深め、「思考力」や「意見表明力」を身に付けることを学ぶ。 保育という仕事の全体像を捉え、卒業後の実践的な仕事に活用できる能力を身に付ける学習を行う。 保育を中心に、今社会で起きている様々な問題への好奇心を育てる。								
到 達 目 標	1. 自分の考えや意見を 800 字程度にまとめて書き上げられる。 2. 保育とは何かについて理解できる。 3. 保育のみならず子どもや子育てに関する基礎的な知識が身に付く。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 4, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
業 計 画	第 1 回	内容	授業に関するガイダンス 自己紹介表の作成	予習	基礎演習Ⅰの復習				
				復習	今後の学習についての全体像を把握する。				
	第 2 回	内容	秋草学園の卒業生の聞き取りから	予習	秋草短大の歴史を知っておく。				
				復習	貧しかった時代の卒業生の人生を思いやる。				
	第 3 回	内容	保育現場の抱える問題・保育士の苦勞	予習	保育士の求人票をなるべく多く読んでおく。				
				復習	保育士というしごとの意義について復習する。				
	第 4 回	内容	保育士による虐待問題	予習	保育士による虐待問題を検索してみる。				
				復習	保育士による虐待理由の背景を理解する。				
	第 5 回	内容	女性の貧困 子育てにかかる費用	予習	前もって女性の貧困について検索しておく。				
				復習	日本の母子家庭の問題を復習する。				
	第 6 回	内容	働く人々の賃金相場について	予習	アルバイト収入から労働と賃金を考えておく。				
				復習	お金を稼ぐことの苦勞を復習する。				
	第 7 回	内容	保育時事 1	予習	毎日の出来事に必ず目を通すところ				
				復習	今、起きていることをしっかりと頭に入れる。				
	第 8 回	内容	少子高齢化問題 1	予習	なぜ子どもが減ってきているのかを考える。				
				復習	少子化について一般的な理由を復習する。				
	第 9 回	内容	少子高齢化問題 2	予習	前回の少子化についての復習をしておく。				
				復習	外国での少子高齢化状況にも興味を持つ。				
	第 10 回	内容	保護者による子どもの虐待	予習	何か 1 つのケースについて調べておく。				
				復習	虐待についてどうしたら防げるかを考える。				
	第 11 回	内容	「いじめ」について	予習	自分の小中高校時の「いじめ」を思い出す。				
				復習	「いじめ」の原因や影響を理解する。				
	第 12 回	内容	男性と家事・育児について	予習	ワンオペ育児という言葉の意味を調べておく。				
				復習	男性の家事・育児参加の重要性を復習する。				
	第 13 回	内容	保育園をつくる・・・戦後の歴史から	予習	自分が目指す保育園を考えておく。				
				復習	保育園や保育施設のつくり方の復習をする。				
	第 14 回	内容	保育時事 2	予習	今までの復習 最近の動きを検索				
				復習	保育を取り巻く状況をよく知る。				
	第 15 回	内容	総まとめ 最終レポート作成	予習	配布したプリントをすべて復習				
				復習	保育士とは何かをしっかりと考える。				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	難しいテーマの時には、簡単なレポートを提出してもらい、理解度を確認し、次の授業に活用する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50％）、作品・発表（50％）、実技（ ）、授業態度【 】（ ）							
教科書	なし。その都度作成したプリントを配布する。								
参考文献	なし。しかし、新聞や各種報道で「保育」や「子ども」に関することは必ずチェックすること。								
補足事項	常に「自分の頭を使い考えること」を意識して毎日生活してほしい。								

科 目 名	情報機器操作		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナンバリングコード	EDT11101		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	Microsoft Office に含まれる事務処理系ソフトウェア群のうち、文書作成用ソフトウェア（Word）、表計算用ソフトウェア（Excel）およびプレゼンテーション用ソフトウェア（PowerPoint）の基本的な取り扱いかたを学ぶ。 第2回～第14回の授業では、相隣り合う2～3コマずつの授業をペアとして進行する。各ペアの前半ではソフトウェアの基本操作を主に講義形式で、同じく後半ではソフトウェアの応用操作を主に自習形式で学びつつ、2～3コマの授業時間を使って1つの課題を仕上げる。							
到 達 目 標	1. 幼児教育・保育の現場での情報メディア活用法を習得している。 2. パソコン初心者は、「覚えるよりも慣れること」の大切さを理解している。 3. パソコン経験者は、「より賢いパソコン活用の仕方」を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス 情報リテラシー、サインイン・サインアウト、Windowsの基礎知識、日本語入力、Gmail、Classroom、その他	予習	シラバスを読んでおく。			
				復習	パソコンの基本操作を確実に行う。			
	第2回	内容	Word の学習(1a)① やさしい文書の作成、その他	予習	Word の編集画面の内容を理解する。			
				復習	教科書を用いて入力練習をする。			
	第3回	内容	Word の学習(1b) 表の取り扱い、文章の修飾(フォント、下線、網かけ、レイアウト、等々)、その他	予習	表の取り扱い（Word の場合）について確認する。			
				復習	指定された課題（表付き文書）を作成する。			
	第4回	内容	Word の学習(2a) 文章の修飾（クリップアート、ワードアート、図・画像の挿入、ページ罫線）、その他	予習	文書の基本的な修飾機能について確認する。			
				復習	指定された課題（修飾付き文書）を作成する。			
	第5回	内容	Word の学習(2b) やや高度な文書加工（ページ番号、ヘッダー・フッター、段落、文字列の検索・置換）、その他	予習	文書の応用的な修飾機能について確認する。			
				復習	指定された課題（応用修飾付き文書）を作成する。			
	第6回	内容	Excel の学習(1a) 基本的な表（数表）の作成、その他	予習	Excel の編集画面の内容を理解する。			
				復習	表作成を通して Word の操作との違いを理解する。			
	第7回	内容	Excel の学習(1b) 表（数表）の作成（関数の取り扱い、文字の装飾、行・列の加工、等々）、その他	予習	教科書などを通して組み込み関数を確認する。			
				復習	指定された課題（計算付き数表）を作成する。			
	第8回	内容	Excel の学習(2a) データ処理の応用（条件判定、セル参照、グラフ）、その他	予習	条件判定の指定方法について確認する。			
				復習	指定された課題（条件付き数表）を作成する。			
	第9回	内容	Excel の学習(2b) より高度なデータ処理（簡単なデータベース、フィルタリング）、その他	予習	入力値の並べ替え方法について確認する。			
				復習	指定された課題（入力値の抽出処理）を作成する。			
	第10回	内容	PowerPoint の学習(1) スライド作成の基本（文字入力、スライドの編集(挿入・削除・置換))、その他	予習	PowerPoint の編集画面の内容を理解する。			
				復習	指定された課題（簡単なスライド）を作成する。			
	第11回	内容	PowerPoint の学習(2) スライド作成の応用（図表・画像の挿入、マルチメディア効果）、その他	予習	スライドの応用的な修飾方法について確認する。			
				復習	指定された課題（前回の成果物の改良）を作成する。			
	第12回	内容	ソフトウェアの応用(1) 長文レポート（鑑賞文など）の作成、その他	予習	各ソフトウェアの基本操作を再確認する。			
				復習	指定された課題（両ソフトの同時利用）を作成する。			
	第13回	内容	ソフトウェアの応用(2) Excel を用いた数学問題の求解、その他	予習	各ソフトウェアの応用操作を再確認する。			
				復習	指定された課題（数学問題の求解など）を作成する。			
	第14回	内容	ソフトウェアの応用(3) Word や Excel を併用したスライドの作成、その他	予習	各ソフトウェアの基本操作を再確認する。			
				復習	指定された課題（授業時に指示する）を作成する。			
	第15回	内容	全体のまとめ 幼児教育・保育の現場での情報リテラシーに関する各自の見解のまとめ	予習	これまでの課題全般に目を通しておく。			
				復習	授業時に指定された内容のレポートを作成する。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	提出されたレポート・課題については、必要に応じて改訂増補された成果物の再提出を求める。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）							
教科書	『Windows10 対応 30 時間でマスター Office2019』（実教出版企画開発部、実教出版株式会社）							
参考文献	必要に応じて紹介する。							
補足事項	授業の進行状況に応じて、授業計画の内容を適宜変更する場合がある。 パソコンの操作はピアノの演奏と同様に、触れる機会が多ければ多いほど早く上達する。また、パソコンとスマートフォンとは、用途も使い勝手も互いに全く異なる IT 機器同士である。スマートフォンの操作はできる反面パソコンに対して苦手意識があるという人は、時間の許す限り、たとえば授業時間外にネットサーフィンを行う等して、パソコンの取り扱いに慣れ親しむようにしてほしい。							

科 目 名	英 語		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	なかじま なおき 中 島 尚樹
ナパリングコード	ENL11101		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（							

	第 21 回	内容	Unit 5 What's Wrong with Hitomi? (一般動詞の過去形)	予習	テキスト U 5 の Grammar Aid の部分を読む。
				復習	U 5 の Conversation の B を聞いて音読する。
	第 22 回	内容	Unit 11 Hitomi Wants a New Look (接続詞)	予習	テキスト U11 の Grammar Aid の部分を読む。
				復習	U11 の Conversation の B を聞いて音読する。
	第 23 回	内容	文法：Wh 疑問文 (疑問詞が主語の場合とそれ以外の場合の Wh 疑問文)	予習	知っている疑問詞をまとめる。
				復習	出てきた疑問詞を整理し、例文を作る。
	第 24 回	内容	Unit 13 I'm Meeting a Friend (疑問詞)	予習	テキスト U13 の Grammar Aid の部分を読む。
				復習	U13 の Conversation の B を聞いて音読する。
	第 25 回	内容	文法：現在進行形 (現在時の動作の進行を表す表現)	予習	プリント 11 の説明を読む
				復習	プリント 11 の練習問題の訳をノートに書く。
	第 26 回	内容	文法：現在進行形と現在形 (現在進行形と現在形の違い)	予習	プリント 12 の説明部分の例文を訳す。
				復習	現在進行形と現在形の違いについてまとめる。
	第 27 回	内容	文法：過去進行形 (過去のある時点の動作の進行を表す表現)	予習	プリント 13 の説明部分を読む。
				復習	これまでの単語をまとめ、単語帳を作る。
	第 28 回	内容	Unit 6 It Won't Hurt (進行形)	予習	テキスト U 6 の Grammar Aid の部分を読む。
				復習	U 6 の Conversation の B を聞いて音読する。
	第 29 回	内容	Unit 8 Small Talk (未来形)	予習	テキスト U 8 の Grammar Aid の部分を読む。
				復習	これまでの語彙と構文を整理して総復習する。
	第 30 回	内容	まとめ：一般動詞の過去形、現在・過去進行形など。 (文法問題の練習と英作文)	予習	これまでの構文を整理し、疑問点をまとめる。
				復習	試験に出る英作文を覚える。
予習に要する学習時間：概ね 1 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 4 5 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	試験は、試験後に解答についての解説をし、達成度に関するコメントを加えます。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（90％）、授業態度【積極的な参加や真摯な学習態度】（10％）				
教科書	English Aid（Robert Hickling・臼倉美里、金星堂）				
参考文献					
補足事項	初回の授業でテキストの音声のダウンロードの仕方を説明しますので、教科書を持参してください。				

科 目 名	英 語		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子
ナバリングコード	ENL11101		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	この授業は、保育の現場で必要とされる実践的な英語力の基礎を養うことを目的としています。保育の現場で必要とされる英語の基礎学力と、基本的な英語のコミュニケーション能力を身に付けられるようにします。さらに、英語の歌や絵本の読み聞かせができることも目指し、季節のイベントを英語で説明できる力をも養うことを目標とします。							
到 達 目 標	１． 保育現場で必要とされる英語の基本的な語彙を理解している。 ２． 英語の基礎的な文法を理解した上で、簡単な英語の会話ができる。 ３． 英語の基礎学力（読む・書く・聞く・話す）が身に付いている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2， 4， 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション （履修上の注意点、年間の授業の流れ、評価方法など）	予習	シラバスをよく読んでおく			
				復習	1 年間の授業の流れを確認しておく			
	第 2 回	内容	挨拶・自己紹介	予習	挨拶等を調べておく			
				復習	授業内容をまとめておく			
	第 3 回	内容	幼稚園や保育園についての英語の単語を理解する	予習	わからない単語を調べておく			
				復習	理解できる・できない単語を明確にしておく			
	第 4 回	内容	子どもの遊び・遊具・玩具に関する英単語	予習	わからない単語を調べて、書き出しておく			
				復習	理解できる・できない単語を明確にしておく			
	第 5 回	内容	リスニング：世界のおとぎ話（裸の王様・北風と太陽）	予習	日本語で 2 つの話を読んで、内容を確認する			
				復習	聞き取れる・取れない箇所を明確にしておく			
	第 6 回	内容	時間・季節・天候についての英単語	予習	時間・季節・天候について調べておく			
				復習	理解できない単語を明確にしておく			
	第 7 回	内容	顔や体の部位そしてけがや病気などの英単語	予習	事前に単語を調べて書き出しておく			
				復習	理解できない単語を明確にしまとめておく			
	第 8 回	内容	幼児向け DVD ・音楽を鑑賞する(1)	予習	地域性とシーンの関係性を調べる			
				復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる			
	第 9 回	内容	自分の家族や友人について英語で語る	予習	自分の家族や友人について英語でまとめておく			
				復習	暗記して英語で述べられるようにしておく			
	第 10 回	内容	動物やペットについての英単語	予習	動物やペットに関する単語を調べておく			
				復習	理解できる・できない単語を明確にしておく			
	第 11 回	内容	リスニング：グリム童話（赤ずきん・シンデレラ）	予習	日本語で 2 つの話を読んで、内容を確認する			
				復習	聞き取れる・取れない箇所を明確にしておく			
	第 12 回	内容	衣服・食べ物についての英単語	予習	衣服・食べ物についての単語を調べる			
				復習	理解できない単語を明確にしまとめる			
	第 13 回	内容	色・形・数字についての英単語	予習	色・形・数字についての単語を調べまとめる			
				復習	理解できない単語を明確にしまとめる			
	第 14 回	内容	【発表】自分について英語で語る	予習	自分について英語でまとめておく			
				復習	メモを見なくても言えるように練習しておく			
	第 15 回	内容	前期授業全体のまとめ（文法問題の練習と英作文）	予習	理解できない単語や表現についてまとめておく			
				復習	自分の弱点について明確にしまとめておく			
	第 16 回	内容	幼児向け DVD ・音楽を鑑賞する(2)	予習	地域性とシーンの関係性を調べる			
				復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる			
	第 17 回	内容	規則動詞と不規則動詞	予習	保育現場に必要な動詞について調べる			
				復習	理解できない単語についてまとめておく			
	第 18 回	内容	可算名詞と不可算名詞	予習	保育現場に必要な名詞について調べる			
				復習	理解できない単語についてまとめておく			
	第 19 回	内容	園での時間や数そして保護者に用意してもらう所持品	予習	所持品について調べてまとめておく			
				復習	理解できない単語についてまとめておく			
	第 20 回	内容	リスニング：アンデルセン童話（おやゆび姫・人魚姫）	予習	日本語で 2 つの話を読んで、内容を確認する			
				復習	聞き取れる・取れない箇所を明確にしておく			

	第 21 回	内容	登園・降園に関する英語表現	予習	子どもの様子についての単語を調べておく
				復習	理解できない単語についてまとめておく
	第 22 回	内容	保育者の仕事に関する英語表現	予習	保育者の仕事について英語で書き出しておく
				復習	理解できない表現についてまとめておく
	第 23 回	内容	食べ物に関する英語表現	予習	保育現場における食べ物について調べておく
				復習	理解できない単語についてまとめておく
	第 24 回	内容	リスニング：イソップ物語（アリとキリギリス・狼少年）	予習	日本語で 2 つの話を読んで、内容を確認する
				復習	聞き取れる・取れない箇所を明確にしておく
	第 25 回	内容	園への道順・案内や周辺に関する英語表現	予習	道順・案内についての表現を調べておく
				復習	理解できない表現についてまとめておく
	第 26 回	内容	遠足や園外活動に関する英語表現	予習	交通手段についての単語を調べておく
				復習	理解できない単語についてまとめておく
	第 27 回	内容	ネイティブの先生との打ち合わせに挑戦	予習	必要とされる英語表現について調べてみる
				復習	理解できない表現についてまとめておく
	第 28 回	内容	幼児向け DVD・音楽を鑑賞する(3)	予習	地域性とシーンとの関係性を調べる
				復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる
	第 29 回	内容	【発表】自分が理想とする保育者について英語で語る	予習	発表内容を英語でまとめておく
				復習	他の人の内容も踏まえてまとめ直しておく
	第 30 回	内容	全体のまとめ	予習	理解できなかった事柄をまとめておく
				復習	保育現場で活用できることをまとめておく
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	毎回の授業終了後に小テストを実施し、解答についての解説を行います。【発表】における英語の発音や内容について講評します。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 50 %）、課題・発表（ 30 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 20 %）				
教科書	特に指定はしません。 授業中に必要に応じて、資料を配布します。				
参考文献	授業中に必要に応じて、紹介していこうと思います。				
注意事項	わからない・知らない単語は食欲に辞書を用いて調べてほしいと思います。英語を好きになってほしいと思います。				

科 目 名	生活の科学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	きたの まさる なかむら よういち 北野 大 ・ 中 村 陽 一
ナンバリングコード	ECE11101		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	1．水とは何か。水の果たしている役割、水の量的側面及び水の種々の性質について学ぶ。 2．食と病気の関係、特に発がん性について学ぶ。 3．農薬や食品添加物についてその役割及び安全性評価の現状について学ぶ。 4．身近な作物の起源について学ぶ。							
到 達 目 標	1．健康な生活を送るための食生活の在り方について理解している。 2．食の安全に関し、農薬や食品添加物の役割と賢い使い方を理解している。 3．上記の理解に基づき、日常生活の中で環境に配慮した生活を送るよう意識している。 4．身近な作物の起源とその来歴を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（2.3.4.5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 地球の誕生と水の果たした役割 水の種々の性質 美味しい水の条件 水の価格	予習	講義の前にプリントを配布するので事前によく読み、理解しづらい部分をマークしておくこと。また、プリントに関連する内容を自らも調べておくこと。			
				復習	講義中わかりづらかった点をマークし、次回の講義の時に質問をし、知識を確実なものとする。			
	第 2 回	内容	水の価値 資源としての水 各国の降水量 家庭における水の消費量	予習	講義の前にプリントを配布するので事前によく読み、理解しづらい部分をマークしておくこと。また、プリントに関連する内容を自らも調べておくこと。			
				復習	講義中わかりづらかった点をマークし、次回の講義の時に質問をし、知識を確実なものとする。			
	第 3 回	内容	食の安全 食品の不安要素 我が国の食の問題点、特に食料自給率	予習	講義の前にプリントを配布するので事前によく読み、理解しづらい部分をマークしておくこと。また、プリントに関連する内容を自らも調べておくこと。			
				復習	講義中わかりづらかった点をマークし、次回の講義の時に質問をし、知識を確実なものとする。			
	第 4 回	内容	食と栄養 食品の機能表示 食と発がん性との関係	予習	講義の前にプリントを配布するので事前によく読み、理解しづらい部分をマークしておくこと。また、プリントに関連する内容を自らも調べておくこと。			
				復習	講義中わかりづらかった点をマークし、次回の講義の時に質問をし、知識を確実なものとする。			
	第 5 回	内容	食品添加物について 歴史 必要性和原則 役割 分類 摂取量	予習	講義の前にプリントを配布するので事前によく読み、理解しづらい部分をマークしておくこと。また、プリントに関連する内容を自らも調べておくこと。			
				復習	講義中わかりづらかった点をマークし、次回の講義の時に質問をし、知識を確実なものとする。			
	第 6 回	内容	農薬について 歴史 分類 必要性和役割 残留基準 摂取量	予習	講義の前にプリントを配布するので事前によく読み、理解しづらい部分をマークしておくこと。また、プリントに関連する内容を自らも調べておくこと。			
				復習	講義中わかりづらかった点をマークし、次回の講義の時に質問をし、知識を確実なものとする。			
	第 7 回	内容	毒性試験の方法と結果の表示法 動物実験結果から人への外挿法	予習	講義の前にプリントを配布するので事前によく読み、理解しづらい部分をマークしておくこと。また、プリントに関連する内容を自らも調べておくこと。			
				復習	講義中わかりづらかった点をマークし、次回の講義の時に質問をし、知識を確実なものとする。			
	第 8 回	内容	総復習	予習	これまでに配布されたプリントを読み直し、理解の程度を確実にしておく。			
				復習	これまで学んだことがきちんと理解できているか、友人に説明することで自らの理解の程度を把握すること。			
	第 9 回	内容	身近な野菜の起源と伝播①アブラナ科の作物 突然変異と人為選択について	予習	事前に配布する資料を読む。			
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。			
	第 10 回	内容	身近な野菜の起源と伝播②ナス科の作物 作物の多様性について	予習	事前に配布する資料を読む。			
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。			
	第 11 回	内容	身近な野菜の起源と伝播③ウリ科の作物 メンデルの遺伝の法則について	予習	事前に配布する資料を読む。			
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。			
	第 12 回	内容	身近な野菜の起源と伝播④根菜類 農業の歴史について	予習	事前に配布する資料を読む。			
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。			
	第 13 回	内容	身近な穀物の起源と伝播①イネ科の作物 稲作の起源と伝播について	予習	事前に配布する資料を読む。			
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。			
	第 14 回	内容	身近な穀物の起源と伝播②マメ科の作物 農業と文明の起源について	予習	事前に配布する資料を読む。			
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。			

	第 15 回	内容	茶やコーヒーなど嗜好作物の起源 嗜好作物の起源と歴史	予習	事前に配布する資料を読む。
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	アクティブラーニングとするために、授業中に質問を行う、また意見を求める。授業中に行う質問についてはその都度、正解を学生に与え、正解ごとにレポートの点数に 1 点加点する。意見は論理だったものであれば 1 点加点する。（北野） 授業終了 10 分前に、本日の講義について感想や質問のレポートを提出し、翌週にそれらについて回答する。（北野） 毎回、授業中にレポート課題を出し、Google Classroom 上でフィードバックを行うとともに、必要に応じて、レポートに対する個人指導を行う。（中村）				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（90%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度・積極的参加（10%）				
教科書	特になし。次回授業で使用するプリントを講義終了時に配布する。				
参考文献	必要に応じその都度プリントを配布し、教科書の記述内容の補完をする。				
補足事項	毎回、授業の終わりに小レポートを提出する。				

科 目 名	表現とアート		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	おぐち しおさき はせがわ 小口・塩崎・長谷川
ナンバリングコード	ARE11101		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	領域「表現」に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや音環境、造形表現の効果的な使い方について学ぶ。また、総合的な表現をグループで検討・実践することで、保育者として必要な知識・技能やコミュニケーション力を高め、豊かな感性と表現力を身に付ける。さらに ICT を活用し、スマートフォンやタブレット端末を使用し、コメントや評価など双方向型授業も行う。							
到 達 目 標	1. 見る・聴く・動く・作るなどの様々な表現を楽しむことを通して、イメージを豊かにすることができている。 2. 生活の中での出来事を、様々な素材を生かして表現することができる。 3. それぞれの表出・表現を受け止め、表現する過程を工夫し、より楽しめるよう発展させることができている。 4. 他者を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション：総合的な表現について理解する。	予習	領域「表現」のねらいの箇所を読んでくる			
				復習	本時の内容についてノートにまとめる			
	第 2 回	内容	発表の方法を理解し、グループの意見を集約して共通テーマに沿った構成を考える。	予習	テーマに沿った構成を自分なりに考えてくる			
				復習	テーマに沿った歌や動き、造形についてまとめる。			
	第 3 回	内容	テーマに合った表現を考えグループごとに発表内容を構成用紙に iPad へ入力する。	予習	テーマにあった表現方法を考える。			
				復習	iPad で入力した授業内の話し合いを確認しながら、発表内容の概要をまとめる			
	第 4 回	内容	テーマにあった動きを考え、グループ創作する。創作した作品を動画で撮影し、振り返りに活用する。	予習	テーマに合わせた身体表現の題材について考えてくる			
				復習	本時の活動を動画にまとめる			
	第 5 回	内容	音や音楽の表現の効果について理解し、グループごとに計画をする。	予習	第 1 回の授業を確認しておく			
				復習	本時の内容についてノートにまとめ、音楽を扱うことを理解する			
	第 6 回	内容	大道具、小道具などについての視覚的表現効果について理解し、グループごとに計画をする。	予習	造形物制作の道具、材料について調べ理解しておく			
				復習	発表内容に合わせた制作分担について共有しておく			
	第 7 回	内容	発表内容に合わせ、身体表現や音楽表現、造形表現を工夫し、全体の流れを動画や画像で記録する（ICT の活用）。	予習	発表内容の概要をふまえ、身体表現や音楽、造形表現の案を考えたり、関連する楽曲を調べたりする			
				復習	動画を確認し、身体表現や音楽表現の方法をノートにまとめ、動画を活用しながら練習する（ICT の活用）			
	第 8 回	内容	リハーサル（第 1 回）	予習	発表の内容を確認し、練習する			
				復習	各自で振り返り、修正箇所を考える			
	第 9 回	内容	リハーサル（第 1 回）をふまえ、表現内容の修正点などについて検討する。道具などの作成を進める。	予習	発表の修正箇所をまとめる			
				復習	検討した内容をノートにまとめる			
	第 10 回	内容	表現の再検討をふまえ、発表内容をブラッシュアップして最終案を検討する。	予習	練習のスケジュールを考える			
				復習	本時の動画等を活用しながら練習する（ICT の活用）			
	第 11 回	内容	リハーサル（第 2 回）	予習	前時までの内容を確認し、発表の進行について理解を深める			
				復習	表現内容の修正点とその理由をノートにまとめる			
	第 12 回	内容	発表会の準備：発表会の運営について理解し、計画する。	予習	前時までの授業内容を確認し、表現内容の修正案を考える			
				復習	本時の動画等を活用しながら練習する（ICT の活用）			
	第 13 回	内容	発表会	予習	最終案を確認し、自分の役割を覚える			
				復習	発表の振り返りをふまえ、総合的な表現の要点をノートにまとめる			
	第 14 回	内容	振り返り：発表会を振り返り、グループディスカッションをする。	予習	前時までのノートを確認し、総合的な表現についてまとめる			
				復習	グループ討議をふまえ、総合的な表現の意義について、ノートにまとめる			
	第 15 回	内容	まとめ：発表作品を動画にまとめる（グループ活動）	予習	発表作品を動画にまとめる素材を考える			
				復習	各グループの動画作品を見て感想を記入する			
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	学生の振り返りにコメントをする。 作品について、指導、講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（30%）、作品・発表（ 30%）、実技（ 20%）、授業態度【積極的参加】（20%）							
教科書	『遊んで育て！表現の力ー保育で使える活動例と指導法』（塩崎みづほ・小口偉・長谷川恭子、推敲舎）							

参考文献	
補足事項	活動しやすい服装で参加してください。 人数を 50 名定員とします。超えた場合は、抽選などで調整をする場合があります。 塩崎（15 回）、小口（15 回）、長谷川（15 回）

科 目 名	データサイエンス		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナンバリングコード	STS11101		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本授業では、パソコンの表計算ソフトウェアを併用した統計処理の基本を学ぶ。また、実在の集計データ（学外事業体が公開提供しているものなど）を用いて、データ処理業務の一端を模擬的に体験する。さらに、統計処理の意義を念頭に置きつつ、情報リテラシー（情報倫理や情報セキュリティなどを前提とする、業務上の判断能力）の在りかたを考察する。 この授業は各年度一年生（学科不問）向けの選択科目として開講されるが、在学生（二年生以上／学科不問）も履修することができる。							
到 達 目 標	1. データ処理演習を通して、データが内包する様々な情報の意味を理解できる。 2. パソコンを積極的に活用する作業について、その利便性や問題点を理解できる。 3. 今後の社会に必要とされる基本的な数理的思考や、データの分析・活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 3,4,5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業全体のガイダンス	予習	シラバスを読んで、授業の流れを把握する。			
				復習	ガイダンス資料を精読して、疑問点を整理する。			
	第 2 回	内容	統計学を学ぶ意義	予習	教科書第 1 章を通読する。			
				復習	教科書第 1 章の内容を精読し理解する。			
	第 3 回	内容	可視化を通して分かるデータの性質	予習	教科書第 2 章を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 2 章の内容を理解する。			
	第 4 回	内容	様々な統計量①（平均値、中央値、最頻値、最大値、最小値、その他）	予習	教科書第 3 章の前半を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 3 章前半の内容を理解する。			
	第 5 回	内容	様々な統計量②（歪度、尖度、標準偏差、分散、その他）	予習	教科書第 3 章の後半を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 3 章全体の内容を理解する。			
	第 6 回	内容	様々な統計量③（順位、偏差値、ABC 分析、その他）	予習	教科書第 4 章を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 4 章全体の内容を理解する。			
	第 7 回	内容	情報リテラシー入門（情報リテラシーとは何か）	予習	配布資料を通読する。			
				復習	配布資料の内容を精読し理解する。			
	第 8 回	内容	統計処理の模擬業務①（実在のデータに対する各種統計処理の実践）	予習	配布資料を通読して、必要な準備作業を行う。			
				復習	統計処理を通して各種統計量の意義を理解する。			
	第 9 回	内容	統計学演習①（相関関係、回帰分析、その他）	予習	教科書第 5 章の前半を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 5 章前半の内容を理解する。			
	第 10 回	内容	統計学演習②（重回帰分析、その他）	予習	教科書第 5 章の後半を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 5 章全体の内容を理解する。			
	第 11 回	内容	統計学演習③（時系列解析、その他）	予習	教科書第 6 章を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 6 章全体の内容を理解する。			
	第 12 回	内容	統計学演習④（平均値の差の検定、分散の差の検定、その他）	予習	教科書第 7 章を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 7 章全体の内容を理解する。			
	第 13 回	内容	統計学演習⑤（独立性の検定、相関の検定、重回帰分析の検定、その他）	予習	教科書第 8 章を通読する。			
				復習	演習を通して教科書全章全体の内容を理解する。			
	第 14 回	内容	統計処理の模擬業務②（実在のデータに対する各種統計処理の実践、および得られた結果に対する解釈・考察）	予習	配布資料を通読して、必要な準備作業を行う。			
				復習	処理結果に関する解釈・考察をレポート化する。			
	第 15 回	内容	全体の総括（統計処理の立場からみた情報リテラシー）	予習	教科書全体および全配布資料を通読する。			
				復習	情報リテラシーの在りかたを再度考察する。			
	予習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業開講期間中、履修者と教員との面談を行う（面談に対する成績評価は「授業態度」に含まれる）。 授業開講期間中、実在の集計データに対する統計処理を行い、その処理結果から得られる解釈・考察の内容をレポート化する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、作品・発表（25%）、授業態度【積極的参加】（25%）							
教科書	『やさしく学ぶ データ分析に必要な統計の教科書』（羽山 博著、株式会社インプレス刊）							
参考文献	必要に応じて紹介する。							

補足事項	1. この授業は新入生向けの授業であるが、履修計画に余裕のある在学生も受講することができる（実習期間中の授業の開講については、別途指示する）。 2. 本授業で取り上げる統計処理では、いずれも Microsoft Excel の標準搭載機能を利用する。そのため、本授業の履修を通して、“統計学の基本知識の習得”および“Microsoft Excel の操作全般に係る総復習”の機会を得ることができる。 3. 上記「授業計画」の内容は、授業の実際の進行具合などに応じて、適宜変更されることがある。 4. 担当教員の業務都合などの理由を通して授業の開講日時が変更される場合は、教務課掲示板等にて通知する。
------	---

科 目 名	SDG s 入門		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	ほしの おさむ 星野 治 他
ナンバリングコード	SES11101		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()							
授 業 の 内 容	この授業は、所属学科を問わず、誰でも履修することができる。 SDGs (Sustainable Development Goals／日本語訳「持続可能な開発目標」) の具体的な内容の学習を通して、日本および世界の現状を知るとともに、社会の一員としての自己啓発意識を育てる。この授業では全 17 個ある目標のうち、特に本学の学生に必要な 14 個の目標について学ぶ。							
到 達 目 標	1. SDGs の提唱意義および内容を理解している。 2. SDGs への理解を通して、日本および世界の現状を見抜く洞察力を習得している。 3. SDGs の学習を通して、社会人としての自覚を持ち、社会への貢献に係る考察力を身に付けている。							
学位授与方針	幼児教育学科 (3, 4, 5) 地域保育学科 () 文化表現学科 ()							
授 業 計 画	第 1 回	内容	総論 (授業の進め方、MDGs から SDG へ、SDGs 制定の歴史的背景、MDGs と SDGs の相違、その他) [北野・星野]	予習	シラバスに目を通しておく。			
				復習	授業の目的を理解する。			
	第 2 回	内容	目標 1 : あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる [加賀谷]	予習	SDGs の「目標 1」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 3 回	内容	目標 2 : 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する [橋本]	予習	SDGs の「目標 2」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 4 回	内容	目標 3 : あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する [関]	予習	SDGs の「目標 3」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 5 回	内容	目標 4 : すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する [伊澤]	予習	SDGs の「目標 4」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 6 回	内容	目標 5 : ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る [信田]	予習	SDGs の「目標 5」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 7 回	内容	目標 6 : すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する [北野]	予習	SDGs の「目標 6」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 8 回	内容	目標 7 : すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する [北野]	予習	SDGs の「目標 7」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 9 回	内容	目標 8 : すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する [野中]	予習	SDGs の「目標 8」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 10 回	内容	目標 10 : 国内および国家間の不平などを是正する [野中]	予習	SDGs の「目標 10」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 11 回	内容	目標 12 : 持続可能な消費と生産のパターンを確保する [中村]	予習	SDGs の「目標 12」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 12 回	内容	目標 13 : 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る [北野]	予習	SDGs の「目標 13」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 13 回	内容	目標 14 : 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する [中村]	予習	SDGs の「目標 14」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第 14 回	内容	目標 15 : 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物の多様性損失の阻止を図る [中村]	予習	SDGs の「目標 15」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
第 15 回	内容	目標 16 : 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある法制的な制度を構築する [鈴木] 総括 (全体のまとめ、その他) [北野・星野]	予習	SDGs の「目標 16」について概要を把握する。				
			復習	これまでの全配布資料などを通して授業全体を理解するとともに、今後の履修者自身の SDGs への貢献について考察する。				
予習に要する学習時間 : 概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間 : 概ね 120 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回の授業におけるリアクションペーパー等の記述および提出 (詳細は各回の担当教員が指示する) を通して、SDGs 全般への理解を深める。							

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（５０％）、授業態度【積極的参加】（５０％）
教科書	必要に応じて紹介する。
参考文献	必要に応じて紹介する。
注意事項	この授業は新入生向けの授業であるが、履修計画に余裕のある在生も受講することができる。 この授業は、複数の教員が共同担当するオムニバス形式の対面授業である。取り扱うテーマごとに、担当教員は異なる。なお、授業回によっては対面方式ではなく、オンデマンド遠隔方式（Google Classroom 等を利用）で開講される（詳細は別途通知する）。 2023（令和５）年度開講分の担当教員[授業担当コマ数]は、次のとおりである（担当順。各教員の担当授業回は「授業計画」欄を参照）。 北野大[5]、加賀谷崇文[1]、橋本洋子[1]、関維子[1]、伊澤永修[1]、信田理奈[1]、野中博史[2]、中村陽一[3]、鈴木みなみ[1]、星野治[2] 教員によっては、リアクションペーパーとは別に、追加の課題を出題することがある（詳細は、各授業の担当教員の指示に従うこと）。

科 目 名	保育原理 I		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	こやま れいこ 小山 玲子	
ナンバリングコード	EDU12101		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）								
授 業 の 内 容	「保育とは何か」といった疑問から、保育の歴史・制度・保育内容などの知識を習得し、その中で保育の意義、原理、原則を理解していく。 また、保育所の社会的役割、保育ニーズ、健やかな子どもの成長を育む保育について検討する。保育所実習につながるよう考える・話し合う・調べる・演じる・発表する等、受講生の能動的な取組みを取り入れた授業を行う。								
到 達 目 標	1. 保育の意義及び目的、保育に関わる法令や制度を理解している。 2. 保育所保育指針における保育の基本を説明できる。 3. 他者と対話を重ねながら主体的に学ぶ方法を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（1. 2. 3. 5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	保育の意味と意義	予習	シラバス及び教科書の目次を読む				
				復習	配布プリントの課題を行う				
	第2回	内容	子どもを取り巻く環境の変化とは グループ討議	予習	教科書第2章を通読する				
				復習	子どもにとっての環境を考える				
	第3回	内容	西洋の保育の歴史と思想①	予習	フレーベルについて調べる				
				復習	保育の思想と理論をまとめる				
	第4回	内容	西洋の保育の歴史と思想②	予習	モンテッソーリについて調べる				
				復習	保育の思想と理論をまとめる				
	第5回	内容	西洋の保育の歴史と思想③ 日本の保育の歴史と思想①	予習	レッジョ・エミリア市の保育について調べる				
				復習	プロジェクト活動とは何かをまとめる				
	第6回	内容	日本の保育の歴史と思想②	予習	倉橋惣三について調べる				
				復習	日本の保育の歴史をまとめる				
	第7回	内容	保育の歴史ミニテスト・保育環境とは	予習	第3～6回の授業の復習を行う				
				復習	ミニテストの振り返りを行う				
	第8回	内容	環境構成の意義	予習	保育所保育指針・幼稚園教育要領における環境の捉え方を調べる				
				復習	物的環境に込められた保育者の願い、人的環境としての保育者、環境構成をまとめる				
	第9回	内容	保育における「子ども理解」	予習	保育指針における発達の捉え方を理解する				
				復習	子どもの発達と関わり方を理解する				
	第10回	内容	保育の内容、保育の方法・形態	予習	保育内容・方法・形態について調べる				
				復習	配布プリントを読み直し復習をする				
	第11回	内容	保育園における二つの子育て支援	予習	子ども・子育て支援制度について調べる				
				復習	配布プリントに要点をまとめる				
	第12回	内容	保育の現状と課題 グループワーク	予習	保育の現状と課題について調べる				
				復習	グループワークのまとめを行う				
	第13回	内容	保育者の専門性	予習	教科書第13章保育者の専門性を通読する				
				復習	保育者の専門性を理解する				
	第14回	内容	諸外国の保育の現状と課題 グループワーク	予習	興味のある国の保育について調べる				
				復習	諸外国の保育の現状と課題をまとめる				
	第15回	内容	保育原理での学びを振り返る	予習	全配布プリントをまとめ、読み込む				
				復習	第1～15回の授業で学んだことを整理する				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験…前期試験40%、ミニテスト10%（50%）、レポート・課題（25%）、授業態度【積極的参加】（25%）							
教科書	『最新 保育原理』（上中修編著、教育情報出版） 『マンガでわかる!保育所保育指針 2017年告示対応版』（浅井拓久也、中央法規出版）								
参考文献	『保育所保育指針』（厚生労働省、フレーベル館） 『幼稚園教育要領』（文部科学省、フレーベル館）								
補足事項	保育園勤務保育士・園長によるゲスト講義を行う。（予定）								

科 目 名	保育原理Ⅱ			単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	こやま れいこ 小山 玲子
ナンバリングコード	EDU12102			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	保育所保育指針や子ども子育て支援新制度等の成立過程や実際の運営状況を通じて、保育の原理や制度、現在の課題を深く理解する。 保育の質の向上、保育者の専門性を高める意義を学び、実践につながるようグループ討議・グループワークを行う等、受講生の能動的な取り組みを取り入れた授業を行う。保育学の論文を読むことで、保育の理論や研究方法を学ぶ。								
到 達 目 標	1. 保育所保育指針や子ども子育て支援制度の背景と課題を説明できる。 2. 保育学の論文の読み方や作り方を理解している。 3. 保育の現状と課題について説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション グループ討議			予習	シラバス及び教科書の目次を読む		
			保育で大切なこととは何かを考える			復習	保育原理Ⅱを学ぶ理由を配布プリントに記入		
	第2回	内容	保育園と幼稚園の違い 保育環境と保育方法			予習	テキスト第5・6章の通読		
						復習	配布プリントの課題を行う		
	第3回	内容	絵本・紙芝居の活用			予習	授業で紹介する絵本・紙芝居を選び読む練習を行う		
						復習	配布プリントにまとめを記入する		
	第4回	内容	保育の現状と課題① グループワーク			予習	自分の発表テーマを考える		
						復習	パワーポイント作成		
	第5回	内容	保育の現状と課題② グループワーク			予習	パワーポイント作成		
						復習	パワーポイント発表の準備を行う		
	第6回	内容	保育の現状と課題③ 発表			予習	パワーポイント発表の準備を行う		
						復習	保育原理Ⅱで学んだことをまとめる		
	第7回	内容	安全に関する配慮①			予習	子どもの安全等について調べる		
						復習	配布プリントの課題を行う		
	第8回	内容	安全に関する配慮②			予習	子どもの安全等について調べる		
						復習	配布プリントの課題を行う		
	第9回	内容	子ども・子育て支援制度、保育所保育指針の概要①			予習	保育所保育指針の第1・4章の通読		
						復習	保育所保育の特徴と子育て支援をまとめる		
	第10回	内容	虐待・特別な配慮が必要な子どもへの対応			予習	テキスト第12章の通読		
						復習	配布プリントの課題を行う		
	第11回	内容	食育・アレルギー対応、他職種との連携 保育所保育指針の概要②			予習	保育所保育指針の第3章の通読		
						復習	配布プリントの課題を行う		
	第12回	内容	子どもの主体性を大切にしたい保育			予習	保育所保育指針の第2章の通読		
						復習	配布プリントにまとめを記入する		
	第13回	内容	ドキュメンテーションの概要・活用方法・作成			予習	保育所で活用している事例を調べる		
						復習	ドキュメンテーションを作成する		
	第14回	内容	ドキュメンテーションの発表 グループワーク			予習	ドキュメンテーションの作成・発表準備		
						復習	ドキュメンテーションの完成(次回の授業提出)		
	第15回	内容	保育の専門性と質の向上			予習	保育指針第7章、配布プリントの通読		
						復習	保育の質の向上に向けた取組についてまとめる		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（30%）								
教科書	『最新 保育原理』（上中修編著、教育情報出版） 『マンガでわかる!保育所保育指針』（浅井拓久也、中央法規出版）								
参考文献	『保育所保育指針』（厚生労働省、フレーベル館） 『幼稚園教育要領』（文部科学省、フレーベル館）								
補足事項	保育学をより深く学びたい学生を対象とする。 外部講師(おもちゃアドバイザー・保育者)のゲスト講演を行う。(予定)								

科 目 名	教育原理		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子	
ナソバ・リング・コート*	EDU12103		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	教育を受けることや学校に通えることを当たり前のことと考えずに、なぜそもそも人間にとって教育が必要なのかを中心に、改めて教育や学校について考えるための課題を提供します。また就学前教育が、成立してきた歴史を振り返りながら、今後の将来的な展望や自分なりの教育観や保育観を形成していくために必要と思われる事柄について学んでいただこうと思います。								
到 達 目 標	1. なぜ、人間にとって教育が必要なのか、が理解でき説明できる。 2. 教育や学校の可能性や限界について理解でき説明できる。 3. 自分なりの教育観や保育観について、説明することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・3・4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション：諸注意と必要事項について	予習	教育や学校について自分の考えをまとめておく				
				復習	単位取得のための必要事項について説明できる				
	第 2 回	内容	教育原理を学ぶこととは	予習	教科書の指定箇所を熟読しておく				
				復習	理解したことについてまとめる				
	第 3 回	内容	生涯教育と生涯学習について	予習	教科書の該当箇所を読んでまとめる				
				復習	さらに自分で調べておく				
	第 4 回	内容	教育の可能性と限界について	予習	教科書の指定箇所を熟読しておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 5 回	内容	教育の語義と意義	予習	教科書の該当箇所をよく読んでまとめておく				
				復習	自分で興味をもったことをさらに調べる				
	第 6 回	内容	学校の誕生とその歩み	予習	自分の学校体験についてまとめておく				
				復習	理想の学校のあり方について考えまとめる				
	第 7 回	内容	世界の子どもたちの環境を知る（1）	予習	該当する国々の特徴を調べまとめておく				
				復習	理解したことを詳しくまとめる				
	第 8 回	内容	世界の子どもたちの環境を知る（2）	予習	該当する国々の文化的背景について調べておく				
				復習	さらに興味をもったことについて調べまとめる				
	第 9 回	内容	近代学校の成立とその性格	予習	近代という時代について調べてまとめておく				
				復習	義務教育の意義についてまとめる				
	第 10 回	内容	戦争と教育について考える（1）	予習	第二次世界大戦について調べまとめておく				
				復習	新たに理解したことについてまとめる				
	第 11 回	内容	戦争と教育について考える（2）	予習	戦争に翻弄される人間についてまとめておく				
				復習	理解したことについてさらに調べまとめる				
	第 12 回	内容	世界や日本の教育思想を知る	予習	教育思想について調べてまとめておく				
				復習	自分の興味のある教育思想家について調べる				
	第 13 回	内容	世界や日本の教育制度について考える	予習	日本の教育制度について調べまとめておく				
				復習	世界と日本の教育制度についてまとめる				
	第 14 回	内容	幼児教育制度の成立と発展について学ぶ	予習	幼稚園は保育所の歴史について調べておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 15 回	内容	まとめ	予習	教育や学校についてまとめておく				
				復習	さらに興味あることについて調べまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	小テストや中間テストを実施し、学生の理解度を把握する							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50%）、レポート・課題（30%）、授業態度【発言などの頻度】（20%）							
教科書	『教育原理』（林邦雄・谷田貝公昭〔監修〕、大沢裕〔編著〕、一藝社）								
参考文献	必要に応じて授業中に適宜、紹介していきます。								
補足事項	自分で主体的に課題を発見し、いろいろなことを調べ、日頃から手書きで文字の読み書きに慣れていってほしいと思います。								

科 目 名	子ども家庭福祉		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	し の は ら あ み 志 濃 原 亜 美
ナンバリングコード	SWS12101		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	子ども家庭福祉の歴史の変遷と現代社会における子ども家庭福祉の意義を理解する。そのうえで、子どもと家庭に関する福祉の制度や実施体系など具体的なことを学ぶ。 また、少子化・母子保健・児童虐待・社会的養護・障がいのある児童の対応などをはじめとする子ども家庭福祉の現状と課題について理解し、特に子ども家庭福祉と保育の関連性や子どもの権利擁護などについて理解を深める。							
到 達 目 標	1. 子どもや家庭に関する法や施設など基本的なことが理解している。 2. 子どもをとりまく問題についての理解を深めたうえで、それらの早期発見の方法や解決への道筋を知ることができる。 3. 子どもの権利擁護について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する			
	第 2 回	内容	子ども家庭福祉に関する法律①（児童福祉法の概要）	予習	児童福祉法のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	児童福祉法についてのおおまかな理解をする。			
	第 3 回	内容	子ども家庭福祉に関する法律②（児童福祉法の具体的な内容）	予習	児童福祉法のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	児童福祉法の具体的な内容を理解する			
	第 4 回	内容	子どもに関する権利思想の流れ	予習	子どもの権利についてのプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	子どもの権利思想の流れを理解する			
	第 5 回	内容	子ども家庭福祉の歴史①（明治期）	予習	子ども家庭福祉の歴史のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	明治期における子ども家庭福祉の歴史を理解する			
	第 6 回	内容	子ども家庭福祉の歴史②（明治期から戦前）	予習	子ども家庭福祉の歴史のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	明治期から戦前にかけての子ども家庭福祉の歴史を理解する			
	第 7 回	内容	V T R（澤田美喜物語・・・福祉施設創設者の物語） 課題感想文	予習	今まで習った子ども家庭福祉に関する法や歴史を概観する			
				復習	課題：感想文を書く			
	第 8 回	内容	福祉専門職としての保育士	予習	福祉専門職としての保育士のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	児童福祉法等に明記されている保育士について理解する			
	第 9 回	内容	児童福祉施設及び里親の概要①（施設の種類）	予習	児童福祉施設のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	児童福祉施設の種類を覚える			
	第 10 回	内容	児童福祉施設及び里親の概要②（施設の目的）	予習	児童福祉施設のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	児童福祉施設や里親の目的を理解する			
	第 11 回	内容	子ども家庭福祉の行政機関（児童相談所を中心に）	予習	児童相談所の業務や相談内容についての穴埋めプリントを完成させる			
				復習	児童相談所の業務や相談内容について理解する			
	第 12 回	内容	児童虐待①（児童虐待の種類、法制度）	予習	児童虐待の種類。法制度の穴埋めプリントを完成させる			
				復習	児童虐待の種類や法制度を理解する			
	第 13 回	内容	児童虐待②（児童虐待の実際）	予習	児童虐待の実際についての穴埋めプリントを完成させる			
				復習	児童虐待の実際についてまとめる			
	第 14 回	内容	小テスト、V T R（子どもの貧困）	予習	小テストに向けての学習			
				復習	小テストで出題された個所の確認			
	第 15 回	内容	小テスト返却、解説、まとめ	予習	V T R の感想文を書く			
				復習	子ども家庭福祉とはなにかをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	小テストの解説と返却、レポートの返却を行います							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 55%）、レポート・課題（ 35%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（ 10%）							
教科書	『新 保育ライブラリ 子ども家庭福祉』（植木信一編著、北大路書房）							

参考文献	『最新保育小六法 2023』（ミネルヴァ書房）
注意事項	普段から新聞・ニュースその他のメディアを通して子ども家庭福祉の問題や課題について関心をもつこと。 教員が作成したプリントを整理するためのファイルを用意しておくこと

科 目 名	社会福祉		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	し の は ら あ み 志濃原 亜美
ナバリングコード	SWS12102		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	この授業では、福祉専門職である保育士が学ぶべき社会福祉の基礎的な知識を習得することをねらいとする。子どもの福祉のみならず、現代社会のニーズに即したあらゆる人々のウェルビーイング（福祉）をいかに実現させるかという視点に立ち広い視野で社会福祉について学ぶ。							
到 達 目 標	1. 保育と社会福祉の関係を理解している。 2. わが国の社会福祉の制度を理解している。 3. 現代の社会問題を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する			
	第 2 回	内容	保育と社会福祉（私たちが暮らす社会と保育をめぐる社会問題	予習	社会問題、社会構造のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会問題、社会構造について理解をする。			
	第 3 回	内容	社会福祉の概念①（社会福祉の意味、定義）	予習	社会福祉の意味、定義のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会福祉意味や定義を理解する			
	第 4 回	内容	社会福祉の概念②（社会福祉の理念、社会福祉の構造等）	予習	社会福祉の理念、構造のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会福祉の理念等についての理解を深める			
	第 5 回	内容	社会保障の概念と体系（我が国における社会保障の概念）	予習	社会保障のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会保障の概念をしっかりと理解する			
	第 6 回	内容	社会保険①（社会保険制度の概要）	予習	社会保険制度のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会保障制度についての全体像を理解する			
	第 7 回	内容	社会保険②（医療保険、年金保険、介護保険、労働保険）	予習	社会保険のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	具体的な社会保険の種類や性格を理解する			
	第 8 回	内容	公的扶助①（公的扶助の概要、公的扶助と社会保険の違い）	予習	公的扶助のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	公的扶助の概要の理解及び前回の社会保険との違いを明確にする			
	第 9 回	内容	公的扶助②（生活保護の原理と原則、保護施設、その他の低所得者施策）	予習	公的扶助のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	公的扶助について具体的に理解する			
	第 10 回	内容	高齢者福祉	予習	高齢者福祉のプリントの穴埋めを完成させる 中間レポート提出準備			
				復習	高齢者福祉施策を理解する			
	第 11 回	内容	障がい者福祉	予習	障がい者福祉のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	障がい者福祉施策を理解する			
	第 12 回	内容	相談援助の意味と方法①（保育士に求められるソーシャルワーク、ソーシャルワークの意味と原則、）	予習	相談の意味と方法についての穴埋めプリントを完成させる			
				復習	相談援助を理解する			
	第 13 回	内容	相談援助の意味と方法②（ソーシャルワークの視点、ソーシャルワークに貢献した人）	予習	ソーシャルワークに関する穴埋めプリントを完成させる			
				復習	ソーシャルワークについて理解する			
	第 14 回	内容	小テスト、V T R（諸外国の福祉）、感想文	予習	小テストに向けての学習			
				復習	小テストで出題された個所の確認			
	第 15 回	内容	小テスト返却、まとめ	予習	V T R の感想文を書く			
				復習	社会福祉とはなにかをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	小テストの返却と解説、レポートの返却を行います							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（55%）、レポート・課題（35%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（10%）							
教科書	『みらい×子ども福祉ボックス 社会福祉』（志濃原亜美編著、(株)みらい） 『最新保育小六法 2023』（ミネルヴァ書房）							

参考文献	
補足事項	普段から新聞・ニュースその他のメディアを通して福祉の問題や課題について関心をもつこと。 教員が作成したプリントを整理するためのファイルを用意しておくこと

科 目 名	子ども家庭支援論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子	
ナンバリングコード	SWS12201		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本講義では、保育士による子ども家庭支援の基本について学ぶ。子育て家庭の状況やニーズを理解し、その状況やニーズに応じた支援の展開や保育士の行う相談や支援の意義、役割について学んでいく。								
到 達 目 標	1. 子育て家庭の現状やニーズについて理解している。 2. 保育士による子ども家庭支援の基本や支援の意義について理解している。 3. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開について理解し、支援の方法について考えることができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション～子ども家庭支援論とは～	予習	シラバスを読む				
				復習	配布資料を見返す				
	第2回	内容	家族・家庭の意義と機能	予習	自分にとっての家族・家庭についてまとめる				
				復習	配布資料を読み返す				
	第3回	内容	家族・家庭の歴史と変化① ～家族形態・家庭モデルの変遷～	予習	家族とは何かについて考えてくる				
				復習	授業内容の振り返りを行う				
	第4回	内容	家族・家庭の歴史と変化② ～家族昨日の変化・個人化～	予習	前回の復習を行う				
				復習	授業内容の振り返りを行う				
	第5回	内容	現代社会における家族・家庭	予習	前回の復習を行う				
				復習	家族の変遷について、まとめを行う				
	第6回	内容	子育て家庭をめぐる社会的状況① ～図の取見取り～	予習	ワークブックの図からわかることを考える				
				復習	図の読み取りを行う				
	第7回	内容	子育て家庭をめぐる社会的状況② ～図の取見取りの答え合わせ～	予習	前回の読みよりの復習を行う				
				復習	授業の振り返りとしてのレポートを書く				
	第8回	内容	子ども家庭支援の意義と必要性	予習	子育て家庭を支援する意義について考える				
				復習	授業内容の振り返りを行う				
	第9回	内容	子ども家庭支援の目的と機能～歴史・専門機関との連携～	予習	連携が必要な機関について調べてくる				
				復習	授業内容の復習を行う				
	第10回	内容	多様な連携機関について	予習	前回の授業のワークブックを読み返す				
				復習	連携機関についてまとめる				
	第11回	内容	保育所における子ども家庭支援の意義と基本	予習	保育所保育指針第4章を読んでくる				
				復習	保育所における家庭支援について復習する				
	第12回	内容	幼保連携型認定こども園・幼稚園における子ども家庭支援	予習	認定こども園・幼稚園の支援について調べる				
				復習	授業内容の振り返りを行う				
	第13回	内容	地域の子育て家庭への支援	予習	自分の地域にはどのような支援があるのか調べてくる				
				復習	ワークブックを読み返す				
	第14回	内容	特別な配慮を要する過程への支援	予習	ワークブックの事例を読んでくる				
				復習	課題として出た事例について考える				
	第15回	内容	多様な支援展開と関係機関との連携～事例討議～	予習	ワークブックの事例を読んでくる				
				復習	授業の振り返りとしてのレポート書く				
	予習に要する学習時間：概ね9分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	レポートや課題、コメントの返却を行い、フィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（80％）、授業態度【積極的参加】（20％）							
教科書	『子ども家庭支援論』（橋本祐子・西本望他、2019）								
参考文献	『ちょっとした言葉かけで変わる 保護者支援の新ルール10の原則』（大豆生田啓友他、メイト）								
補足事項	ワークブックを配布し、書き込んでいく形とするため、ワークブックを持参すること。								

科 目 名	子ども家庭支援論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	まんどう あきお 萬 燈 章 雄	
ナンバリングコード	SWS12201			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	かつては支援する側（社会資源）だった「家庭」だが、現在は脆弱化した家庭・家族を包括してこどもを支援していくという考え方に変化してきた。その家庭観の変遷や支援のあり方について学習する。特に子どもにとって最も身近な存在である保育士としては、適切に養育される権利を有する子どもの目線で家庭を思考していく必要がある。そのようなスタンスで家庭へのアプローチを図っていきたい。									
到 達 目 標	1. これまでの社会状況と家庭支援のあり方の変遷について理解している。 2. 地域における関係機関の役割を含め、家庭を支援するプロセスや様々な手段、方法について理解している。 3. 「子どもの最善の利益」とは何かを知り、支援者がどのようなスタンスで望めばよいのかを習得している。									
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 考えてみよう！家族のカタチ	予習	シラバスを読んでくこと					
				復習	家庭の定義についてまとめてみる					
	第 2 回	内容	地域社会の変容と家庭支援について 家庭機能の弱まりと家庭支援の必要性	予習	日本の高度成長期ついて調べる					
				復習	「家庭機能」の変遷についてまとめてみる					
	第 3 回	内容	少子高齢化のもたらす影響について	予習	「失われた 20 年」について調べてみる					
				復習	少子化のもたらす問題についてまとめる					
	第 4 回	内容	児童虐待問題と家庭支援 認識のない保護者と SOS の出せない子ども	予習	最近の虐待事件について調べてみる					
				復習	虐待相談の構造についてまとめる					
	第 5 回	内容	次世代育成支援施策の経緯 現在の子ども子育て支援策概要	予習	地域が行う育児相談資源について調べる					
				復習	子育て支援施策の変遷についてまとめる					
	第 6 回	内容	地域の子ども子育て支援策① 保育園と幼稚園・認定こども園など	予習	「待機児童」について調べてみる					
				復習	保育の変遷についてまとめてみる					
	第 7 回	内容	地域の子ども子育て支援策② 要保護児童等と家庭支援	予習	地域での虐待対応策について調べてみる					
				復習	子ども子育て支援メニューをまとめてみる					
	第 8 回	内容	こども家庭支援の変遷と現在の子ども子育て支援策概要 中間まとめ 理解度チェック小テスト	予習	これまでの授業内容について見直してみる					
				復習	地域子育て支援事業についてまとめてみる					
	第 9 回	内容	保育所と家庭支援① 保育所入所家庭への支援	予習	保育所運営指針を調べる					
				復習	保育所の機能についてまとめる					
	第 10 回	内容	保育所と家庭支援② 保育所での地域の家庭支援	予習	こども家庭支援センターについて調べる					
				復習	地域での保育所の役割についてまとめてみる					
	第 11 回	内容	相談援助の知識と技術 家庭支援を実践していくための専門技術概要	予習	相談の対処方法について考えてみる					
				復習	相談のアプローチ方法についてまとめる					
	第 12 回	内容	誰のための家庭支援か 保護者対応と虐待について	予習	虐待について今一度復習する					
				復習	子ども目線での対応についてまとめる					
	第 13 回	内容	保育の場におけるこども家庭支援の現状と課題 こども家庭支援者を支える仕組み	予習	支援者として困ることを考えてみる					
				復習	困難な対応場面を整理してみる					
	第 14 回	内容	不適切養育と地域サービスの事例 地域における家族支援の実例	予習	養育支援訪問事業について調べる					
				復習	機関連携についてまとめる					
	第 15 回	内容	今後の家庭支援のあり方について 最終まとめ 理解度チェック小テスト	予習	これまでの内容を今一度振り返る					
				復習	今後の家庭支援のあり方についてまとめる					
	予習に要する学習時間：概ね 6 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 1 2 0 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	レポート提出と理解度チェック小テストを実施します。レポートは個々にコメントをつけて返却します。 積極的な授業への参加を評価します。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（70％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【 積極性等 】（ 30％）								
教科書	なし									
参考文献	子ども家庭支援論（太田光洋 編著 同文書院 2022. 11. 15） 他、適宜必要に応じて紹介します。									
補足事項	クラスルームには登録してください。補講が必要な場合はオンラインで実施する場合があります。									

科 目 名	社会的養護Ⅰ		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	し の は ら あ み 志 濃 原 亜 美
ナンバリングコード	SWS12103		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	社会福祉、児童家庭福祉の中の社会的養護の位置を理解し、特に施設における日常生活援助、施設における専門職について学びを深める。また、施設保育士の専門性と特別な配慮を要する子どもや家庭への援助について学び、さらに施設の中で行われるリービングケア、アフターケアなどの現状についても学習する。							
到 達 目 標	1. 施設養護の体系や援助過程について理解している 2. レジデンシャル・ソーシャルワークの視点から施設保育士の専門性、特別な配慮を要する子どもへの援助や保護者への相談の在り方など理解している 3. 子どもの権利擁護について理解し、実践で役立てることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する			
	第2回	内容	社会的養護の理念と意義	予習	社会的養護の理念のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会的養護の理念や意義についてのおおまかな理解をする。			
	第3回	内容	子どもの権利と社会的養護	予習	子どもの権利のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	子どもの権利の具体的な内容を理解する			
	第4回	内容	保育士の倫理・責務	予習	倫理・責務についてのプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	保育士の職務上の意倫理や責務について理解する			
	第5回	内容	社会的養護の制度と実施体系①（施設養護の制度）	予習	社会的養護の制度のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	施設養護の制度を理解する			
	第6回	内容	社会的養護の制度と実施体系②（移設養護の実施体系）	予習	社会的養護の実施体系のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会的養護の実施体系を理解する			
	第7回	内容	VTR（ぶどうの木・・・里親に関する内容）課題感想文	予習	今まで習った社会的養護の学びを概観する			
				復習	課題：感想文を書く			
	第8回	内容	施設養護にかかわる専門職士	予習	施設養護の専門職のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	施設養護の専門職について理解する			
	第9回	内容	施設養護の実際①（アドミッションケアとインケア）	予習	施設養護の実際のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	それぞれの用語について理解を深める			
	第10回	内容	施設養護の実際②（リービングケアとアフターインケア）	予習	施設養護の実際のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	それぞれの用語について理解を深める			
	第11回	内容	子育て困難家庭の実際と支援	予習	子育て困難家庭と支援についての穴埋めプリントを完成させる			
				復習	子育て困難家庭について知り、その支援を理解する			
	第12回	内容	DVケースと児童虐待へのソーシャルワークについて視点①（DVケース）	予習	DVの種類。法制度の穴埋めプリントを完成させる			
				復習	DVの種類や法制度を理解する			
	第13回	内容	DVケースと児童虐待へのソーシャルワークについて視点①（児童虐待ケース）	予習	児童虐待ケースについての穴埋めプリントを完成させる			
				復習	児童虐待へのソーシャルワークについてまとめる			
	第14回	内容	小テスト、VTR（施設に関するもの）	予習	小テストに向けての学習			
				復習	小テストで出題された個所の確認			
	第15回	内容	小テスト返却、解説、まとめ	予習	VTRの感想文を書く			
				復習	社会的養護の枠組みをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	小テストの解説と返却、レポートの返却を行います							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない							

	成績評価の方法： 筆記試験（55％）、レポート・課題（ 35％）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（10 %）
教科書	『よりそい支える社会的養護Ⅰ』（監修中山正雄/編著浦雅夫、教育情報出版） 『保育福祉小六法 2023 年版』（保育福祉小六法編集委員会著、みらい）
参考文献	適宜紹介する
注意事項	特別なケアを要する子どもについての書籍等を積極的に読むこと レポート課題があります。

科 目 名	社会的養護Ⅱ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	し の は ら あ み 志濃原 亜美	
ナバ [®] リング [®] コード [®]	SWS12202		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	施設養護や里親など社会的養護の実際について学び、社会的養護における児童の権利擁護や保育士等社会福祉施設従事者の倫理について、また、ソーシャルワークの技術など専門的技術などを体系的に理解する。 さらに、個々に応じた支援計画の作成、記録の書き方、自己評価についても具体的に学ぶ。								
到 達 目 標	1. 今まで学んできた社会福祉関連の知識や施設実習で学んだ施設の実態などを話し合いや発表等の方法で表現できる。 2. 自ら考え、発表し、問題意識を持つことで、社会的養護に関わる人や施設利用者について総合的に考える力を身につけている。 3. 施設養護の体系や援助過程について説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの確認				
				復習	講義概要を理解する				
	第2回	内容	施設実習を振り返って	予習	施設実習の振り返りをする				
				復習	実習と授業を結びつける				
	第3回	内容	障がいを持つ人の生活実態（VTR）	予習	各種別の施設についての復習をする				
				復習	感想文を書く				
	第4回	内容	障がいを持つ人のせいうかつ実態のビデオな内容について グループ討議	予習	感想文を振り返る				
				復習	グループ討議を振り返る				
	第5回	内容	グループ決め、およびディスカッション	予習	施設の種別を振り返る				
				復習	ディスカッションの内容をまとめる				
	第6回	内容	テーマ設定	予習	テーマ設定の材料の準備をする				
				復習	テーマの吟味をする				
	第7回	内容	グループレポート作成	予習	レポートの下書きをする				
				復習	レポートの清書をする				
	第8回	内容	グループ活動①（調査）	予習	テーマに応じた調査を開始する				
				復習	テーマに応じた調査を継続する				
	第9回	内容	グループ活動②（調査・制作）	予習	テーマに応じた調査の継続と制作の準備をする				
				復習	制作の準備をする				
	第10回	内容	中間報告	予習	中間報告の準備をする				
				復習	中間報告を踏まえた最終制作に取り掛かる				
	第11回	内容	グループ発表③（制作）	予習	制作の準備を進める				
				復習	最終確認				
	第12回	内容	発表レジメ提出	予習	発表レジメの下書きをする				
				復習	発表レジメの清書をする				
	第13回	内容	発表準備、確認、動画作成	予習	発表準備、及び動画の作成準備をする				
				復習	最終確認をする				
	第14回	内容	グループ発表①	予習	発表準備をする				
				復習	まとめをする				
	第15回	内容	グループ発表②、まとめ	予習	発表準備をする				
				復習	まとめをする				
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出物の返却、発表の講評などによるフィードバックを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（20%）								
教科書	『社会的養護Ⅰ・Ⅱ』（谷口純世他編、光生館）								
参考文献	『保育福祉小六法2023年版』（保育福祉小六法編集委員会著、みらい）								
注意事項	演習を中心とする。普段から児童問題に関心を持ち、主体的に授業に参加すること。								

科 目 名	社会的養護Ⅱ		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	ま ん ど う あ き お 萬 燈 章 雄
ナンバリングコード	SWS12202		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	社会的養護を必要としている子どもたちの現状と支援について学ぶ。実践力を学習できるよう事例研究を通して支援の方法を考えていきたい。また、支援するスタッフとしてどのような姿勢で望むことが必要なのか、倫理や責務についても学ぶ。処遇の結論よりもそれを導き出していくプロセスに重点を置いて学習する。							
到 達 目 標	1. アセスメントから支援方法まで事例を通してそのプロセスを理解している。 2. 様々なケースに応じてどのように対応していくのかを理解している。 3. より困難な場面でも、社会的養護に携わる保育士の職務と倫理に従い行動できることを身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション～		予習	シラバスに目を通しておくこと		
			演習1 ある施設に就職した友人の愚痴		復習	事例検討の方法についてまとめる		
	第2回	内容	演習2 障害児と母親の気持ち 「障害受容」についての考察		予習	障害児者施設体系について調べる		
					復習	障害受容についてまとめる		
	第3回	内容	演習3 障害児の処遇事例（学校・学童） 本人のこだわりと周囲のストレス。折り合いの付け方など		予習	障害者の権利条約について調べる		
					復習	障害児の自立支援についてまとめる		
	第4回	内容	講義 「アタッチメント」について考える		予習	ジョン・ボウルビィについて調べる		
					復習	愛着の形成についてまとめる		
	第5回	内容	演習4 ジェノグラムとエコマップ		予習	家族図について調べる		
					復習	ジェノグラムとエコマップについてまとめる		
	第6回	内容	演習5 被虐待児への支援について（保育所・幼稚園） 愛着に問題がある子への処遇について		予習	虐待のサインについて調べる		
					復習	愛着障害についてまとめる		
	第7回	内容	演習6 乳児院の生活と措置変更（乳児院） 乳児院での処遇において大切なものとは		予習	社会的養護に必要な施設について調べる		
					復習	「措置変更」についてまとめる		
	第8回	内容	演習7 日常生活支援（児童養護施設） 入所支援。アドミッションケアについて		予習	「親子分離」について調べる		
					復習	施設入所時の子ども支援についてまとめる		
	第9回	内容	演習8 日常生活支援（児童養護施設） インケアについて（ルールと日課）		予習	様々な施設の日課について調べてみる		
					復習	ルールと日課のあり方についてまとめてみる		
	第10回	内容	演習9 日常生活支援（児童養護施設） インケアについて（愛着に課題のある子の処遇）		予習	養護施設の入所事由について調べてみる		
					復習	処遇困難に子への対処方法についてまとめる		
	第11回	内容	講義 ケースワークと専門技術		予習	ケースワークについて調べる		
					復習	ソーシャルワークの体系についてまとめる		
	第12回	内容	ビデオ学習 施設からの自立支援について		予習	リービングケアについて調べる		
					復習	スタッフの支援内容について振り返る		
	第13回	内容	演習10 自立支援計画について（児童養護施設）Ⅰ 事例の情報を整理する		予習	情報の共有について調べる		
					復習	事例についてアセスメントしてみる		
	第14回	内容	演習10 自立支援計画について（児童養護施設）Ⅱ 事例の情報を整理する		予習	ケース事例について、課題を整理してみる		
					復習	自立支援計画についてまとめてみる		
	第15回	内容	講義 まとめ 子どもの目線に対応することとは 子どもの権利擁護について		予習	子どもの権利条約について調べる		
					復習	子どもの権利擁護についてまとめてみる		
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	原則、毎回事例ごとに全員課題についての意見など記載してレポートとして提出。簡単ですがコメントと評価をつけてできるだけ返却していくつもりでいます。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（50％）、作品・発表（20％）、実技（ ）、授業態度【積極性】（30％）							
教科書	なし							
参考文献	「社会的養護Ⅱ」 相澤 仁・村井美紀・大竹 智編 中央法規 その他授業中に紹介します。							
補足事項	基本事例も含めプリント資料配布で授業を進めます。この授業は考える課程に授業の目的がありますので、授業マナーを守り意見発表や質問など積極的な参加を評価します。なお、回答の正誤についてあまり問いません。							

科 目 名	保育者論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子	
ナソバ・リンク・コート*	EDU12104		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	保育者を目指すことで最も大切なことであり、大変なことと思われる実習に向けて、実践的な事柄から学び、自分なりの保育観や実習に対する心構えや目標をもつことができるように指導していきます。また、実習日誌への記載に慣れる意味で、手書きで文章を書けるように練習できる内容を提供していきます。								
到 達 目 標	1. 実習のあり方について理解がしている 2. 保育者としての基本的な態度を身に付ける必要性について説明できる 3. 実習について、何を学ぶべきかが理解している								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・3・4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション：諸注意と必要事項の説明	予習	保育者になるという意味を考えまとめておく				
				復習	必要事項についてまとめる				
	第 2 回	内容	幼稚園教育実習について	予習	幼稚園についてまとめておく				
				復習	教育実習についての意義についてまとめる				
	第 3 回	内容	幼稚園と保育所の違いについて考える	予習	就学前教育について調べまとめておく				
				復習	違いや同じことについて詳しくまとめる				
	第 4 回	内容	幼稚園教諭の仕事と役割について考える	予習	教育するということについて調べまとめておく				
				復習	理解したことを詳しくまとめる				
	第 5 回	内容	保育士の仕事と役割について考える	予習	保育するの意味についてまとめておく				
				復習	理解したことを詳しくまとめる				
	第 6 回	内容	3 歳児の特徴について知る	予習	3 歳児について調べまとめておく				
				復習	理解したことをさらに調べまとめる				
	第 7 回	内容	4 歳児の特徴について知る	予習	4 歳児について調べまとめておく				
				復習	理解したことをさらに調べまとめる				
	第 8 回	内容	5 歳児の特徴について知る	予習	5 歳児について調べまとめておく				
				復習	理解したことをさらに調べまとめる				
	第 9 回	内容	保育の安全と事故防止について学ぶ	予習	安全や事故防止について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 10 回	内容	実習について必要となるマナー等を学ぶ	予習	教科書の該当箇所を熟読しておく				
				復習	自分が考える実習について具体的にまとめる				
	第 11 回	内容	「教師」という言葉について学ぶ	予習	先生や教師等の言葉について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 12 回	内容	日本の教職の特徴について考える	予習	日本の教師について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 13 回	内容	しつけをめぐる問題について考える	予習	「しつけ」について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第 14 回	内容	自分の実習について考える	予習	実習園について調べまとめておく				
				復習	実習について振り返りまとめる				
	第 15 回	内容	まとめ	予習	自分なりの保育観についてまとめておく				
				復習	興味をもったことについてさらに調べまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	小テストや中間テストを実施し、学生の理解度を把握していく							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50）、レポート・課題（30%）、授業態度【発言の意欲等】（20%）							
教科書	『これだけは身につけたい 小学校教員の常識 67』（村越晃 [編]、一藝社）								
参考文献	必要に応じて適宜、授業中に紹介していきます。								
補足事項	実習に対する意識をしっかりともち、園の協力の下で実習が実現できることをしっかりと理解してほしいと思います。								

科 目 名	保育の心理学		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	おおくま みかこ 大熊 美佳子	
ナンバリングコード	EDP12101		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	子どもの心身の発達について、代表的な理論を踏まえ、発達の概念を理解し、具体的な発達や学習の過程に関する基礎知識を習得し、教育や保育、子育て支援に生かしていけるように、学びを深めていくことを目的とします。								
到 達 目 標	1．保育に関わる心理学の基本用語を正確に理解している 2．子どもの発達や行動を理解するために必要な心理学的視点の基礎を身につけている 3．子どもの主体的な活動を支えるための基礎となる考え方を理解している								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1,3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	子どもの発達の理解	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	子どもの発達の理解についてまとめる				
	第2回	内容	子どもの発達と環境	予習	遺伝と環境の影響について考えてくる				
				復習	発達に関わる遺伝と環境の考え方をまとめる				
	第3回	内容	発達観・子ども観と保育観	予習	自分自身の子ども観、保育観をまとめてくる				
				復習	発達に関する考え方の変遷をまとめる				
	第4回	内容	身体的機能と運動機能の発達	予習	乳幼児の身体・運動機能の発達について調べてくる				
				復習	乳幼児の身体・運動機能の発達について学んだことをまとめる				
	第5回	内容	社会情動的発達① （感情・情動の発達）	予習	感情・情動の発達について調べる				
				復習	感情・情動の発達を年齢ごとに整理する				
	第6回	内容	社会情動的発達② （アタッチメント理論）	予習	ボウルヴィのアタッチメント理論について調べてくる				
				復習	アタッチメント理論について整理する				
	第7回	内容	社会情動的発達② （他者理解の発達）	予習	乳幼児の他者理解について調べてくる				
				復習	人間関係の発達を年齢ごとに整理する				
	第8回	内容	パーソナリティの発達	予習	フロイトの理論について調べてくる				
				復習	フロイトの理論を年齢ごとに整理する				
	第9回	内容	認知発達① （ピアジェの認知発達理論）	予習	ピアジェについて調べてくる				
				復習	ピアジェの認知発達理論を整理する				
	第10回	内容	認知発達② （言葉の発達とヴィゴツキーの認知発達理論）	予習	言葉の発達について調べてくる				
				復習	ヴィゴツキーの認知発達理論を整理する				
	第11回	内容	学習理論① （学習とは何か）	予習	学習の意味について調べてくる				
				復習	学習・条件づけについてまとめる				
	第12回	内容	学習理論② （社会的学習理論について）	予習	社会的学習理論について調べる				
				復習	現場への応用の仕方について考える				
	第13回	内容	子どものやる気① （動機づけ理論について）	予習	子どものやる気について考える				
				復習	動機づけ理論についてまとめる				
	第14回	内容	子どものやる気② （褒めること・叱ること）	予習	子どもの褒め方・叱り方について考える				
				復習	よりよい褒め方・叱り方をまとめる				
	第15回	内容	子どもの個性を理解する	予習	個性とは何かを考える				
				復習	保育現場で必要な心理学的視点をまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業内で小テストを実施し、テスト後、解説を行います。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、授業態度【積極的参加】（20%）							
教科書	なし								
参考文献	講義の中で適宜紹介します								
補足事項									

科 目 名	子ども家庭支援の心理学		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	みよし ちから 三好 力	
ナパリングコード	EDP12102		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	生涯発達心理学をベースにして、保育士が必要とする人間の各成長段階における発達課題や発達障害、社会状況に基づく家庭支援の在り方などを学んでいく。								
到 達 目 標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎的知識を習得し初期経験の重要性、発達課題について理解している。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得している。 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解している。 4. 子どもの精神保健とその課題について理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	発達心理学の概要をつかむ	予習	教科書の相当箇所を事前に読むこと				
				復習	授業の内容を整理する				
	第2回	内容	生涯発達とは何か	予習	教科書の生涯発達の箇所を事前に読むこと				
				復習	ライフサイクルとライフコースを整理する				
	第3回	内容	主要な発達理論の紹介	予習	教科書の発達理論の箇所を事前に読むこと				
				復習	発達理論について整理してまとめる				
	第4回	内容	乳幼児期の発達	予習	教科書の幼児期の箇所を事前に読むこと				
				復習	未就学児の特徴をまとめる				
	第5回	内容	学童期前期にかけての発達	予習	教科書の学童期の箇所を事前に読むこと				
				復習	学童期の子どもの特徴をまとめる				
	第6回	内容	学童期後期から青年期にかけての発達	予習	教科書の青年期の箇所を事前に読むこと				
				復習	青年期の特徴をまとめる				
	第7回	内容	小テスト（1～6） 青年期の精神世界を見る	予習	1～6 回目の復習。				
				復習	テストの間違ったところを再学習する				
	第8回	内容	成人期における発達	予習	教科書の成人期の箇所を事前に読むこと				
				復習	成人期の特徴をまとめる				
	第9回	内容	老年期における発達	予習	教科書の老年期の箇所を事前に読むこと				
				復習	老年期の特徴をまとめる				
	第10回	内容	子育てを取り巻く社会的状況	予習	教科書の子育て環境の箇所を事前に読むこと				
				復習	現代の子育て環境について考える				
	第11回	内容	家族・家庭の意義、機能と親子関係・家族関係の理解	予習	教科書の家族の箇所を事前に読むこと				
				復習	家族機能について考える				
	第12回	内容	子育ての経験と親としての育ち、ライフコースと仕事・子育て	予習	教科書の子育ての箇所を事前に読むこと				
				復習	親の成長を考える				
	第13回	内容	多様な家庭形態とその理解 特別な配慮を要する家庭	予習	教科書の多様な家庭の箇所を事前に読むこと				
				復習	多様性について考える				
	第14回	内容	子どもの精神保健	予習	教科書の精神保健の箇所を事前に読むこと				
				復習	子どもの精神保健について整理する				
	第15回	内容	小テスト（7～14） 振り返り	予習	7～14 回目の復習。テスト勉強をする				
				復習	テストの間違ったところを再学習する				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	小テストの後に、答え合わせと解説を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（100%）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）							
教科書	『子ども家庭支援の心理学』（青木喜久代編、みらい）								
参考文献									
補足事項									

科 目 名	子ども家庭支援の心理学		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	みよし ちから 三好 力
ナンバリングコード	EDP12102		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	生涯発達心理学をベースにして、保育士が必要とする人間の各成長段階における発達課題や発達障害、社会状況に基づく家庭支援の在り方などを学んでいく。							
到 達 目 標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎的知識を習得し初期経験の重要性、発達課題について理解している。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得している。 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解している。 4. 子どもの精神保健とその課題について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	発達心理学の概要をつかむ	予習	教科書の相当箇所を事前に読むこと			
				復習	授業の内容を整理する			
	第2回	内容	発達心理学の概要をつかむ（2）	予習	教科書の生涯発達の箇所を事前に読むこと			
				復習	ライフサイクルとライフコースを整理する			
	第3回	内容	生涯発達とは何か	予習	教科書の発達理論の箇所を事前に読むこと			
				復習	発達理論について整理してまとめる			
	第4回	内容	主要な発達理論の紹介	予習	教科書の発達理論の箇所を事前に読むこと			
				復習	発達理論について整理してまとめる			
	第5回	内容	乳幼児期の発達	予習	教科書の乳児期の箇所を事前に読むこと			
				復習	乳児期の特徴をまとめる			
	第6回	内容	学童期前期にかけての発達	予習	教科書の幼児期の箇所を事前に読むこと			
				復習	未就学児の特徴をまとめる			
	第7回	内容	学童期後期からの発達	予習	教科書の学童期の箇所を事前に読むこと			
				復習	学童期の子どもの特徴をまとめる			
	第8回	内容	学童期後期から青年期にかけての発達	予習	教科書の青年期の箇所を事前に読むこと			
				復習	青年期の特徴をまとめる			
	第9回	内容	青年期の精神世界を見る	予習	先週の振り返りをしておくこと			
				復習	青年期の特徴を考える			
	第10回	内容	成人期における発達	予習	教科書の成人期の箇所を事前に読むこと			
				復習	成人期の特徴をまとめる			
	第11回	内容	老年期における発達（前編）	予習	教科書の老年期の箇所を事前に読むこと			
				復習	老年期の特徴をまとめる			
	第12回	内容	老年期における発達（後編）	予習	教科書の老年期の箇所を事前に読むこと			
				復習	老年期の特徴をまとめる			
	第13回	内容	子育てを取り巻く社会的状況～家族・家庭の意義、機能と親子関係・家族関係の理解	予習	教科書の子育ての箇所を事前に読むこと			
				復習	親の成長を考える			
	第14回	内容	多様な家庭形態とその理解	予習	教科書の多様な家庭の箇所を事前に読むこと			
				復習	多様性について考える			
	第15回	内容	発達支援の必要な子どものいる家庭～精神保健	予習	教科書の精神保健の箇所を事前に読むこと			
				復習	精神保健について考える			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回 google classroom で小テストを実施する。その次の週に結果をフィードバックする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）							
教科書	『子ども家庭支援の心理学』（青木喜久代編、みらい）							
参考文献								
補足事項	オンデマンドによる映像授業。							

科 目 名	子どもの理解と援助		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	みよし ちから 三好 力	
ナソバ・リング・コート*	EDP12201		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	幼児期の子どもの発達、遊び、生活の特徴と幼稚園教諭、保育者としての対応方法、保護者に対する支援・指導について事例を通して既習の知識や実習を通して得た経験を元に考える。 対人コミュニケーションに必要なスキルをアクティブ・ラーニングの中で身につけていく。								
到 達 目 標	1. 子どもの心身の発達と保育実践について理解を深め、現場で応用することができる。 2. 生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解し、その過程で生じるつまずきなどに対応することができる。 3. 保育における観察力や評価方法を身につけて発達支援について自ら考えることができる。 4. 保護者や他の保育者とコミュニケーションをとりながら発達援助を行うことができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 3, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	イントロダクション：幼児理解の意義	予習	既習の保育学・発達心理学の内容について確認				
				復習	振り返りの記録をつける				
	第 2 回	内容	子ども理解における発達の把握 集団討論	予習	教科書第 1 章を読んで考えておく。				
				復習	振り返りの記録をつける。				
	第 3 回	内容	共感的理解と子どもとの関わり 集団討論	予習	教科書の第 2 章を読んで考えておく。				
				復習	共感的理解について整理する。				
	第 4 回	内容	子どもの生活や遊び 集団討論	予習	教科書の第 3 章を読んで考えておく。				
				復習	子どもの遊びについて整理しておく。				
	第 5 回	内容	アクティビティⅠ (様々なコミュニケーションと保育者の態度)	予習	コミュニケーションとは何かを考えておく。				
				復習	非言語コミュニケーションについて整理しておく				
	第 6 回	内容	心の発達と人的環境としての保育 集団討論	予習	教科書の第 4 章を読んで考えておく。				
				復習	人的環境を整理する。				
	第 7 回	内容	発達における葛藤やつまずき 集団討論	予習	教科書の第 7 章を読んで考えておく。				
				復習	発達における問題を整理しておく。				
	第 8 回	内容	保育環境の理解と構成 集団討論	予習	教科書の第 8 章を読んで考えておく。				
				復習	アフオーダンスを考えてみる。				
	第 9 回	内容	アクティビティⅡ (集団でのコミュニケーション)	予習	配付する資料を事前に確認しておく。				
				復習	振り返りの記録をつける				
	第 10 回	内容	子ども理解のための観察・記録と省察・評価	予習	教科書の第 9 勝を読んでおく				
				復習	実習での事例をふまえて省察しておく。				
	第 11 回	内容	職員間の対話 集団討論	予習	教科書の第 10 章を読んで考えておく。				
				復習	職員間のコミュニケーションについて考えておく。				
	第 12 回	内容	保護者のとの情報共有 集団討論	予習	教科書の第 11 章を読んで考えておく。				
				復習	保護者との関わりについて整理しておく。				
	第 13 回	内容	アクティビティⅢ (他者とのコンセンサス)	予習	配付する資料を事前に確認しておく。				
				復習	協働することについて振り返りの記録をつける。				
	第 14 回	内容	発達の課題に応じた援助と関わり 集団討論	予習	教科書の第 12 章を読んで考えておく。				
				復習	発達課題に応じた支援について整理しておく。				
	第 15 回	内容	特別な配慮を要する子供の理解と援助 集団討論	予習	教科書の第 13 章を読んで考えておく。				
				復習	特別な配慮をする場面を整理しておく。				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業のなかで、その都度講評を行っていく。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（80％）、作品・発表（20％）、実技（ ）％、授業態度【 】（ ）％							
教科書	『なぜ？から探る 子どもの理解と援助』（青木喜久代編、みらい）								
参考文献	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領								
補足事項	授業中の私語、携帯電話、飲食は禁止。好ましくない者は注意の上で授業態度を減点し、場合によっては退出、授業出席を停止させることもありますので注意してください。								

科 目 名	子どもの理解と援助		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳	
ナンバリングコード	EDP12201		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本講義では、子ども(乳幼児期)の理解のために必要な既習の理論を含めてより深める。さらに、方法として子ども観察、記録、カンファレンスについて学び、子どもと保護者への支援方法について考える。将来の保育・教育現場での子どもの理解と援助の実践に役立つようにする。								
到 達 目 標	1. 子どもの理解について基本的な知見を持ち、それらを保育現場で活かすことができる。 2. 保育における観察や記録方法を身につけて子ども支援を自ら策定していける。 3. 保護者や他の関係者とコミュニケーションを取り、連携していける。								
学位授与方針	幼児教育学科 (2, 3, 5) 地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。				
				復習	授業内容と評価方法について理解する。				
	第 2 回	内容	保育者に必要な能力とは	予習	保育者に必要な能力について考える。				
				復習	保育者の総合力について整理して理解する。				
	第 3 回	内容	子どもの理解とは	予習	子ども理解の意義や方法について調べる。				
				復習	子ども理解について理解し整理する。				
	第 4 回	内容	子どもを取り巻く環境①(ボウルビー等発達の視点)	予習	愛着理論について調べる。				
				復習	愛着理論について整理し理解する。				
	第 5 回	内容	子どもを取り巻く環境②(エリクソン等発達の視点)	予習	心の発達理論について調べる。				
				復習	エリクソンの発達理論について理解する。				
	第 6 回	内容	子どもを取り巻く環境③(ピアジェ等発達の視点)	予習	子どもの認知発達について調べる。				
				復習	ピアジェの認知発達について理解する。				
	第 7 回	内容	子どもを取り巻く環境④(その他)	予習	その他の発達理論等について調べる。				
				復習	学んだ発達理論を整理して理解する。				
	第 8 回	内容	子どもを取り巻く環境⑤(学習の視点)	予習	学習の形態について調べる。				
				復習	学習理論について整理して理解する。				
	第 9 回	内容	保育における観察	予習	保育における観察等について調べる。				
				復習	観察等、学んだことを整理して理解する。				
	第 10 回	内容	保育における記録	予習	保育における記録について調べる。				
				復習	記録等、学んだことを整理して理解する。				
	第 11 回	内容	記録にもとづく保育カンファレンス	予習	カンファレンスの意義と方法について調べる。				
				復習	保育カンファレンスについて理解する。				
	第 12 回	内容	子どもの特別なニーズの理解と援助① (さまざまな子どものニーズ)	予習	子どもの特別なニーズについて調べる。				
				復習	子どものニーズの有様を整理して理解する。				
	第 13 回	内容	子どもの特別なニーズの理解と援助②(援助の方法)	予習	子どもの援助法について調べる。				
				復習	援助法について学んだことを理解する。				
	第 14 回	内容	保護者理解と援助の基本①(保護者理解とは)	予習	保護者の理解について調べる。				
				復習	保護者理解についてその必要性を理解する。				
	第 15 回	内容	保護者理解と援助の基本②(保護者支援とは)	予習	保護者支援について調べる。				
				復習	保護者支援の意義と必要性を理解する。				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	受講学生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法： 筆記試験（70%）、レポート・課題（30%）							
教科書	特に指定しない。								
参考文献	講義内で随時紹介する。								
補足事項	講義を中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りを活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。								

科 目 名	子どもの保健		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	み た のりこ 味 田 徳子	
ナシバ [®] リングコート [®]	AHS12101		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	子どもの健康と保健の意義について理解する。 身体や心の基本的知識について習得するとともに、子どものかかりやすい病気とその予防・対応法について学び、援助できる力をみにつけることを目的とする。								
到 達 目 標	1．子どもの発育・発達についての基礎知識を習得し、一人ひとりに応じた評価ができる。 2．子どもの病気とその予防、適切な対応について理解している。 3．子どもの心身の健康状態を把握し、その対応方法が理解できている。 4．保健活動において、保護者および多職種間の連携・協働の重要性を理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（1, 3, 4 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション Ⅰ、子どもの心身の健康と保健の意義	予習	P 2 ～ 5 まで読んでおく				
				復習	自分や周りの人の「健康」について考える				
	第 2 回	内容	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	予習	現代の子どもの健康の課題は何か調べる				
				復習	第 2 回プリント見直し・まとめ				
	第 3 回	内容	Ⅱ、子どもの身体的発育・発達と保健 ① 身体発達-生命の誕生	予習	家族から自分の「妊娠～出生までの経過」を聞く				
				復習	第 3 回プリントの見直し・まとめ				
	第 4 回	内容	② 発育と発達 ③ 運動機能の発達と保健	予習	P26～31 までを読んでおく				
				復習	反射・発達について、月齢をおってまとめる				
	第 5 回	内容	④ 生理機能の発達と保健 呼吸・体温・循環	予習	P32～33 まで読み、理解しておく				
				復習	乳幼児の特徴についてまとめる				
	第 6 回	内容	消化・排泄・睡眠	予習	P33～34 まで読み、子どもの特徴を知る				
				復習	乳幼児の特徴についてまとめる				
	第 7 回	内容	Ⅲ、子どもの心身の健康状態とその把握 観察・早期発見	予習	子どもの健康状態のポイントを考える				
				復習	子どもの観察ポイントを部位別にまとめる				
	第 8 回	内容	身体計測とその評価	予習	P45～52 まで読んでおく 自分の身体計測を行う				
				復習	第 8 回までの要点について見直す				
	第 9 回	内容	一 振り返り確認テスト No1一 健康診断 母子健康手帳	予習	自分の母子健康手帳の内容を確認しておく				
				復習	乳幼児健診の内容についてまとめる				
	第 10 回	内容	Ⅳ、子どもの疾病予防と適切な対応 ① 症状のある子どもへの対応	予習	一般的にみられる症状はどのようなものがあるか考える				
				復習	症状の対応についてまとめる				
	第 11 回	内容	② 感染症	予習	P63～74 まで読んでおく				
				復習	感染経路をまとめる				
	第 12 回	内容	③ 予防接種	予習	抗原抗体反応について調べる				
				復習	自分が行ったことのある予防接種を確認する				
	第 13 回	内容	④ アレルギー疾患	予習	アレルギーの事例について調べる				
				復習	アレルギー疾患の対応について調べる				
	第 14 回	内容	⑤ その他の疾患	予習	先天性疾患にはどのようなものがあるか調べる				
				復習	慢性疾患についてまとめる				
	第 15 回	内容	一 振り返り確認テスト No2一 精神疾患・まとめ	予習	最近の虐待事例について調べる				
				復習	発達障害の種類・特徴についてまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業内で質問できる時間を設ける。課題（各授業終了時、確認ポイントチェック 5 問）・提出物においては、採点后または必要に応じてコメントを添えて返却する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 課題（ 80 %）、レポート・課題（ 10 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 10 %）							
教科書	「子どもの保健 健康と安全」岩田力・細井香 光生館、「予防接種手帳」日本家族計画協会								
参考文献	授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト 小林美由紀・森脇浩一 診断と治療社								
補足事項	講義終了後、次回ワークプリントを配布します。前回欠席者は授業前に申し出て、ワークプリントをもらってから受講してください。								

科 目 名	子どもの保健			単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	くまさか たかゆき 熊坂 隆行
ナバ [®] リング [®] コード [®]	AHS12101			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	子どもの成長過程を安全に、より健康的に手助けするために、子どもの発育や身体的特徴を理解し、子どものとの接し方について総合的に学ぶ。保育者として必要な保健の知識を習得し、子どもの事故や安全対策について基本的な対応、実践力を身につける。小児保健の意義、小児の生理的機能、運動機能の発達と保健、先天異常の理解と保健のほか、子どもの事故や安全対策について基本的な対応についても学習する。								
到 達 目 標	1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解している。 2. 子どもの身体発育や生理機能及び運動機能の発達と保健について理解している。 3. 子どもの心身の疾病等と適切な対応について理解している。 4. 保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解している。 5. 救急時の対応や事故防止、安全管理について理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（1,2,3,4）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	保育における子どもの保健	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	保育におけるこどもの保健を理解する				
	第2回	内容	子どもの健康と保健の意義	予習	健康と保健の意義を整理しておく				
				復習	健康と保健の意義をまとめる				
	第3回	内容	子どもの発育と保健	予習	発育と保健を理解する				
				復習	発育と保健をまとめる				
	第4回	内容	子どもの生理機能の発達と保健	予習	生理機能の発達と保健を理解する				
				復習	生理機能の発達と保健をまとめる				
	第5回	内容	子どもの運動機能の発達と保健	予習	運動機能の発達と保健を理解する				
				復習	運動機能の発達と保健をまとめる				
	第6回	内容	子どもの感染症の予防と対策	予習	感染症の予防と対策を理解する				
				復習	感染症の予防と対策をまとめる				
	第7回	内容	アレルギー疾病	予習	アレルギー疾病を理解する				
				復習	アレルギー疾病をまとめる				
	第8回	内容	子どもの健康状態の把握について	予習	健康状態の把握について理解する				
				復習	健康状態の把握についてまとめる				
	第9回	内容	先天異常の理解と保健	予習	先天異常の理解と保健を理解する				
				復習	先天異常の理解と保健をまとめる				
	第10回	内容	家庭看護と保健	予習	家庭看護と保健を理解する				
				復習	家庭看護と保健をまとめる				
	第11回	内容	予防接種の種類と効果	予習	予防接種の種類と効果を理解する				
				復習	予防接種の種類と効果をまとめる				
	第12回	内容	保育現場における事故防止と安全対策・救急処置	予習	事故防止と安全対策・救急処置を理解する				
				復習	事故防止と安全対策・救急処置をまとめる				
	第13回	内容	保育現場における安全対策並びに危機管理	予習	安全対策並びに危機管理を理解する				
				復習	安全対策並びに危機管理をまとめる				
	第14回	内容	保育所保育指針・幼稚園教育要領における小児の保健	予習	指針・要領における小児の保健を理解する				
				復習	指針・要領における小児の保健をまとめる				
	第15回	内容	授業の振り返り、まとめ	予習	子どもの保健を理解する				
				復習	子どもの保健をまとめる				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。									
課題へのフィードバック	講義前後は、教科書、参考文献を用いて予習・復習をしてください。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50％）、レポート・課題（30％）、授業態度【主体的参加】（20％）								
教科書	プリントを配布いたします。								
参考文献	適宜、紹介いたします。								
補足事項	自ら学ぶ姿勢をもち、主体的に講義に参加してください。								

科 目 名	子どもの食と栄養		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	ひらやま もとこ 平 山 素子
ナンバリングコード	EAH12101		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	子どもを取り巻く食環境を把握し、胎児期から学齢期の発育発達と栄養・食事との関係を理解する。子ども一人ひとりの心理状態や食事の摂取状況を観察し、適切な食事の提供と介助、さらには食生活のあり方について援助できる力を身につけることを目的とする。							
到 達 目 標	1. 子どもの発育・発達と食生活・栄養について理解している 2. 月年齢に見合った適切な食事提供と介助を行う力を身につけている 3. 自分自身の望ましい食生活の構築に取り組んでいる							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1、2、3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、調理室の使い方	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	子どもの発育・発達と栄養	予習	発育と発達の違いを調べる			
				復習	発育発達と栄養の関わりについてまとめる			
	第3回	内容	授乳期の栄養① 母乳栄養	予習	母乳栄養について調べる			
				復習	母乳栄養の利点と注意点をまとめる			
	第4回	内容	授乳期の栄養② 人工栄養	予習	人工栄養について調べる			
				復習	人工栄養の利点と注意点についてまとめる			
	第5回	内容	調理実習1・・・授乳期(デモンストレーション)	予習	レシピ(プリント)を読んでおく			
				復習	調理手順を理解する			
	第6回	内容	調理実習1・・・授乳期(調理実習)	予習	調理手順を整理しておく			
				復習	人工栄養と母乳についてレポートを作成する			
	第7回	内容	離乳の必要性について	予習	どうして離乳が必要なのかを考える			
				復習	離乳食導入方法とサポート方法をまとめる			
	第8回	内容	離乳期の栄養①(5～6か月頃)	予習	教科書の「5～6か月頃の離乳食」部分を読む			
				復習	「5～6か月頃の離乳食」の特徴をまとめる			
	第9回	内容	離乳期の栄養②(7～8か月頃)	予習	教科書の「7～8か月頃の離乳食」部分を読む			
				復習	「7～8か月頃の離乳食」の特徴をまとめる			
	第10回	内容	食物アレルギーについて	予習	食物アレルギーの原因となる食物を調べる			
				復習	事故防止、サポート方法をまとめる			
	第11回	内容	調理実習2・・・離乳期(デモンストレーション)	予習	レシピ(プリント)を読んでおく			
				復習	調理手順を理解する			
	第12回	内容	調理実習2・・・離乳期(調理実習)	予習	調理手順を整理しておく			
				復習	離乳食(5～6, 7～8か月)についてレポート作成			
	第13回	内容	離乳期の栄養③(9～11か月頃)	予習	教科書の「9～11か月頃の離乳食」を読む			
				復習	「9～11か月頃の離乳食」の特徴をまとめる			
	第14回	内容	離乳期の栄養④(12～18か月頃)	予習	教科書の「12～18か月頃の離乳食」を読む			
				復習	「12～18か月頃の離乳食」の特徴をまとめる			
	第15回	内容	調理実習3・・・離乳期(デモンストレーション)	予習	レシピ(プリント)を読んでおく			
				復習	調理手順を理解する			
	第16回	内容	調理実習3・・・離乳期(調理実習)	予習	調理手順を整理しておく			
				復習	離乳食(9～11, 12～18か月)のレポート作成			
	第17回	内容	保育現場における食事を考える	予習	保育現場で食事等を提供する機会を考える			
				復習	事等の提供時の課題と解決法をまとめる			
	第18回	内容	幼児期の栄養①成長と食事・栄養について	予習	幼児期の食事について具体的に考えてみる			
				復習	幼児期の食事の特徴をまとめる			
	第19回	内容	幼児期の栄養②保育士・保護者の悩みを通して考える	予習	幼児期の食の問題について調べる			
				復習	幼児期の食の課題と解決方法をまとめる			
	第20回	内容	児童福祉施設の食事と栄養	予習	教科書の「児童福祉施設での食事」を読む			
				復習	児童福祉施設毎の食の特徴をまとめる			
	第21回	内容	調理実習4・・・幼児食(弁当)(デモンストレーション)	予習	レシピ(プリント)を読んでおく			
				復習	調理手順を理解する			

	第 22 回	内容	調理実習 4・・・幼児食(弁当)(調理実習)	予習	調理手順を整理しておく
				復習	幼児食、お弁当についてレポートを作成する
	第 23 回	内容	障がい児の食事と栄養	予習	教科書の「障害のある子どもの食事」を読む
				復習	障がいのある子どもの食の課題をまとめる
	第 24 回	内容	体調不良時の食事と栄養	予習	子どもの体調不良について調べる
				復習	体調に合わせた食事の摂り方をまとめる
	第 25 回	内容	園外保育・行事保育の食事（食物アレルギー等）	予習	園外保育・行事保育の食事について調べる
				復習	園外保育・行事保育の留意点をまとめる
	第 26 回	内容	間食の意義と栄養	予習	間食の意義と必要性について調べる
				復習	間食の必要性と留意点のをまとめる
	第 27 回	内容	学童期の食事と栄養	予習	幼保卒園後の食の問題について考える
				復習	学童期の食とサポート方法をまとめる
	第 28 回	内容	妊娠・授乳期の食事と栄養	予習	妊娠・授乳期に生じる食の問題を考える
				復習	妊娠・授乳期の食とサポート方法をまとめる
第 29 回	内容	食事のマナー・箸の使い方等について	予習	幼児期に習得すべきマナーについて調べる	
			復習	箸使いの習得方法とサポート方法をまとめる	
第 30 回	内容	食べることの意義と栄養・食品の知識	予習	子どもの食で大切なことは何かを考える	
			復習	自分の食生活を振り返り、改善方法をまとめる	
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（60％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【積極性】（40％）				
教科書	『新・子どもの食と栄養』（岩田, 寺嶋編、みらい）				
参考文献	『子どもの食と栄養』（大江敏江編、光生館）				
補足事項	調理実習ができない場合には、授業内容を変更することがあります				

科 目 名	臨床心理学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	みよし ちから 三好 力	
ナンバリングコード	CLP12201		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	臨床心理学は応用心理学の一つである。心の悩みを解決し、人間を幸せにする学問ともいわれている。 現代社会にはさまざまな心の問題が存在する。私たちが、人の心を理解しようと試みたり、心の問題に向き合おうとするとき、臨床心理学はそれらの試みをサポートしてくれる。本講義では、臨床心理学の基礎的知識の習得と現場で生きる臨床心理学の実践的能力の育成を図る。さらに、保育者自身の心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。								
到 達 目 標	1. 臨床心理学の基礎的知識を習得できる。 2. 学んだ知識を活用して、心の問題について、自分なりに考えられる力を身につける。 3. 学んだ知識を使って、子どもや保護者の心の問題理解と支援に役立てられる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	臨床心理学についての概要	予習	現代社会のこころの問題を考えてみる				
			現代社会のこころの問題を考えてみる	復習	現代社会のこころの問題を振り返る				
	第 2 回	内容	精神障害①	予習	抑うつ障害について調べる				
			抑うつ障害	復習	抑うつ障害について確認する				
	第 3 回	内容	精神障害②	予習	不安障害について調べる				
			不安障害	復習	不安障害について確認する				
	第 4 回	内容	精神障害③	予習	統合失調症について調べる				
			統合失調症	復習	統合失調症について確認する				
	第 5 回	内容	精神障害④	予習	PTSD について調べる				
			心的外傷後ストレス障害	復習	PTSD について確認する				
	第 6 回	内容	発達臨床心理学について	予習	既習の発達心理学の内容を確認する				
			発達初期のこころの問題について考えてみる	復習	既習の発達心理学の内容について確認する				
	第 7 回	内容	発達障害①	予習	知的障害について調べる				
			知的障害・自閉症スペクトラム	復習	知的障害について確認する				
	第 8 回	内容	発達障害②	予習	ADHD, LD について調べる				
			ADHD・LD	復習	ADHD, LD について確認する				
	第 9 回	内容	確認小テスト	予習	ここまでの内容について試験勉強する				
			フィードバック	復習	テストで出た内容を照らし合わせ確認する				
	第 10 回	内容	臨床心理学の理論と方法①	予習	精神分析について調べる				
			精神分析	復習	精神分析について確認する				
	第 11 回	内容	臨床心理学の理論と方法②	予習	ロジャースについて調べる				
			人間性心理学	復習	ロジャースの理論について確認する				
	第 12 回	内容	心理アセスメント	予習	心理テストについて調べる				
			知能テスト、パーソナリティテスト、質問紙法と投影法について	復習	心理アセスメントについて確認する				
	第 13 回	内容	身近なこころの問題	予習	身近な心の問題について考える				
				復習	授業で学んだことと照らし合わせ確認する				
	第 14 回	内容	確認小テスト	予習	ここまでの内容について試験勉強する				
			フィードバック	復習	テストで出た内容を照らし合わせ確認する				
	第 15 回	内容	現代社会と臨床心理学：サブカルチャーの中にみられる臨床心理学的問題から考えてみる	予習	サブカルチャーと精神性について調べる				
				復習	自分の考えをまとめてみる				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	2 回の小テストを実施し、その後にフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（100％）、レポート・課題（ ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【 】（ ）							
教科書	使用しない								
参考文献									
補足事項	授業中の私語、携帯電話、飲食は禁止。好ましくない者は注意の上で授業態度を減点し、場合によっては退出、授業出席を停止させることもありますので注意してください。								

科 目 名	心理学特講		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	おおくま み か こ 大 熊 美佳子	
ナンバリングコード	EDP12202		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	心理学は、人間の心のメカニズムや行動を科学的に研究していく学問です。本講義では、テーマについて自ら調べ発表する、グループワークを行い他者の考えを知るなどの学びを通して、自分自身の心の仕組みを探り、自己理解を深めるとともに、人間理解の観点から、人間の心と行動について理解を深めるために必要な心理学の基礎知識を学び、日常生活にその知見を生かすことを目的とします。								
到 達 目 標	1．心理学の基礎知識を身につけている 2．人の心のメカニズムと行動について理解している 3．自分自身の望ましいライフコース構築に取り組んでいる								
学位授与方針	幼児教育学科（ 3, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス：心理学を学ぶということ	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	心理学を学ぶ意義をまとめる				
	第 2 回	内容	自分自身を知る	予習	自分の長所、短所についてまとめる				
				復習	自分らしさについて理解を深める				
	第 3 回	内容	レジリエンスとマインドフルネス	予習	自分自身がストレスを感じる状況について考える				
				復習	心の健康を保つ方法についてまとめる				
	第 4 回	内容	対人関係の心理学	予習	対人関係をテーマにした映画・小説などについて調べる				
				復習	自身の対人関係についてまとめる				
	第 5 回	内容	親子関係の心理学	予習	親子関係をテーマにした映画・小説などについて調べる				
				復習	親子関係について自分の考えをまとめる				
	第 6 回	内容	性格の自己分析	予習	自分の思考や行動の特徴について考える				
				復習	自身の性格分析の結果を客観的に整理する				
	第 7 回	内容	自分と向き合う	予習	これまでの授業の中で見えてきた自分らしさについてまとめてくる				
				復習	グループワーク等による他者評価を取り入れ、再度自分らしさについて考える				
	第 8 回	内容	マイトリセツを作ってみよう	予習	マイトリセツに必要な素材を集めてくる				
				復習	マイトリセツを完成させる				
	第 9 回	内容	女性のライフコースの心理学	予習	女性のライフコースをテーマにした映画・小説などについて調べる				
				復習	自分自身のライフコースを考える				
	第 10 回	内容	色彩と心理学	予習	自分に似合う色について考える				
				復習	色彩が及ぼす影響についてまとめる				
	第 11 回	内容	言葉とコミュニケーション	予習	心に響いた言葉について考えてくる				
				復習	言葉とコミュニケーションについて考えをまとめる				
	第 12 回	内容	嘘の心理学	予習	嘘について調べてくる				
				復習	子どもと関わる時際のウソにまつわる心理テク視点を整理する				
	第 13 回	内容	子育ての心理学	予習	子育てに関連する情報を調べる				
				復習	子育てについて自分の考えをまとめる				
	第 14 回	内容	実行機能の発達と自己決定理論	予習	実行機能、動機づけについて調べる				
				復習	動機づけについて学んだことをまとめる				
	第 15 回	内容	課題の発表とまとめ 日常に生かす心理学	予習	授業を通して学んだことを整理する				
				復習	学んだ知見の活用についてまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	レポートにコメントを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60%）、授業態度【積極的参加】（40%）							
教科書	なし								
参考文献	講義の中で適宜紹介します								
補足事項									

科 目 名	保育・教育課程論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	こやま れいこ 小山 玲子	
ナンバリングコード	EDU12201		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	園の包括的な基本方針（幼稚園、保育所、幼保連携型こども園共通）である「教育課程」「全体的な計画」の構成と関連する指導計画並びに指導計画作成上の留意事項を保育現場での具体的な事例を通して学ぶ。幼稚園や保育所の保育内容などの保育の基本を理解した上で、保育実践における部分実習案等の立案の仕方を身につける。ポートフォリオ・ドキュメンテーションなど保育活動を可視化することで見えてくる子ども理解や保育者としての成長について考えながら、保育の内容と評価に基づく記録方法や改善に対する理解を深める。								
到 達 目 標	１．教育課程、保育の全体的な計画、指導計画の意義について学び、作成について目的を理解している。 ２．子どもの発達の過程・特徴を理解し、指導計画の作成を通して作成のポイント、方法について理解している。 ３．実際の保育方法や保育の形態と内容、保育記録・評価反省・改善の意義・目的について理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ １． ３． ４ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション・保育の基本について	予習	シラバス、教科書①、②の目次を確認する				
				復習	保育の基本について整理する				
	第 2 回	内容	教育課程・全体的な計画と指導計画	予習	教科書①第 2 章 P 2 7 ～ 3 1 の通読				
				復習	教育課程・全体的な計画をまとめる				
	第 3 回	内容	幼稚園の理解 グループワーク	予習	教育要領の通読、教育課程について調べる				
				復習	教育課程作成のポイントを復習する				
	第 4 回	内容	保育所の理解 グループワーク	予習	保育所の全体的な計画について調べる				
				復習	全体的な計画作成のポイントを復習する				
	第 5 回	内容	指導計画の作成の基本とその方法	予習	教科書②指導案編 P 7 0 ～ 7 9 の通読				
				復習	配布プリントのまとめを行う				
	第 6 回	内容	幼稚園部分実習指導案の立案・作成①	予習	部分実習で使用する絵本を選ぶ				
				復習	部分実習指導案の原案を簡体書きで書く				
	第 7 回	内容	幼稚園部分実習指導案の立案・作成②	予習	教科書②P 1 0 2 ～ 1 1 8 の通読				
				復習	部分実習指導案の完成（次回の授業提出）				
	第 8 回	内容	乳児、1・2 歳児の特徴と指導計画 グループワーク	予習	教科書①第 6 章 P 1 3 5 ～ 1 4 2 の通読				
				復習	0・1・2 歳児の特徴を理解し整理する				
	第 9 回	内容	幼児の特徴と指導計画 グループワーク	予習	教科書①第 7 章 P 1 4 3 ～ 1 5 0 の通読				
				復習	配布プリントの課題を行う				
	第 10 回	内容	保育園部分実習指導案の立案・作成①	予習	部分実習の内容を考える				
				復習	部分実習指導案を完成させる				
	第 11 回	内容	保育の実践と評価	予習	P D C A サイクルについて調べる				
				復習	保育の評価・省察を理解する				
	第 12 回	内容	保育園部分実習指導案の立案・作成②	予習	返却された部分実習指導案の見直し・訂正				
				復習	部分実習指導案の完成（次回の授業提出）				
	第 13 回	内容	子ども理解や保育者としての成長につながる保育の記録 ミニテスト	予習	ドキュメンテーションについて調べる				
				復習	ミニテストの振り返りを行う				
	第 14 回	内容	教育・保育施設と小学校との連携 グループワーク	予習	自分の自治体の幼保小連携について調べる				
				復習	接続期カリキュラム等を理解する				
	第 15 回	内容	授業のまとめ（授業内レポート） オリエンテーション・保育の基本について	予習	第 1 ～ 1 4 回配布プリントを見直す				
				予習	シラバス、教科書①、②の目次を確認する				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出課題に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 授業内レポート・課題（50%）、ミニテスト(20%)、授業態度【積極的参加】（3 0 %）							
教科書	『教育課程・保育の計画と評価 書いて学べる指導計画』（岩崎淳子・及川留美・粕谷亘正、萌文書林）								
参考文献	『パターンと練習問題でだれでもかけるようになる実習日誌・指導案』（浅井拓久也、明治図書出版） 『保育所保育指針』（厚生労働省、フレーベル館） 『幼稚園教育要領』（文部科学省、フレーベル館）								
補足事項	配布資料はファイリングし、レポート・課題など提出期限は必ず守ること。グループ討議等に積極的に参加すること。								

科 目 名	保育内容総論			単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	いざわ えいしゅう 伊澤 永 修
ナンバリングコード	EDU12202			授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	幼児教育は総合的な指導をするという考え方から、5領域、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期までに育ってほしい姿それぞれを理解し、またそれらの関係性を理解した上で保育を構築できるようにする。そのために具体的な子どもの姿を考えながら保育内容と指導法についてグループディスカッションし、理解を深める。								
到 達 目 標	1．「育みたい資質・能力」「幼児期に育ってほしい」と保育内容の関係性を理解している 2． 子どもを取り巻く社会や環境の実態に即した具体的な保育課程を構築できる 3． 保育の多様な展開について具体的に理解している								
学位授与方針	幼児教育学科（2、3、5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	保育内容総論と保育内容総論を学ぶ目的について 乳幼児期の保育の基本について			予習	これまでの学びを通して保育の基本についてまとめておく		
						復習	授業の内容を受けて改めて保育の基本及び保育内容についての振り返りを行う		
	第2回	内容	保育内容と保育内容の基本について			予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく		
						復習	授業内容を踏まえ改めて要領や指針の該当部分を読み理解を深める		
	第3回	内容	保育と教育について 保育における遊びについて			予習	保育と教育について要領や指針の該当部分を読み理解を深めておく 保育における遊びについての考えておく		
						復習	授業を受けて保育と教育や遊びについてのまとめを行う		
	第4回	内容	保育内容の歴史について			予習	保育内容の歴史をまとめておく		
						復習	授業内容を踏まえてより細かく保育内容の歴史をまとめ直す		
	第5回	内容	幼児教育と小学校教育の違いと接続について（1）			予習	これまでの学びを通して幼児教育と小学校教育の違いについてまとめておく		
						復習	授業内容を踏まえて事前にまとめた内容の修正を行い理解を深める		
	第6回	内容	幼児教育と小学校教育の違いと接続について（2）			予習	前回の授業内容の振り返りを行い、具体的な幼小の連携方法について考えておく		
						復習	授業内での幼小連携の具体例を通して自分なりの幼少の連携についての考えをまとめる		
	第7回	内容	幼児期に育みたい資質・能力について（1）			予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく		
						復習	幼児期に育みたい資質・能力のまとめを行い理解を深める		
	第8回	内容	幼児期に育みたい資質・能力について（2） 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について（1）			予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく		
						復習	幼児期に育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のまとめを行い理解を深める		
	第9回	内容	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について（2）			予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく		
						復習	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のまとめを行い理解を深める		
	第10回	内容	幼児期の終わりまでに育ってほし姿（10の姿）を念頭に 入れた保育内容を考える			予習	これまでの授業で学んだ幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の理解を深めておく		
						復習	授業内で考えた保育内容が幼児期の終わりまでに育ってほし姿を念頭においた保育内容になっているかの再検討を行う		
	第11回	内容	視聴覚教材を活用して映像から子どもの育ちと気持ちを読み取る（1） グループディスカッション及び発表			予習	子どもの発達過程について確認しておく		
						復習	映像視聴及びグループディスカッションをもとに子どもの育ちと気持ちの読み取り方と保育者としての関わり方についてまとめる		
	第12回	内容	視聴覚教材を活用して映像から子どもの育ちと気持ちを読み取る（1） グループディスカッション及び発表			予習	子どもの発達過程について確認しておく		
						復習	映像視聴及びグループディスカッションをもとに子どもの育ちと気持ちの読み取り方と保育者としての関わり方についてまとめる		
	第13回	内容	ケーススタディ（子どもの気持ちを読み取り保育者としての関わり方を考える）（1） グループディスカッション及び発表			予習	子どもの発達過程について確認しておく		
						復習	ケーススタディ及びグループディスカッションをもとに子どもの育ちと気持ちの読み取り方と保育者としての関わり方についてまとめる		
	第14回	内容	ケーススタディ（子どもの気持ちを読み取り保育者としての関わり方を考える）（2） グループディスカッション及び発表			予習	子どもの発達過程について確認しておく		
						復習	ケーススタディ及びグループディスカッションをもとに子どもの育ちと気持ちの読み取り方と保育者としての関わり方についてまとめる		
	第15回	内容	子どもを取り巻く環境と現代の保育ニーズの多様化について及び総まとめ			予習	現代社会においてどのような保育ニーズがあるかまとめておく		
						復習	授業内容を受けて様々な保育ニーズに応えるための保育についてまとめる		
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。									

課題へのフィードバック	提出物に関する評価を行い、返却時に解説する。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（60％）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【参加度合】（40％）
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 必要に応じて授業内で指示する
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館
補足事項	

科 目 名	乳児保育 I		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	はぎわら やすこ 萩原 康子
ナソバ°リンク°コート°	CHS12101		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）							
授 業 の 内 容	3 歳未満児の発育・発達の特徴、生活・遊びの実際と援助、配慮について学ぶ。 講義、ビデオ視聴、保育現場での事例等を通して理解を深め、乳児保育に必要な知識を身につける。 乳児の短期的計画、長期的計画、個別計画について、個人ワークや全体発表を通して具体的に学ぶ。							
到 達 目 標	1. 3 歳未満児の保育における養護と教育の一体性について理解している。 2. 3 歳未満児の発達支援と家庭支援について説明できる。 3. 3 歳未満児の生活の連続性、発達の連続性、遊びの連続性について説明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,4,5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読み本科目で修得する内容を知る			
			乳児保育の意義・目的と歴史的返還	復習	乳児保育の重要性、乳児保育の歴史を整理する			
	第 2 回	内容	乳児の子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題	予習	家庭や地域の子育て機能の低下について調べる			
				復習	時代に即した子育て支援のあり方を整理する			
	第 3 回	内容	保育所における乳児保育	予習	長時間保育における課題について調べる			
				復習	保育所の機能と役割について整理する			
	第 4 回	内容	保育所以外の児童福祉施設（乳児院等）における乳児保育	予習	保育所以外の児童福祉施設について調べる			
				復習	乳児院の役割と生活を整理する			
	第 5 回	内容	家庭的保育・小規模保育等における乳児保育	予習	家庭的保育、小規模保育について調べる			
				復習	家庭的保育、小規模保育、地域型保育の特徴を整理する			
	第 6 回	内容	3 歳未満児の家庭を取り巻く環境と子育ての支援	予習	子どもの最善の利益について調べる			
				復習	事例から学んだ内容をレポートにまとめる			
	第 7 回	内容	3 歳未満児の生活と環境	予習	保育の人的環境、物的環境について調べる			
				復習	乳児の保育室の環境構成のあり方を整理する			
	第 8 回	内容	3 歳未満児の遊びと環境	予習	視覚、四肢、手指、言葉の発達について調べる			
				復習	発達に応じた遊びの環境と配慮事項を整理する			
	第 9 回	内容	3 歳以上児の保育に移行する時期の保育	予習	0 歳から 1 歳、1 歳から 2 歳、2 歳から 3 歳に移行する際の留意点について調べる			
				復習	乳児保育における総合的な育ちについてレポートにまとめる			
	第 10 回	内容	3 歳未満児の発育・発達を踏まえた保育者による援助やかわり	予習	運動発達、微細発達、認知発達、関係性の発達について調べる			
				復習	乳児の発達の特徴と援助のあり方を整理する			
	第 11 回	内容	3 歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮	予習	健康、安全、情緒に関する配慮事項を調べる			
				復習	保育中の健康把握、安全管理についてレポートにまとめる			
	第 12 回	内容	乳児保育の計画・記録・評価の関連性	予習	保育の長期的計画、短期的計画について調べる			
				復習	計画、実践、記録、評価の関連性を整理する			
	第 13 回	内容	職員間の連携と協働	予習	保育士の役割と業務について調べる			
				復習	保育士に求められる専門性、人間性を整理する			
	第 14 回	内容	保護者との連携と協働	予習	子育て支援の必要性について調べる			
				復習	保護者と連携して子どもの育ちを支える視点について整理する			
	第 15 回	内容	自治体や地域の関係機関との連携と協働	予習	児童虐待について事例等を下調べする			
				復習	保育所と地域との連携の重要性を整理する			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内に実施するミニテスト、提出されたレポート、リアクションペーパーに記載された質問について全体に説明を行う。 授業内に質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：授業内の確認テスト（ 6 0 ％）、レポート・課題（ 2 0 ％）、授業態度【リアクションペーパーの記載内容含む】（ 2 0 ％）							
教科書	『0,1,2 歳児の発達と保育 乳幼児の遊びと生活』 乳幼児の発達と保育研究会〔著〕 郁洋舎							
参考文献	『保育所保育指針解説 平成 30 年 3 月 厚生労働省編』（フレーベル館）							
補足事項	リアクションペーパーには、毎回学んだことや感想等を記入して提出すること。配布資料はファイリングし、毎回の授業に持参すること。							

科 目 名	乳児保育Ⅱ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	はぎわら やすこ 萩原 康子	
ナンバリングコード	CHS12201		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	乳児保育Ⅰの学習をもとに愛着関係の必要性を理解し、3歳未満児の発育・発達の特徴や生活・遊びの実際と援助、配慮について学ぶ。 ビデオ視聴や保育現場での事例、演習を通して理解を深め、乳児保育に必要な知識と技術を身につける。 指導計画の作成について、グループワーク等で具体的に学ぶ。								
到 達 目 標	1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりについて、基本的な考え方を理解している。 2. 3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境構成について、具体的方法を身につけている。 3. 乳児保育における配慮について、具体的に説明できる。 4. 乳児保育における計画の作成について、具体的に理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,4,5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス 乳児保育の基本① 子どもと保育士等との関係の重要性	予習	シラバスを読み本科目で習得する内容を確認する				
				復習	心の土台としての愛着形成の重要性を整理する				
	第2回	内容	乳児保育の基本② 個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的関わり	予習	対人関係の発達について調べる				
				復習	個別対応の大切さについて整理する				
	第3回	内容	乳児保育の基本③ 子どもの主体性の尊重と自己の育ち	予習	身体機能の発達について調べる				
				復習	主体性を尊重することの意味について整理する				
	第4回	内容	乳児保育の基本④ 子どもの体験と学びの芽生え	予習	乳児保育の現状と課題について調べる				
				復習	乳児保育の基本についてレポートにまとめる				
	第5回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際①【演習】 子どもの一日の生活の流れと保育の環境	予習	保育所、乳児院、家庭的保育の違いを調べる				
				復習	子どもの24時間と集団保育における一日の流れとの関連性を整理する				
	第6回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際②【演習】 子どもの生活や遊びを支える環境の構成	予習	3歳未満児の発育発達の特徴について調べる				
				復習	演習を通して体験したことを振り返り整理する				
	第7回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際③【演習】 3歳未満児の発育・発達を踏まえた遊び	予習	落ち着いて過ごせる環境について調べる				
				復習	演習を通して体験したことを振り返り整理する				
	第8回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際④【演習】 3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活	予習	基本的生活習慣とはどのような場合か調べる				
				復習	演習を通して体験したことを振り返り整理する				
	第9回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際⑤【演習】 子ども同士の関りと援助	予習	3歳未満児の子ども同士の関りについて調べる				
				復習	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びについて援助の方法を整理する				
	第10回	内容	乳児保育における配慮の実際①【演習】 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮	予習	安全・安心のために必要な配慮について調べる				
				復習	演習を通して体験したことを振り返り整理する				
	第11回	内容	乳児保育における配慮の実際②【演習】 集団での生活における配慮	予習	発達を踏まえた援助とはどのようなものか調べる				
				復習	演習を通して体験したことを振り返り整理する				
	第12回	内容	乳児保育における配慮の実際③【演習】 環境の変化や移行に関する配慮	予習	3歳以上児の保育に移行する時期の配慮を調べる				
				復習	乳児保育における配慮についてレポートにまとめる				
	第13回	内容	乳児保育における計画の実際①【演習】 長期的な指導計画と短期的な指導計画	予習	全体的な計画と指導計画の関連性について調べる				
				復習	指導計画作成の意味・必要性を整理する				
	第14回	内容	乳児保育における計画の実際②【演習】 個別的な指導計画と短期的な指導計画	予習	指導計画の評価・反省の方法について調べる				
				復習	乳児保育における計画についてレポートにまとめる				
	第15回	内容	まとめ 乳児保育の総理解	予習	年間に配布した資料を読み込み要点を再確認する				
				復習	乳児保育の意義と重要性を整理する				
	予習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	作成したレポートについては全体に説明を行う。 演習後の実技を通して修得状況を確認する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（30％）、実技（40％）、授業態度【向上心、意欲的な参加】（30％）							
教科書	『乳児保育Ⅰ・Ⅱ』（寺田清美・大方美香・塩谷香編集、中央法規出版株式会社）								
参考文献	『保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省編』（フレーベル館）								
補足事項	演習シートは課題に沿って記入し、毎回の授業終了後に提出すること。 配布資料はファイリングし、毎回の授業に持参すること。								

科 目 名	子どもの健康と安全		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	みた のりこ 味田 徳子
ナシバリングコード	AHS12201		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	子どもの心と身体の健康を保持・増進するための保健活動について「子どもの保健」で得た知識を実践できるように演習を行い、習得することを目的とする。 保育のための養護技術、体調不良時の対応やケガの応急手当等の保健的な内容及び保健管理の方法について演習を通して理解を深める。感染を含めた事故防止の知識を深める。							
到 達 目 標	1. 子どもの健康状態の評価ができる。 2. 病気や事故発生時など、緊急時の対応ができる。また予防のための対策を理解している。 3. 集団保育における環境と安全対策を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（1、2、3、4、5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション		予習	教科書 P104～113 を読む		
			子どもの健康と保育環境		復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	保育における健康および安全の管理① 衛生管理		予習	教科書 P114～122 を読む		
					復習	保育所における保育環境・衛生管理をまとめる		
	第3回	内容	保育における健康および安全の管理② 事故防止及び安全対策		予習	教科書 P123～133 を読む		
					復習	安全教育・安全管理についてまとめる		
	第4回	内容	保育における健康および安全の管理③ 危機管理と災害の備え ー危機管理ポスターー		予習	教科書 P133～138 を読む		
					復習	災害時、避難誘導のポイントをまとめる		
	第5回	内容	体調不良や障害が発生した場合の対応 発熱 痙攣 嘔吐 下痢 脱水 便秘 咳 鼻水 発疹		予習	教科書 P139～146 を読む		
					復習	症状についての対応方法をまとめる		
	第6回	内容	創傷 打撲 出血 火傷		予習	教科書 P140～146 を読む		
			演習 バイタルサイン測定、包帯法、三角巾の使い方		復習	症状についての対応方法をまとめる		
	第7回	内容	応急処置：誤飲・誤嚥		予習	教科書 P146～149 を読む		
			演習 背部巧打法 ハイムリック法 ー誤飲チェッカー製作ー		復習	演習でのポイントをまとめる		
	第8回	内容	救急処置と蘇生法		予習	教科書 P P150～154 を読む		
			演習 心肺蘇生法、AED		復習	演習のポイントについてまとめる		
	第9回	内容	感染症の集団発生・予防対策の具体的方法、吐物処理法		予習	教科書 P155～166 を読む		
					復習	感染症対策ガイドラインを再確認する		
	第10回	内容	病児保育		予習	教科書 P166～172 を読む		
			保育における保健的対応の基本的考え方		復習	病児保育のポイントについてまとめる		
	第11回	内容	3歳未満児への対応		予習	教科書 P173～175 を読む		
			演習 オムツ交換・抱っこ・おんぶ・身体計測と評価		復習	3歳未満児の発育・発達についてまとめる		
	第12回	内容	個別的な配慮を要する子どもへの対応		予習	教科書 P175～185 を読む		
					復習	発達障害の支援方法についてまとめる		
	第13回	内容	保育者間の連携・協同、協同と組織の取り組み ー事故防止・ヒヤリハット記録ー		予習	教科書 P186～191 を読む		
					復習	保育者間の連携のポイントについてまとめる		
	第14回	内容	保育における保健活動の計画と評価 ー保健だより作成ー		予習	教科書 P191～195 を読む		
			復習	自分の誕生月の保健だよりを作成する				
第15回	内容	母子保健・地域保健の計画と評価 家庭、専門機関、地域の関係機関などとの連携		予習	教科書 P195～202 を読む			
				復習	居住区の保健関係専門機関を調べる			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	レポート・課題は採点后、返却する。 実技試験前に試験チェックポイントについて確認し、実施後振り返る。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 実技または筆記試験（ 50 %）、レポート・課題（ 40 %）、授業態度【演習：積極性、身だしなみ】（ 10 %）							
教科書	『子どもの保健 健康と安全』（岩田力・細井香、光生館）							
参考文献	『これならわかる！子どもの保健演習ノート』（小林美由紀、診断と治療社）							
補足事項	1、演習時は、動きやすい服装、エプロンを着用し、爪・髪などの身だしなみを整えて下さい。 2、演習、準備、後片付けなど主体的に取り組むことで、授業態度における積極性と評価します。 3、演習用ワークブックを配布します。演習時は必携してください。							

科 目 名	子どもの健康と安全			単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	くまさか たかゆき 熊坂 隆行	
ナパリングコード	AHS12201			授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	乳幼児期の特徴と観察、身体計測技術、生理機能計測技術の学習や演習を行う。また、日常に必要な看護技術、日常に多い疾病と予防及び対処法、救急時の対応と事故防止、安全管理立案の方法なども学習する。									
到 達 目 標	1. 子どもの健康及び安全に関する保健活動の計画及び評価を理解している。 2. 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境調整を理解している。 3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応を身につけている。 4. 救急時の対応や事故防止、安全管理の具体策が立案できる。									
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）									
授 業 計 画	第1回	内容	身体の計測と評価 講義	予習	シラバスを読んでおく					
				復習	計測方法と評価を理解する					
	第2回	内容	身体の計測と評価 演習	予習	計測方法と評価を整理しておく					
				復習	計測方法と評価をまとめる					
	第3回	内容	観察項目「バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸、意識）の測定の仕方と評価	予習	観察項目を理解する					
				復習	観察項目をまとめる					
	第4回	内容	観察項目「バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸、意識）の測定の仕方と評価	予習	観察項目を理解する					
				復習	観察項目をまとめる					
	第5回	内容	日常の保育に必要な技術（抱っこ、おんぶ、食事、口腔内の清拭）	予習	日常の保育に必要な技術を理解する					
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる					
	第6回	内容	日常の保育に必要な技術（排泄の援助とトレーニング）	予習	日常の保育に必要な技術を理解する					
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる					
	第7回	内容	日常の保育に必要な技術（沐浴、おむつの当て方、衣服の着脱）	予習	日常の保育に必要な技術を理解する					
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる					
	第8回	内容	日常の保育に必要な技術（沐浴、おむつの当て方、衣服の着脱）	予習	日常の保育に必要な技術を理解する					
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる					
	第9回	内容	あらゆる症状に対する看護（発熱、泣き方、咳等）	予習	あらゆる症状に対する看護を理解する					
				復習	あらゆる症状に対する看護をまとめる					
	第10回	内容	あらゆる症状に対する看護（頭痛、腹痛等）	予習	あらゆる症状に対する看護を理解する					
				復習	あらゆる症状に対する看護をまとめる					
	第11回	内容	あらゆる症状に対する看護（嘔吐、便秘、下痢等）	予習	あらゆる症状に対する看護を理解する					
				復習	あらゆる症状に対する看護をまとめる					
	第12回	内容	疾病の対応と予防（感染症、食中毒）	予習	疾病の対応と予防を理解する					
				復習	疾病の対応と予防をまとめる					
	第13回	内容	疾病の対応と予防（手洗い）	予習	疾病の対応と予防を理解する					
				復習	疾病の対応と予防をまとめる					
	第14回	内容	応急処置（心肺蘇生法等）	予習	応急処置を理解する					
				復習	応急処置をまとめる					
	第15回	内容	子どもの保育環境と衛生管理	予習	子どもの保育環境と衛生管理を理解する					
				復習	子どもの保育環境と衛生管理をまとめる					
	予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	講義・演習後は、講義・演習で配布される資料、参考文献を用いて復習をしてください。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（10%）、実技（50%）、授業態度【主体的参加】（40%）								
教科書	プリントを配布いたします。									
参考文献	適宜、紹介いたします。									
補足事項	自ら学ぶ姿勢をもち、主体的に講義に参加してください。									

科 目 名	特別支援教育論			単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	せき ゆいこ 関 維子
ナンバリングコード	SNE12201			授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	障害者の権利条約と国内法の整備、教育制度の転換を踏まえて、インクルーシブ教育の理念と特別支援教育について体系的に学ぶ。また、障害のある子どもや特別な支援を要する子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と支援の実践について学び、自立と社会参加に向けた教育的支援と合理的配慮について理解する。								
到 達 目 標	1.インクルーシブ教育・保育の理念と実践について具体的に説明できる。 2.障害や特別な配慮が必要な子ども一人ひとりのニーズに応じた指導内容や指導方法について理解している。 3.「個別的教育指導計画」「個別の支援計画」作成の意義と目的について説明できる。 4. 家庭や関係機関との連携について理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 3・5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション			予習	シラバスを読む。		
			特別支援教育の理念とインクルーシブ教育システム			復習	特別支援教育のキーワードについてまとめる。		
	第2回	内容	特殊教育から特別支援教育への転換 特別支援教育の現状と教育制度			予習	特殊教育の特徴について調べる。		
						復習	就学制度の改正についてまとめる。		
	第3回	内容	障害とは：ICF の理解 障害のある子どもの教育を保障する法律・制度			予習	障害とは何かについて自分の考えをまとめる。		
						復習	ICIDH から ICF への改訂についてまとめる。		
	第4回	内容	保育や教育における合理的配慮と基礎的環境整備 ユニバーサルデザインとバリアフリー			予習	障害者差別解消法について調べる。		
						復習	合理的配慮の具体例についてまとめる。		
	第5回	内容	障害の理解と教育① 視覚障害児・聴覚障害児の理解			予習	身の回りにある合理的配慮について調べる。		
						復習	視覚障害、聴覚障害への配慮事項をまとめる。		
	第6回	内容	障害の理解と教育② 知的障害児・肢体不自由児・病弱児・医療的ケア児の理解			予習	身の回りにある合理的配慮について調べる。		
						復習	安全な保育のための配慮についてまとめる。		
	第7回	内容	障害の理解と教育③ 発達障害児の理解			予習	身の回りにある視覚的支援について調べる。		
						復習	障害特性に合わせた環境構成をまとめる。		
	第8回	内容	多文化の子どもの理解 養育環境による配慮の必要な子どもの理解			予習	興味のある国の文化や挨拶について調べる。		
						復習	模擬事例に関するチェックリストを作成する。		
	第9回	内容	保育における遊びと活動、園内環境の工夫 障害特性に合わせた遊びについてグループで発表し合う。			予習	障害特性に配慮した遊びを考える。		
						復習	行事における工夫と配慮についてまとめる。		
	第10回	内容	障害のある子どものアセスメント：意義と目的、方法			予習	発達検査と知能検査について調べる。		
						復習	模擬事例のアセスメントシートを作成する。		
	第11回	内容	クラスの指導日案の作成、個別と集団への配慮 日案についてグループディスカッションをする。			予習	指導日案を作成するための事例を決める。		
						復習	指導日案の振り返りとまとめをする。		
	第12回	内容	「個別の指導計画」と「個別的教育支援計画」 目標についてグループディスカッションをする。			予習	特別支援教育における計画の種類を調べる。		
						復習	目標設定のポイントについてまとめる。		
	第13回	内容	特別支援学校・特別支援学級の特徴 就学相談と就学に向けた移行支援			予習	居住地の特別支援学級の設置状況を調べる。		
						復習	就学相談の流れについてまとめる。		
	第14回	内容	障害のある子どもの保護者に対する理解と支援 保護者の思いについてグループディスカッションをする。			予習	障害児の親に関する記事を読む。		
						復習	ディスカッションの内容をまとめる。		
	第15回	内容	障害児・者の意思決定支援			予習	障害者の権利条約 第12条を読む。		
						復習	15回の授業を振り返り、レポートにまとめる。		
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。									
課題へのフィードバック	レポートや製作物については、コメントを付して返却する。 発表やディスカッションについては、発表後に講評を行う。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（40％）、作品・発表（20％）、実技（20％）、授業態度【 積極的参加 】（20％）								
教科書	『保育の特別支援教育』（編著：松井 剛太・七木田 敦、教育情報出版）								
参考文献	授業内で随時紹介する。								
補足事項									

科 目 名	子育て支援		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	せき ゆいこ 関 維子
ナンバリングコード	SWS12203		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	地域における「子育て支援」の基幹施設としての保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）の機能と役割について理解し、保育者が行う子育て支援のあり方について検討する。併せて、ロールプレイや事例検討を通じて、相談支援における保護者との相互理解や職員間の連携・機関連携の方法について具体的に理解することを目的とする。							
到 達 目 標	1．子育て支援に関する子ども及び保護者のニーズと社会資源について理解している。 2．保育相談支援における保護者との相互理解に向けた基本姿勢を身につけている。 3．実践事例を通して、保育士が行う子育て支援の内容と方法を具体的に理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・3・5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション			予習	シラバスを読む。	
			保育士が行う子育て支援とは			復習	保育所保育指針の「子育て支援」を読む。	
	第2回	内容	子どもと保護者、家庭が抱える子育て支援のニーズ			予習	居住地の子育て支援策について調べる。	
			保育士が行う子育て支援の展開			復習	保育士が行う子育て支援の特徴をまとめる。	
	第3回	内容	地域の子育て家庭への支援			予習	居住地の子育て支援拠点について調べる。	
			保育における相談支援の位置づけと基本理念			復習	保育士が行う相談支援の特徴をまとめる。	
	第4回	内容	保育士による相談支援の実践			予習	「ラポール」について調べる。	
			保護者との相互理解と信頼関係の形成			復習	相談の環境構成を考え、図を作成する。	
	第5回	内容	相談支援における記録・評価・計画			予習	保育に関する計画の種類について調べる。	
						復習	模擬事例に関する支援計画の作成	
	第6回	内容	多様な保育ニーズと支援			予習	保育ニーズの多様性について調べる。	
						復習	多様な保育ニーズと支援についてまとめる。	
	第7回	内容	気になる子ども、障害のある子どもと家庭に対する支援			予習	障害児保育の現状について調べる。	
						復習	保育における支援についてまとめる。	
	第8回	内容	特別な配慮を必要とする子どもと家庭に対する支援			予習	外国にルーツのある子どもについて調べる。	
						復習	子どもの貧困についてまとめる。	
	第9回	内容	子育て支援を通じた児童虐待の予防①			予習	どのような親プログラムがあるか調べる。	
			親プログラムのエッセンスを学ぶ。			復習	親プログラムの目的についてまとめる。	
	第10回	内容	子育て支援を通じた児童虐待の予防②			予習	親子それぞれの困難さについてまとめる。	
			親プログラムのエッセンスを ロールプレイ で体験する。			復習	ロールプレイの内容をまとめる。	
	第11回	内容	子育て支援を通じた児童虐待の予防③			予習	要保護と要支援の違いについてまとめる。	
			要保護・要支援児童等の家庭への支援と機関連携			復習	保育施設の「見守り」についてまとめる。	
	第12回	内容	事例検討①連絡帳の書き方			予習	連絡帳の役割について調べる。	
			グループディスカッション、ロールプレイ			復習	連絡帳案をワークシートにまとめる。	
	第13回	内容	事例検討②個別面談における相談援助			予習	事例に関するジェノグラムを作成する。	
			グループディスカッション、ロールプレイ			復習	事例に関するジェノグラムを完成させる。	
	第14回	内容	事例検討③他職種連携			予習	事例に関するエコマップを作成する。	
			グループディスカッション			復習	事例に関するエコマップを完成させる。	
第15回	内容	保育者に求められる基本的役割と姿勢			予習	保育に関係する倫理綱領を調べる。		
		保育専門職の価値と倫理			復習	倫理綱領と保育の理念についてまとめる。		
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業の中で提出課題の解説及び講評をする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（40％）、作品・発表（20％）、実技（20％）、授業態度【積極的態度】（20％）							
教科書	なし							
参考文献	授業内で適時紹介する。							
補足事項								

科 目 名	子育て支援		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	いまい やすはる 今井 康晴	
ナンバリングコード	SWS12203		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ <u>遠隔</u> ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	子育てを取り巻く社会的背景をふまえ、子育て支援を担う保育者として、その歴史や行政などについて理解する。また具体的事例を通して、保育相談支援における保育者の専門性を活かした子育て支援について認識を深める。保育における相談支援、援助技術などをロールプレイ等の演習を通して獲得することを目的とする。								
到 達 目 標	1. 子育てを取り巻く社会的背景、現状と課題について理解している 2. 子育て支援の歴史、行政について理解している 3. 保育相談支援における専門的知識・技術を獲得している								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3, 5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	子育て支援とは何か	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	子育て支援の基本的基盤についてまとめる				
	第2回	内容	子育て支援の歴史①－明治、大正期を中心に－	予習	明治、大正期について調べておく				
				復習	時代背景をまとめる				
	第3回	内容	子育て支援の歴史②－戦後を中心に－	予習	戦後日本の状況について調べておく				
				復習	戦後日本における子育ての在り方をまとめる				
	第4回	内容	子育て支援の歴史③－平成、令和を中心に－	予習	昨今の社会情勢について調べておく				
				復習	現代の子育て状況についてまとめる				
	第5回	内容	子育て支援の基本姿勢	予習	保育所保育指針を読んでくる				
				復習	子育て支援の基本姿勢についてまとめる				
	第6回	内容	子育て支援の基本的技術	予習	子育て支援の基本について調べておく				
				復習	子育て支援の基本的なプロセスについてまとめる				
	第7回	内容	対話を用いた子育て支援	予習	対話したかについて調べておく				
				復習	コミュニケーション方法についてまとめる				
	第8回	内容	文書を用いた子育て支援	予習	文語体について調べておく				
				復習	手紙の書き方についてまとめる				
	第9回	内容	子育て支援とソーシャルワーク	予習	社会資源について調べておく				
				復習	近隣にある子育て支援事業についてまとめる				
	第10回	内容	保育機能を生かした子育て支援	予習	保育行事について調べておく				
				復習	保育行事の在り方についてまとめる				
	第11回	内容	保育相談事例①－発達相談－	予習	幼児の発達について調べておく				
				復習	発達支援についてまとめる				
	第12回	内容	保育相談事例②－不適切な養育・虐待－	予習	不適切な養育について調べておく				
				復習	不適切な保育の抑止抑制についてまとめる				
	第13回	内容	保育相談事例③－生活支援－	予習	生活保護などについて調べておく				
				復習	生活支援への対応をまとめる				
	第14回	内容	苦情・クレーム対応について	予習	昨今の保育・育児にかかるニュースを調べておく				
				復習	苦情対応の基本姿勢についてまとめる				
	第15回	内容	子育て支援の今後の展望	予習	これまでの授業内容について復習する				
				復習	今後の子育て支援について展望する				
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	講義の始めに予習内容について意見交換する。講義毎の復習レポート（レスポンスシート）を添削する							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（80%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）なし								
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 保育所保育指針（2017年改訂）								
注意事項	出欠席については大学の規定に則りますので、欠席の無いようにしてください								

科 目 名	保育指導方法Ⅰ			単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	こやま れいこ 小山 玲子	
ナンバリングコード	CHS12202			授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	園生活において子どもが自発的・意欲的に関わられるような環境の構成、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすることの意義を考える。授業を通して保育の場で適切な保育実践を展開していくための指導方法、関わり方を身につけていく。3～5歳児クラスの保育に役立つ実践を計画し、授業内で模擬保育を実施し振り返りを行う。									
到 達 目 標	1. 保育者としての基本的な姿勢や技能を身につけている。 2. 子どもを捉える視点を身につけ、個と集団が活かされる保育方法を理解している。 3. 遊びを通して子どもの発達が保障されるような実践力・保育指導力を身につけている。									
学位授与方針	幼児教育学科（2・4・5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）									
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの講義内容を読んでおく					
				復習	保育のねらい・保育者の役割をまとめる					
	第2回	内容	保育指導方法とは 保育の環境構成について(事例検討・発表)	予習	保育の環境について調べる					
				復習	配布プリントの課題を行う					
	第3回	内容	子どもの発達と遊び	予習	年齢にあった子どもの遊びを調べる					
				復習	幼稚園や保育所での子どもの遊びをまとめる					
	第4回	内容	航空公園探索①	予習	航空公園について調べる					
				復習	航空公園での活動をまとめる					
	第5回	内容	航空公園探索②	予習	散歩マップと行程表を作成する					
				復習	航空公園での活動をまとめる					
	第6回	内容	航空公園探索振り返り 画用紙を使った製作	予習	画用紙を使った製作を考える					
				復習	画用紙を使った製作仕上げ					
	第7回	内容	5歳児の保育の実践②保育活動準備(グループワーク)	予習	5歳児の発達と遊びを調べる					
				復習	保育活動の進行(計画)を仕上げる					
	第8回	内容	5歳児の保育の実践③模擬保育(発表)・まとめ	予習	模擬授業の準備を行う					
				復習	実践の振り返りをまとめる					
	第9回	内容	子どもの主体的な遊びを考える(木製遊具に触れる) 木製遊具・積木・カプラで遊ぶ	予習	積木等、木製遊具の種類と遊びを調べる					
				復習	子どもの主体的な遊びについて考察する					
	第10回	内容	4歳児の保育の実践①保育活動準備(グループワーク)	予習	4歳児の発達と遊びを調べる					
				復習	保育活動の進行(計画)を仕上げる					
	第11回	内容	4歳児の保育の実践②模擬保育(発表)	予習	模擬授業の準備を行う					
				復習	実践の振り返りをまとめる					
	第12回	内容	4歳児の保育の実践③模擬保育(発表)・まとめ	予習	模擬授業の準備を行う					
				復習	実践の振り返りをまとめる					
	第13回	内容	3歳児の保育の実践①保育活動準備(グループワーク)	予習	3歳児の発達と遊びを調べる					
				復習	保育活動の進行(計画)を仕上げる					
	第14回	内容	3歳児の保育の実践②模擬保育(発表)	予習	模擬授業の準備を行う					
				復習	実践の振り返りをまとめる					
	第15回	内容	3歳児の保育の実践③模擬保育(発表)・まとめ	予習	模擬授業の準備を行う					
				復習	実践の振り返りをまとめる 総括					
	予習に要する学習時間：概ね 30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	課題は確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。発表に関しては講評を行う。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 課題（30%）、実技・発表（40%）、授業態度【積極的参加】（30%）								
教科書										
参考文献	『保育所保育指針』（厚生労働省、フレーベル館） 『幼稚園教育要領』（文部科学省、フレーベル館）									
補足事項	「保育指導方法Ⅰ」「保育指導方法Ⅱ」の授業は、実習での実践に向け継続した内容であることに留意し、履修すること									

科 目 名	保育指導方法Ⅰ			単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡美	
ナバ [®] リング [®] コート [®]	CHS12202			授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	園生活のなかで、子どもの個と集団が共に育ちあうような保育を行っていくことが大切である。育つことが期待される心情、意欲、態度などが保育のねらいであり、それを達成するための保育の方法を学ぶ。授業を通して乳幼児の生活を支え、子どもの発達を保障する保育を展開できる保育者をめざすための指導方法について考え、身につけていく。									
到 達 目 標	1．保育者としての基本的な姿勢や技能を身につけている。 2．子どもを捉える視点を身につけ、個と集団が活かされる保育方法を理解している。 3．遊びを通して子どもの発達が保障されるような実践力・保育指導力を身につけている。									
学位授与方針	幼児教育学科（ 1. 2 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）									
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	講義内容を読んでおく					
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する					
	第2回	内容	保育指導方法とは	予習	保育のねらいを調べる					
				復習	保育指導方法についてまとめる					
	第3回	内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針	予習	幼稚園教育要領・保育所保育指針を確認する					
				復習	幼稚園教育要領・保育所保育指針のポイントをまとめる					
	第4回	内容	生活する力を育む保育方法①事例検討（グループワーク）	予習	保育形態や園での子どもの生活を調べる					
				復習	生活する力とは何かを考える					
	第5回	内容	生活する力を育む保育方法②事例検討（グループワーク）	予習	事例を読む					
				復習	保育を捉える視点や様々な保育方法をまとめる					
	第6回	内容	保育の環境構成①事例検討（グループワーク）	予習	保育の環境を調べる					
				復習	事例をまとめる					
	第7回	内容	保育の環境構成②発表（グループワーク）	予習	事例を読む					
				復習	子どもに即した保育の環境をまとめる					
	第8回	内容	子どもの遊びと集団指導	予習	子どもの遊びと集団について調べる					
				復習	子どもの遊びと集団指導についてまとめる					
	第9回	内容	5歳児の保育の実践①教材研究（グループワーク）	予習	教材研究の留意点を調べる					
				復習	教材研究を行う					
	第10回	内容	5歳児の保育の実践②作業（グループワーク）	予習	グループ活動の意義を考える					
				復習	グループワークでの意見をまとめる					
	第11回	内容	5歳児の保育の実践③模擬保育（発表）	予習	模擬保育を行うための準備をする					
				復習	実践の振り返りをまとめる					
	第12回	内容	5歳児の保育の実践④まとめ	予習	今まで学んできたことを振り返る					
				復習	まとめ課題を仕上げる					
	第13回	内容	3・4歳児の保育の実践①教材研究・模擬保育（グループワーク）	予習	教材研究や模擬保育を行うための準備をする					
				復習	模擬保育を振り返り、指導案作成について調べる					
	第14回	内容	3・4歳児の保育の実践②指導案作成	予習	指導案を作成する					
				復習	指導案の書き方を再度確認する					
	第15回	内容	3・4歳児の保育の実践③まとめ	予習	PDCA サイクルを確認する					
				復習	実践の振り返りをまとめる					
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	発表後、講評を行う。課題返却後、説明をする。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度【積極的な取り組み】（30%）								
教科書	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』									
参考文献	『子どもの育ちを支え安全を守る幼稚園・保育所・施設実習』若井編著他 大学図書出版									
補足事項	「保育指導方法Ⅰ」「保育指導方法Ⅱ」の授業は、実習での実践に向け継続した内容であることに留意し、履修すること									

科 目 名	保育指導方法Ⅱ		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子
ナソバ・リング・コート	CHS12203		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	保育指導方法Ⅰを踏まえ、保育の場での適切な保育実践を展開していくための指導方法について学んでいく。保育環境がさまざまに異なる保育実践を視野に入れ、具体的な実践方法について学ぶ。実践の場で実際に行い、自らの実践を振り返るプロセスを体験することを目指すしていく。							
到 達 目 標	1. 保育の原則と保育方法について理解し実践にいかすことができる。 2. 児童文化財、自然物での制作や活動について理解を深めている。 3. P D C A サイクルを理解し、模擬保育などの実践において自己の省察をすることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション―授業の計画と内容、準備について―	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	今後の授業に必要なものを用意する			
	第 2 回	内容	保育の原則と保育方法について	予習	現在どのような保育方法があるのかを調べてくる			
				復習	配布資料を読み返す			
	第 3 回	内容	環境を通した保育、環境を生かした保育とは	予習	保育の多様な環境について調べてくる			
				復習	環境を通した保育、生かした保育についてまとめる			
	第 4 回	内容	発達に即した保育について学ぶ―事例・エピソード検討	予習	子どもの発達について復習してくる			
				復習	配布資料を読み返す			
	第 5 回	内容	児童文化財についての理解を深める① ―スケッチブックシアターの作成―	予習	スケッチブックを購入し、準備をしてくる			
				復習	演じ方を復習する			
	第 6 回	内容	児童文化財についての理解を深める① ―スケッチブックシアターの作成の続き―	予習	教材準備を行う			
				復習	終わらなかった部分を行い完成させる			
	第 7 回	内容	自然物での活動についての理解を深める① ―葉っぱバックを作り、葉っぱでの活動を行う―	予習	身近な自然物の観察を行う			
				復習	葉っぱのバックを使い自分で自然物を探す			
	第 8 回	内容	自然物での活動についての理解を深める② ―葉っぱのこすり出し・葉っぱの窓―	予習	葉っぱに関連する絵本を調べてくる			
				復習	自然物（葉っぱ）の魅力、おもしろさについてまとめる			
	第 9 回	内容	自然物での活動についての理解を深める③ ―どんぐりや木の棒・木の実でのクラフト―	予習	どんぐりや木の棒を拾ってくる			
				復習	自然物での活動の感想をまとめる			
	第 10 回	内容	様々な素材について知る① ―トランスパレントで保育室を飾ろう―	予習	保育で使用される様々な素材について考えてくる			
				復習	感想をまとめる			
	第 11 回	内容	保育における玩具の役割について学ぶ （グループワーク）	予習	玩具について各自調べてくる			
				復習	保育における玩具の役割についてまとめる			
	第 12 回	内容	様々な素材について知る② ―毛糸でのマフラーづくり―	予習	毛糸と牛乳パックを準備する			
				復習	できあがらなかったら続きを行う			
	第 13 回	内容	児童文化財についての理解を深める ―手作り児童文化財を作ろう―	予習	作りたい手作り児童文化財を選び材料を用意する			
				復習	児童文化財について歴史などを調べてくる			
	第 14 回	内容	児童文化財についての理解を深める⑤ ―手作り児童文化財を作ろう―	予習	児童文化財について歴史などを調べてくる			
				復習	作ったもので実践する練習を行う			
	第 15 回	内容	手作り児童文化財を利用した保育の実際 ―模擬保育または実際の保育の場での実践―	予習	手作り児童文化財での実践の練習を行う			
				復習	実践の振り返りを行う			
予習に要する学習時間：概ね 1 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	作品を返却し、結果をフィードバックする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：作品・発表（70%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	なし 適宜資料配布							
参考文献	『保育方法の基礎』（柴崎正行他、わかば社）『保育実技 児童文化財の魅力とその活用・展開』（久富陽子編著、萌文書林）							
注意事項	・スケッチブック・毛糸など教材の購入をお願いする場合があるため、準備をお願いします。 ・授業内容は、受講人数によって変更の可能性があります。							

科 目 名	保育指導方法Ⅱ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡 美
ナンバリングコード	CHS12203		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	園生活のなかで、子どもの個と集団が共に育ちあうような保育を行っていくことが大切である。育つことが期待される心情、意欲、態度などが保育のねらいであり、それを達成するための保育の方法を学ぶ。授業を通して乳幼児の生活を支え、子どもの発達を保障する保育を展開できる保育者をめざすための指導方法について考え、実践力を身につけていく。							
到 達 目 標	1. 子どもを捉える視点を身につけ、個と集団が活かされる保育方法を理解している。 2. 遊びを通して子どもの発達が保障されるような実践力・保育指導力を身につけている。 3. 保育者としての基本的な姿勢や技能を身につけている。 4. 子どもへの援助の仕方を身につけ、それを表現できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1. 2 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	講義内容を読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	子どもを捉える視点	予習	子どもを捉える視点を考える			
				復習	子どもを捉える視点をまとめる			
	第3回	内容	幼稚園の一日から子どもを捉える視点	予習	幼稚園で使われる保育用語を調べる①			
				復習	課題に沿って保育用語を説明できるようにする			
	第4回	内容	子どもを捉える視点と表現方法（幼稚園）（グループワーク）	予習	幼稚園で使われる保育用語を調べる②			
				復習	課題に沿って保育用語を説明できるようにする			
	第5回	内容	保育園の一日から子どもを捉える視点	予習	保育所で使われる保育用語を調べる①			
				復習	課題に沿って保育用語を説明できるようにする			
	第6回	内容	子どもを捉える視点と表現方法（保育園）（グループワーク）	予習	保育所で使われる保育用語を調べる②			
				復習	課題に沿って保育用語が説明できるようにする			
	第7回	内容	子どもと保育者との関わりから捉える保育方法（グループワーク）	予習	子どもを取り巻く人間関係を調べる			
				復習	課題を仕上げる			
	第8回	内容	保育の計画について、指導案の書き方	予習	プリントを行う			
				復習	保育の計画と指導案の書き方を理解する			
	第9回	内容	保育の計画と実践①教材研究（グループワーク）	予習	課題プリントを読む			
				復習	活動のラフスケッチを記入する			
	第10回	内容	保育の計画と実践②部分実習指導計画案	予習	指導案の書き方を理解する			
				復習	指導案作成し、仕上げる			
	第11回	内容	保育の計画と実践③模擬保育（グループワーク・発表）	予習	模擬保育の準備・イメージをする			
				復習	模擬保育の評価をする			
	第12回	内容	乳幼児の保育の実践①教材研究（グループワーク）	予習	教材研究をする			
				復習	教材研究をまとめる			
	第13回	内容	乳幼児の保育の実践②指導案作成	予習	指導案の書き方について確認する			
				復習	指導案を作成し、仕上げる			
	第14回	内容	乳幼児の保育の実践③模擬保育（グループワーク・発表）	予習	模擬保育の準備・イメージをする			
				復習	模擬保育の評価をする			
	第15回	内容	保育の計画と実践、評価（グループワーク）	予習	PDCA サイクルを確認する			
				復習	保育方法を総括する			
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 50 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	発表後、講評を行う。課題作成後、解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度【積極的な取り組み】（30%）							
教科書	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』							
参考文献	『子どもの育ちを支え安全を守る幼稚園・保育所・施設実習』若井編著他 大学図書出版							
補足事項	「保育指導方法Ⅰ」「保育指導方法Ⅱ」の授業は、実習での実践に向けた継続した内容であることに留意し、履修すること							

科 目 名	健康（指導法）		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	きたほら せいいち 北 洞 誠 一	
ナンバリングコード	CHS12204		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	健康の授業で勉強した幼稚園教育要領と保育所保育指針の理解を基礎として、教科書やいろいろな資料、ビデオを参照しながら、健康の具体的な内容を考察し、現場での指導計画を作成し、現場での対処法を勉強する。								
到 達 目 標	1. 現場で求められる健康のねらいと内容を理解し、実践の考え方と方法を身につけている。 2. 子どもの健康だけではなく、自分の健康について関心を持ち、自身を健康に保つ方法を理解している。 3. 健康のメカニズムを理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 4,5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション。保育ビデオ（アリサ）鑑賞Ⅰ。	予習	シラバスを見て全体の流れを把握する。				
				復習	さくらんぼ保育について調べる				
	第2回	内容	保育ビデオ（アリサ）鑑賞Ⅱ。	予習	さくらんぼ保育の保育環境について調べる				
				復習	ビデオを見たレポートを提出する				
	第3回	内容	運動遊び動画鑑賞・運動遊びの指導計画解説	予習	教科書の指導計画のところを読んでくる				
				復習	授業で扱った指導計画の構造をまとめる				
	第4回	内容	食育について	予習	教科書の食育のところを読む				
				復習	授業内容をまとめる				
	第5回	内容	子どものからだと心実感調査資料の解説	予習	Google クラスルームにアップされた資料を読む				
				復習	授業を受けてレポートを提出する				
	第6回	内容	子どものからだと心を考えるⅠ：すぐ疲れたと言うの中身	予習	Google クラスルームにアップされた資料を読む				
				復習	授業を受けてレポートを提出する				
	第7回	内容	子どものからだと心を考えるⅡ：前頭葉の4つのタイプ	予習	Google クラスルームにアップされた資料を読む				
				復習	授業を受けてレポートを提出する				
	第8回	内容	保育ビデオ（さくらんぼ坊や）鑑賞	予習	前半7回の授業を復習する				
				復習	動画の感想のレポートを提出する				
	第9回	内容	食育について	予習	教科書の食育の部分を読む				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第10回	内容	アレルギーについて	予習	教科書のアレルギーの部分を読む				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第11回	内容	安全指導について	予習	教科書の安全指導に関する部分を読む				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第12回	内容	生活習慣と免疫について	予習	免疫について調べる				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第13回	内容	食と免疫について	予習	食と免疫力について調べる				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第14回	内容	コロナ禍の保育について考える	予習	コロナ禍の保育について調べる				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第15回	内容	映画（ベイビーズ）鑑賞	予習	世界の子育てについて調べる				
				復習	映画の感想レポートを提出する				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google クラスルームの課題レポート提出に対してコメントをフィードバックする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 30 %）、レポート・課題（ 60 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極性】（10%）							
教科書	「乳幼児の健康」（若井香保里・宮下恭子・平山素子編、大学図書出版）								
参考文献	「限界を超える子どもたち——脳・身体・障害への新たなアプローチ」 2018、太郎次郎社エディタス								
注意事項	自主的にインターネット等を活用して調べる。レポートはGoogle クラスルームのドキュメントで提出すること。								

科 目 名	人間関係（指導法）			単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡美	
ナバリングコード	CHS12205			授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	幼稚園教育要領・保育所保育指針に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、子どもの姿と保育実践とを関連づけて理解を深める。 具体的な保育の構想と実践方法を身につける。									
到 達 目 標	1．幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。 2．保育所保育指針に示された領域「人間関係」の 1 歳以上 3 歳未満児に関わるねらい及び内容を理解している。 3．幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけている。									
学位授与方針	幼児教育学科（ 1. 2. 3. 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	領域「人間関係」について①全体像を理解する	予習	講義内容を読んでおく					
				復習	領域「人間関係」の全体像をまとめる					
	第 2 回	内容	領域「人間関係」②3 歳以上児のねらい、内容	予習	領域「人間関係」のねらいと内容を読んでおく					
				復習	領域「人間関係」のねらいと内容を理解する					
	第 3 回	内容	領域「人間関係」③乳児保育、1 歳以上 3 歳未満児のねらいと内容	予習	1 歳以上 3 歳未満児の領域「人間関係」を読む					
				復習	小テストの内容（範囲）を理解する					
	第 4 回	内容	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿、育みたい資質・能力について	予習	幼稚園教育要領第 1 章第 2 を読み、内容を確認しておく					
				復習	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿の人間関係に関する内容をまとめる					
	第 5 回	内容	自立心を育む援助（ICT 活用）	予習	子どもの人間関係の発達を確認する					
				復習	事例を通して援助方法を考える					
	第 6 回	内容	遊びのなかで育つ人間関係（事例検討）①仲間関係の形成（ICT 活用）	予習	子どもの発達を調べておく					
				復習	事例を理解し、まとめる					
	第 7 回	内容	遊びのなかで育つ人間関係（事例検討）②自己抑制	予習	3・4 歳児の発達を調べておく					
				復習	事例①を理解し、まとめる					
	第 8 回	内容	遊びのなかで育つ人間関係（事例検討）③自己主張、思いやり	予習	5・6 歳児の発達を調べておく					
				復習	事例②③を理解し、まとめる					
	第 9 回	内容	遊びのなかで育つ人間関係（事例検討）④いざこざ場面における援助（幼児）（ICT 活用）	予習	事例プリントを読む					
				復習	保育者の子どもへの関わりを確認する					
	第 10 回	内容	個と集団の相即的發展①活動内容・指導案作成（教材研究）	予習	PDCA サイクルを理解する					
				復習	教材研究をする①					
	第 11 回	内容	個と集団の相即的發展②指導案作成	予習	教材研究をする②					
				復習	指導案を作成する					
	第 12 回	内容	個と集団の相即的發展③模擬保育（グループワーク・発表）	予習	指導案を仕上げる					
				復習	模擬保育の反省、振り返りをする					
	第 13 回	内容	個と集団の相即的發展④振り返り（ディスカッション）	予習	PDCA サイクルを再確認する					
				復習	グループの意見をまとめる					
	第 14 回	内容	個と集団の早々の発展⑤改善・まとめ、幼保・小の連携活動と小学校以降の生活や学習で活かされる力	予習	幼保小の連携を考える					
				復習	個と集団の相即的發展を理解し、まとめる					
	第 15 回	内容	領域「人間関係」をめぐる現代的諸問題・まとめ（ICT 活用）	予習	幼児期の「人間関係」の課題を考える					
				復習	「人間関係」をめぐる問題をまとめる					
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	課題に対して添削・解説を行う。また、発表に対しては講評を行う。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、課題（30%）発表（20%）、授業態度【積極的参加】（20%）								
教科書	『幼稚園教育要領』（平成 29 年 3 月告示 文部科学省）『保育所保育指針』（平成 29 年 3 月告示 厚生労働省）									
参考文献	なし									
補足事項										

科 目 名	人間関係（指導法）		単 位 数	1	授業時間数		担当教員	いまい ゆ み 今井 由美
ナバリングコード	CHS12205		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	幼稚園教育要領、保育所保育指針等に示された領域「人間関係」のねらい及び内容を学び、乳幼児期における人間関係を育てていくなかでの指導や援助のあり方を考えていく。さまざまな事例の検討やグループワークを通して、具体的な保育の構想や方法を身につけることにより保育実践力の向上を目指す。							
到 達 目 標	1. 領域「人間関係」を理解している 2. 乳幼児期の人間関係の育ちのための役割や援助方法を身につけている 3. 領域「人間関係」に関わる指導場面を想定した保育を構想する力を身につけている							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション / 人間関係を指導するとは	予習	人間関係を指導することのイメージをしておく			
				復習	人間関係を指導することについて理解する			
	第 2 回	内容	要領や指針に「人間関係」がある意義	予習	なぜ「人間関係」があるのかを考えておく			
				復習	「人間関係」があることを説明できる			
	第 3 回	内容	乳児保育に関わるねらい及び内容	予習	ねらい及び内容（乳児）を読んでおく			
				復習	要領や指針を通して乳児の人間関係を理解する			
	第 4 回	内容	領域「人間関係」のねらい及び内容（1, 2 歳児）	予習	領域「人間関係」（1, 2 歳児）を読んでおく			
				復習	要領や指針から 2 歳までの人間関係を整理する			
	第 5 回	内容	領域「人間関係」のねらい及び内容（3 歳児以上）	予習	領域「人間関係」（3 歳児以上）を読んでおく			
				復習	領域「人間関係」を理解する			
	第 6 回	内容	遊びや生活の中で育つ人間関係① 子ども主体・主体的保育	予習	子ども主体の保育をイメージしておく			
				復習	主体的保育について整理する			
	第 7 回	内容	遊びや生活の中で育つ人間関係② 思いやり	予習	乳幼児の思いやり場面をイメージする			
				復習	年齢毎の思いやりの習得について整理する			
	第 8 回	内容	遊びや生活の中で育つ人間関係③ 道徳性	予習	乳幼児の道徳的場面をイメージしておく			
				復習	指導や援助のあり方を整理する			
	第 9 回	内容	遊びや生活の中で育つ人間関係④ ルール・平等	予習	保育における平等を考えておく			
				復習	遊びの中でのルールや平等を整理する			
	第 10 回	内容	保育者としての役割① 子ども同士をつなげる	予習	人間関係が広がる援助方法をイメージする			
				復習	事例から人間関係が広がる様子を整理しておく			
	第 11 回	内容	保育者としての役割② 気になる子との関わり	予習	どんな子が気になる子なのかを考えておく			
				復習	気になる子への考え方や対応を理解する			
	第 12 回	内容	保育者としての役割③ 保護者との関わり（グループワーク）	予習	保護者対応をイメージしておく			
				復習	ディスカッション内容を整理する			
	第 13 回	内容	保育者としての役割④ 保育者同士の関わり	予習	保育者同士の関わりをイメージしておく			
				復習	保育者同士で構築される関係性を理解する			
	第 14 回	内容	保育者としての役割⑤ 地域や社会との関わり	予習	地域との関わり方を調べておく			
				復習	地域や社会と関わる必要性や重要性を理解する			
	第 15 回	内容	領域「人間関係」における今日的課題	予習	これまでを振り返り自身の学びを確認しておく			
				復習	領域「人間関係」の理解を深める			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題・小テストは、添削して返却し、解説を行う。 グループワークは、発表後に講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ 40 %）、レポート・課題（ 30 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（ 30 %）							
教科書	なし							
参考文献	『保育所保育指針』（厚生労働省） 『幼稚園教育要領』（文部科学省） 『人間関係』（高杉自子・岸井慶子、東京書籍） 『事例で学ぶ保育内容 領域人間関係』（無藤隆・岩立京子、萌文書林）							
補足事項								

科 目 名	環境（指導法）		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子
ナバ`リング`コート`	CHS12206		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本授業では、現代の子どもを取り巻く環境や子どもと環境とのかかわりなどの専門的事項を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容について理解を深めていく。また、領域「環境」のねらい、内容について具体的な保育場面での事例等をみながら、実際の展開について学ぶとともに、グループワークや討議などを行いながら、実際の保育の環境とかかわりその意義について理解を深めていく。							
到 達 目 標	1． 領域「環境」のねらい及び内容並びに全体構造を理解し、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。 2． 領域「環境」に関わる周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする経験と小学校以降の教科等とのつながりを理解している。 3． 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する力が身についている。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	保育における「環境」の捉え方について	予習	教科書p 8～11を読んでくる			
				復習	保育における環境の捉え方についてまとめる			
	第2回	内容	環境を通した保育について	予習	教科書p 12を読んでくる			
				復習	環境通した保育についてまとめる			
	第3回	内容	子どもの発達と「環境」 ー乳幼児期にふさわしい環境と環境構成の実際ー	予習	子どもの発達についてのおおまかにまとめてくる			
				復習	発達と環境の関係について読み返す			
	第4回	内容	領域「環境」のねらいと内容	予習	領域「環境」のねらいと内容について読んでくる			
				復習	ねらいと内容及び評価について教科書を読み返す			
	第5回	内容	資質・能力及び10の姿／評価について	予習	幼稚園教育要領の該当箇所を読んでくる			
				復習	授業内容の振り返りを行う			
	第6回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開① ー自然とのかかわりー	予習	子どもと自然とのかかわりについて事例を集めてくる			
				復習	教科書、資料を読み返し、子どもと自然とのかかわりについて大切な点をまとめる			
	第7回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開② ー身近なもののとのかかわりー	予習	保育の場にある物的環境を箇条書きにしてくる			
				復習	ワークブックを読み返し、身近なもののとのかかわりについてまとめる			
	第8回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開③ ー標識・文字等とのかかわりー	予習	教科書p 94～97を読んでくる			
				復習	教科書・ワークブックを読み返し、振り返りを記入する			
	第9回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開④ ー数量・図形等とのかかわりー	予習	教科書p 82～85を読んでくる			
				復習	教科書、ワークブックを読み返し、振り返りを記入する			
	第10回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開⑤ ー様々な文化や伝統とのかかわりー	予習	教科書p 122～125を読んでくる			
				復習	教科書、ワークブックを読み返し、振り返りを記入する			
	第11回	内容	身近な素材を用いた保育の実際 ー製作を通してものの仕組みについて知るー	予習	身近な自然物として葉っぱを収集し、収集した葉っぱの特徴を観察してくる			
				復習	実践した遊びの一つを選び指導案を立てる			
	第12回	内容	身近なもの（玩具）を用いた保育の実際（グループワーク） ーおもちゃが引き出す子どもの遊びー	予習	自分のおすすめのおもちゃについてまとめてくる			
				復習	模擬保育のなかで遊んだおもちゃについて特徴をまとめる			
	第13回	内容	身近な素材や自然物、ものを用いた保育の振り返り ー実践の省察、改善ー	予習	自然物や玩具での実践の省察を記入する			
				復習	評価についての配布資料を読み返す			
	第14回	内容	環境に関わる現代的課題① 問題提起	予習	環境に関わる現代的課題にはどのようなものがあるか考え箇条書きにしてくる			
				復習	授業で見たDVD等の教材の振り返りを記入する			
	第15回	内容	環境に関わる現代的課題② 討論、グループワーク	予習	第14回の内容から、討論に向け現代的課題についてまとめてくる			
				復習	まとめの勉強を行う			
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	レポートを返却し、採点内容についてフィードバックする							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 40 %）、ミニテスト（ 40 %）授業態度【 積極的参加 】（ 20 %）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）							

	『実践例から学びを深める 保育内容・領域 環境指導法』（小櫃智子 編著 北澤明子他、わかば社）
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『基礎からまなべる保育内容（環境）ワークブック』（田中卓也他編著、あいり出版）
補足事項	・ワークブックを配布し教科書や配布資料とともに、板書を書き込んでいく形とするため、ワークブックを忘れず持参するようにしてください。

科 目 名	環境（指導法）		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	なかむら よういち 中村 陽一	
ナバリングコート	CHS12206		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	「環境」で学んだ、幼児と環境とかかわりに関する学びと、幼稚園教育実習（前期）の体験の上に、実例に基づき、領域「環境」の「目的」「ねらい」「内容」の理解を深める。さらに、領域「環境」にかかわる具体的な指導場面を想定した指導方法を身につける。課題に応じて、グループを作り討論や発表を行う。								
到 達 目 標	1. 「幼稚園教育要領」に示された「環境を通した保育」の意義と、保育者に求められる援助について、具体的指導法を示すことができる。 2. 「環境を通した保育」の意義と、保育者の援助について、具体例を挙げて自分の考えを述べることができる。 3. 領域「環境」に関わる幼児の自然体験や社会体験と、小学校教育の生活科への連続性について理解している。 4. 子どもの自然体験を深めるための、子どもの発達を見据えた長期的計画の重要性を理解しており、大まかな計画を示すことができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（1.2.3.4.5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	保育と環境－「環境を通して行う保育」の特質、子どもの発達と環境との関わり。「環境」の復習。	予習	幼稚園教育要領 保育内容「環境」を読む。				
				復習	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を確認。				
	第2回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（保育室）。グループ討論と発表。	予習	教科書9pの演習課題1				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第3回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（園舎）。グループ討論と発表。	予習	教科書25pの演習課題2				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第4回	内容	子どもの生活と物的環境②－保育の環境構成（園庭）。グループ討論と発表。	予習	教科書41pの演習課題1				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第5回	内容	子どもの生活と自然環境①－子どもを取り巻く自然環境グループ討論と発表。	予習	教科書59pの演習課題1				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第6回	内容	子どもの生活と自然環境②－季節感と取り入れた保育グループ討論と発表。	予習	教科書59pの演習課題3				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第7回	内容	子どもの生活と自然環境③－飼育動物の特徴と配慮グループ討論と発表。	予習	実習で体験した動物飼育についてまとめる。				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第8回	内容	子どもの生活と自然環境④－栽培植物の特徴と配慮グループ討論と発表。	予習	教科書41pの演習課題2				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第9回	内容	子どもの生活と社会①－施設との関わりグループ討論と発表。	予習	教科書75pの演習課題3				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第10回	内容	子どもの生活と社会環境②－伝統的な行事との関わりグループ討論と発表。	予習	教科書75pの演習課題2				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第11回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と数グループ討論と発表。	予習	実習で体験した子どもの数体験について。				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第12回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と文字グループ討論と発表。	予習	教科書91pの演習課題1				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第13回	内容	数量や文字に関する取り扱い②－小学校教育とのつながりグループ討論と発表。	予習	教科書75pの演習課題3				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第14回	内容	小学校教育への連続性－「環境」と「生活科」「総合学習」グループ討論と発表。	予習	教科書109pの演習課題1				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ。グループ討論と発表	予習	教科書109pの演習課題2				
				復習	グループ討論のまとめ。				
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroomを用いて課題に対するフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（ ）							
教科書	『保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領/幼稚園教育要領』（文部科学省・厚生労働省・内閣府、チャイルド本社） 『コンパス 保育内容 環境』（高橋貴志・目良秋子編、建帛社）								
参考文献	なし								
注意事項	保育者としての自覚と問題意識を持って授業に臨むこと。								
補足事項	必要に応じて、授業の終わりに小レポートを提出する。								

科 目 名	言葉（指導法）	単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	はしもと ちづる 橋 本 千鶴
ナンバリングコード	CHS12207	授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）						
授 業 の 内 容	乳幼児の言葉の発達過程や、「幼稚園教育要領」などに記されている領域「言葉」のねらいや内容、言葉の育ちにかかわる問題等について理解し、将来の保育者として、適切なかわり、援助、環境構成ができるようにする。また、言葉を豊かに育てる児童文化財について実践的に学び、保育者として必要な知識や技能の習得を図る。						
到 達 目 標	1. 乳幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行われる言葉の指導の内容的・方法的特質を理解している。 2. 「幼稚園教育要領」などに記されている領域「言葉」のねらいや内容、保育実戦での展開方法を理解している。 3. 乳幼児期の言葉の発達や、言葉の育ちにかかわる諸問題について説明できる。 4. 言葉を育てる児童文化財について積極的に学び、将来の保育者として必要な知識や技術を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 3, 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション「言葉（指導法）」について・素話	予習	シラバスを読んで、授業内容を把握しておく。		
				復習	自分が発表する素話を決めて、発表に向けて練習を進める。		
	第 2 回	内容	子どもの言葉の発達①（新生児）（グループディスカッション）	予習	身近にいる乳幼児の言葉に耳を傾け、記録する習慣をつける。		
				復習	新生児のコミュニケーション能力について、参考文献、プリント等を読み返し、理解を深める。		
	第 3 回	内容	子どもの言葉の発達②（0～1 歳期）（グループディスカッション）	予習	身近にいる乳幼児の言葉に耳を傾け、記録する習慣をつける。		
				復習	0～1 歳期の言葉の発達について、参考文献、プリント等を読み返し、理解を深める。		
	第 4 回	内容	子どもの言葉の発達③（2～5 歳期）（グループディスカッション）	予習	「幼稚園教育要領」等の領域「言葉」を読んで、重要な箇所に線を引いておく。		
				復習	2～5 歳期の言葉の発達について、参考文献、プリント等を読み返し、理解を深める。		
	第 5 回	内容	「幼稚園教育要領」等の領域「言葉」のねらいや内容について・文字との出会い（ペアワーク、ロールプレイ）	予習	「幼稚園教育要領」等の領域「言葉」を読み進める。		
				復習	「幼稚園教育要領」等の領域「言葉」を読み深め、要点をノートにまとめる。		
	第 6 回	内容	模擬保育①素話の発表（グループワーク、発表、相互評価）	予習	素話を覚えて、3 分以内で発表できるように準備しておく。		
				復習	素話の発表を参考に、よりよい語り方を取り入れ、さらに素話の練習を継続しておく。		
	第 7 回	内容	絵本の歴史・昔話（グループワーク）	予習	絵本を数冊読んでおく。		
				復習	自分が知らなかった昔話を読み進める。		
	第 8 回	内容	模擬保育②絵本の読み聞かせ（グループワーク、発表、相互評価）	予習	絵本の読み聞かせの練習をしておく。		
				復習	絵本の読み聞かせの模擬保育について振り返り、課題や改善点をノートにまとめる。		
	第 9 回	内容	紙芝居の歴史・演じ方（グループワーク）	予習	紙芝居について調べ、演じ方のイメージをもって臨む。		
				復習	授業で学んだことを参考に、紙芝居の演じ方の留意事項をまとめる。		
	第 10 回	内容	模擬保育③紙芝居の演じ方（グループワーク、発表、相互評価）	予習	紙芝居の演じ方の練習をしておく。		
				復習	紙芝居の演じ方の模擬保育について振り返り、課題や改善点をノートにまとめる。		
	第 11 回	内容	子どもと楽しむ言葉遊びの実践（指導案作成）	予習	子どもと楽しむ言葉遊びについて、どのような活動ができるかを考えて、ノートにまとめる。		
				復習	子どもと楽しむ言葉遊びの指導案を作成する。		
	第 12 回	内容	模擬保育④子どもと楽しむ言葉遊びの実践（グループワーク、発表、相互評価）	予習	指導案をもとに、言葉遊びの実践の練習をしておく。		
				復習	子どもと楽しむ言葉遊びの模擬保育について振り返り、課題や改善点を確かめ、よりよい指導案に練り上げておく。		
	第 13 回	内容	模擬保育⑤人形劇の演じ方（グループワーク）	予習	さまざまな人形劇について調べ、それぞれの特色をノートにまとめる。		
				復習	人形劇の演じ方について振り返り、その特色や留意点をノートにまとめる。		
	第 14 回	内容	言葉の育ちにかかわる問題（グループディスカッション）	予習	言葉の育ちにかかわる問題にはどのようなものがあるかを調べ、ノートにまとめる。		
				復習	本時で学んだことをもとに、さらに乳幼児の言葉に関心をもって聞くように心がけ、必要に応じて記録する習慣をつける。		
	第 15 回	内容	オノマトペ・授業全体のまとめ	予習	「幼稚園教育要領」等の領域「言葉」、配布資料などを読み返し、これまでの授業内容を復習しておく。		
				復習	「幼稚園教育要領」等の領域「言葉」を読み深め、今後の実習で学びたい目標、ねらいの形でまとめる。		
予習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 2 0 分を目安とする。							

課題へのフィードバック	各授業回で提出されたリアクションペーパー（実技の振り返りを含む）や指導案についてはその都度評価し、次の授業回で講評、解説を行って返却する。実技については、授業内に講評したり、学生同士による相互評価をしたりし、自ら課題が確認できるようにする。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： まとめのレポート（４０％）、各授業回のレポート・課題（４０％）、授業態度【積極的参加・実技】（２０％）
教科書	『書名』（著者名、出版社名） なし（授業時にプリントを配布する）
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『幼稚園教育要領解説』（文部科学省、フレーベル館） 『保育所保育指針解説』（厚生労働省、フレーベル館） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館）
補足事項	保育者になる自覚をもちながら、積極的に講義、実技に取り組んでほしい。

科 目 名	言葉（指導法）		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	いざわ えいしゅう 伊澤 永 修
ナンバリングコード	CHS12207		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	領域「言葉」のねらいと内容についての理解を深め、言葉の発達と特徴を事例や映像を通して理解する。その上で、乳幼児の発達過程に合わせた保育を構築できるように児童文化財などの保育教材などへの理解を深め保育への取り入れ方などを理解するために、演じ合いやグループディスカッションを行う。							
到 達 目 標	1. 領域「言葉」のねらい及び内容を理解している 2. 児童文化財などの保育教材を理解し、保育内容に活用することができる 3. 子どものことばの育ちを支える指導計画が作成できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1、2、5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	領域「言葉」と他領域との関係について	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る			
	第2回	内容	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と領域「言葉」との関連について	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
				復習	配付資料をもとに解説された内容を振り返り子どものことばの発達に対する理解を深める			
	第3回	内容	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と領域「言葉」との関連について具体例を考える	予習	テキストの該当箇所を読み込み前回の授業の振り返りを行う			
				復習	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」一つひとつと領域「言葉」との関連についてのまとめを行う			
	第4回	内容	言葉とコミュニケーションの発達（1）	予習	これまでの学びを通して保育の基本についてまとめておく			
				復習	言葉とコミュニケーションの発達のまとめをおこない整理をする			
	第5回	内容	言葉とコミュニケーションの発達（2）	予習	前回の授業内容を確認する			
				復習	言葉とコミュニケーションの発達のまとめをおこない整理をする			
	第6回	内容	言葉とコミュニケーションの発達（3）	予習	前回までの授業内容を確認する			
				復習	言葉とコミュニケーションの発達のまとめをおこない整理をする			
	第7回	内容	カリキュラムマネジメントと教材研究について	予習	要領や指針の該当部分を読み込んでおく			
				復習	カリキュラムマネジメントと教材研究の方法についてまとめる			
	第8回	内容	児童文化財・絵本についての理解を深める グループ内発表とグループディスカッション	予習	絵本について調べておく			
				復習	絵本の特徴や保育への活かし方を自分なりにまとめる			
	第9回	内容	映像を視聴して保育現場での子どもの言葉の成長・発達を学ぶ	予習	子どもの言葉の発達過程について確認しておく			
				復習	子どもの言葉の発達過程に合わせた保育内容についてまとめる			
	第10回	内容	絵本紹介のグループ内発表及びグループディスカッションを通して絵本への理解を深める	予習	絵本の回の授業を振り返り絵本についての理解を深めておく			
				復習	絵本の特徴や保育への活かし方を自分なりにまとめる			
	第11回	内容	お話とお話の魅力	予習	お話やお話の魅力について考えておく			
				復習	お話の子どもたちへの影響についてまとめる			
	第12回	内容	言葉遊びと言葉遊びの魅力	予習	子どもと楽しめる言葉遊びを考えておく			
				復習	言葉遊びの特徴や保育への活かし方を自分なりにまとめる			
	第13回	内容	素話と素話の演じ方	予習	素話について調べておく			
				復習	素話を保育にどのように取り入れるかについて自分なりにまとめる			
	第14回	内容	児童文化財・パネルシアターの理解と絵人形の作り方	予習	パネルシアターについて調べておく			
				復習	パネルシアターの特徴や保育への活かし方を自分なりにまとめる			
	第15回	内容	子どものことばの育ち（話し言葉の世界から書き言葉の世界へ）の理解と総まとめ	予習	当該授業の振り返りをしておく			
				復習	当該授業で学んだ事をどのように保育に活かしていくかについての総まとめを行う			
	予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出物を評価し、返却時に解説を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（60%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【参加度合】（40%）							

教科書	『事例で学ぶ保育内容』 無藤隆監修 萌文書林	※ 1 年次に購入済
参考文献	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（70％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【参加度合】（30％）	
補足事項		

科 目 名	造形表現（指導法）		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	おぐち すぐる 小口 偉
ナンバリングコード	CHS12208		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	乳幼児期の造形的表現方法は、発達段階を踏まえ、適切な素材提供をすることが、活動に広がりとお興行きをもたらす。子どもの活動をもとにした活動体験をすることから、「素材、道具について」の造形的側面と、「乳幼児の表現活動について」の心身の発達における側面から、造形を通じた表現について理解、関心を深める。							
到 達 目 標	1．子どもの表現活動の意義を理解している。 2．子どもと造形を通じた表現活動が楽しめる技術、視点、方法を身につけている。 3．年齢やクラス編成ごとに変化する活動内容に応じた環境構成を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	素材体験 1 紙について理解する 1 質感で遊ぶ	予習	参考書等の紙の活動に関することを読み込む			
				復習	身近な紙の触り心地を確かめておく			
	第 2 回	内容	素材体験 2 紙について理解する 2 空間を使って遊ぶ（グループワーク）	予習	遊ぶこととは何かノートに書き出し持参する。			
				復習	体験を通して空間を使って遊ぶこととは何か自分なりに考え、まとめる。			
	第 3 回	内容	素材体験 3 クレヨン、パスについて理解する	予習	参考書等のクレヨン、パスに関する項目を読み込む。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 4 回	内容	素材体験 4 粘土を触ることで起こる遊びを体験する（グループワーク）	予習	参考書等の粘土に関する記述について読む。			
				復習	体験内容をノートにまとめる。			
	第 5 回	内容	素材体験 5 シート系素材を理解する（グループワーク）	予習	参考書等のハサミに関する記述について、ノートにまとめ持参する。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 6 回	内容	道具体験 1 道具を理解する ハサミについて	予習	参考書等のステープラーに関する記述について、ノートにまとめ持参する。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 7 回	内容	道具体験 2 道具を理解する ステープラーについて	予習	参考書等の接着に関する記述について読み込み、ノートにまとめ持参する。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 8 回	内容	応用 1 構成遊びを理解する 1 色画用紙を使った構成制作を体験する	予習	構成遊びについて調べる。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 9 回	内容	応用 2 構成遊びを理解する 2 与えられたきっかけから画面構成をする 1	予習	構成遊びについて調べる。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 10 回	内容	応用 3 構成遊びを理解する 3 画面構成 2 発表 他人の表現や子どもの発想方法を知る	予習	構成遊びについて調べ、まとめたノートを持参する。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 11 回	内容	応用 4 様々な技法遊びを知る「デカルコマニー/スクラッチ」による制作体験をする	予習	技法遊びについて 5 つの種類とその方法を調べ、まとめたものを持参する。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 12 回	内容	応用 5 紙立体の扱いについて理解する「紙立体」を通して合同制作と共同制作を体験する	予習	参考書の紙立体に関する記述について、ノートにまとめ持参する。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 13 回	内容	応用 6 立体の扱いについて理解する生活素材を使った制作を通して子どもの援助方法を知る	予習	造形素材として使用できる可能性のあるものを集めておく。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 14 回	内容	工作体験をする「動きを遊ぶ紙工作」手順に従った工作を通して、子どもの制作手順を考える	予習	参考書の紙工作に関する記述について読み込み、ノートにまとめ持参する			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第 15 回	内容	振り返り活動ドキュメンテーション作成を通して全体を振り返る	予習	ドキュメンテーションについて調べ、まとめたノートを持参する。(60 分)			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
予習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 4 5 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	各提出課題に対し採点をする。各回保育現場においての実践方法や注意点を伝え、作品返却の際にはクラスで鑑賞する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ % ）、レポート・課題（ 2 0 % ）、作品・発表（ 4 0 % ）、実技（ % ）、授業態度【積極的な取り組み】（ 4 0 % ）							
教科書	『遊んで育て！表現の力-保育で使える活動例と指導法-』（塩崎みづほ 長谷川恭子 小口偉、推敲舎）							
参考文献	なし							
補足事項	汚れてもよい支度で参加してください。 ※ 作品制作に関わる道具、材料費は個人負担です。(1,200 円を徴収します。)							

科 目 名	音楽・身体表現（指導法）		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	しおさき にとう 塩 崎 ・ 二 藤
ナンバリングコード	CHS12209		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	保育内容の各領域を総合的にとらえ表現活動を中心に乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学ぶ。体の動き、音・リズムを工夫し、豊かな感性を育み、自らのイメージを広げて表現する楽しさについて理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。また、ICT を活用し、スマートフォンやタブレット端末を使用し、コメントや評価など双方向型授業も行う。							
到 達 目 標	1. 幼児の心情、認識、思考、動きなどを視野にいたれた保育の構想の重要性を理解している。 2. 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができている。 3. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 4. 音楽・身体表現の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができている。 5. 領域「表現」及び音楽・身体表現の特性と幼児の体験との関連を考慮した教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができている。							
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・５）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	【二藤①】 幼児期の音楽表現におけるねらいと内容・他領域との関連について考え、題材を概観し指導の姿をイメージする。	予習	指導要領領域「表現」と教科書冒頭を読んで活動のねらいを理解しておく			
				復習	音楽表現の活動内容と意義についてまとめる			
	第2回	内容	【二藤②】 指導案の構造・作成活用法を理解する。3歳児の発達に適した展開の工夫について検討し、理解する。	予習	3歳児の音楽面の発達上の特徴をおさえ、展開の工夫について考えてくる			
				復習	指導案をもとに指導をシミュレーションする			
	第3回	内容	【二藤③】（グループワーク） 4または5歳児クラスの指導案を作成し、複数の指導役を想定し分担・連携を工夫した模擬保育の練習・実践を行い、振り返りを行う。	予習	4・5歳児それぞれの音楽面の発達上の特徴をおさえ、担当の題材にふさわしい年齢設定を考える。ピアノ伴奏・歌の練習をしておく			
				復習	振り返りと改善点についてまとめる			
	第4回	内容	【二藤④】 子ども役の実践を通して実際の音体験を味わった上で、目標設定と意義について理解を深め、指導者を評価し保育改善の視点を身につける。	予習	授業で行う題材の説明をよみ、理解しておく			
				復習	扱った題材の音楽的な意義についてまとめる			
	第5回	内容	【二藤⑤】（グループワーク） 別の題材をもとに指導案を作成し、子どもの活動の姿に沿いつつ展開や伴奏を工夫できる模擬保育の練習・実践を行い、振り返りを行う。	予習	ピアノ伴奏・歌や楽器の練習をしておく			
				復習	振り返りと改善点についてまとめる			
	第6回	内容	【二藤⑥】 子ども役の実践を通し、子ども自身の生き生きとした発見や表現を保育者が引き出し支えるための具体的な手法と構想、現代的な意味について考える。	予習	授業で行う題材の説明をよみ、理解しておく			
				復習	音楽表現活動の質の向上についてまとめる			
	第7回	内容	【二藤⑦】 幼児用打楽器の特徴と扱いに留意し、3・4・5歳児の合奏表現の指導構造と手順を理解し、模擬保育の実践を行う。	予習	3・4・5歳児の合奏資料をよみ内容を覚える			
				復習	幼児の合奏表現のポイントをまとめる			
	第8回	内容	【塩崎①】 指導案作成の構造を理解し、身体表現活動におけるねらいについて考え、具体的な題材について検討し、指導実践法について研究する。	予習	行いたい活動内容についての指導の流れを考えてくる			
				復習	指導案を完成させる。			
	第9回	内容	【塩崎②】 豊かな感性を育み、イメージが広がり、工夫した動きを引き出す言葉かけ・問いかけについて理解し、具体的な保育を想定した指導場面での活用について考える。	予習	指導案を見ながら言葉かけについて考える			
				復習	指導の言葉かけシートを書き上げてくる			
	第10回	内容	【塩崎③】 保育活動における保育者の動き、言葉かけ、太鼓の叩き方などについて実践的に学ぶ。	予習	模擬保育で使用する準備物などを用意する			
				復習	実際の保育活動をイメージしてリハーサルを行う			
	第11回	内容	【塩崎④】 3歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りのグループディスカッションを通して保育の改善点について考える。	予習	指導のリハーサルを行う			
				復習	指導実践後の振り返りをGoogle フォームへ記入する。			
	第12回	内容	【塩崎⑤】 4歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りのグループディスカッションを通して保育の改善点について考える。	予習	身体表現遊びのウォーミングアップについて考えてくる			
				復習	本時の指導実践の振り返りをフォームに記入する。			
	第13回	内容	【塩崎⑥】 5歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りのグループディスカッションを通して保育の改善点について考える。	予習	5歳児の題材について考えノートにまとめる			
				復習	本時の指導実践の振り返りをノートにまとめる			

	第 14 回	内容	【塩崎⑦】身体表現遊びの意義についてグループディスカッションし、指導法において重要な点についてまとめる	予習	身体表現遊びの意義について自分なりの考えをノートにまとめる
	第 15 回	内容	模擬保育の振り返りと指導法についてのまとめ	復習	指導法についてフォームへまとめ、提出する
				予習	保育者としての振り返りを行う
	復習	まとめの課題に取り組む			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	発表において、発表後に講評を行う。 レポート、ノートについては集めた際にコメントを書き返却する				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（40％）、発表（40％）、実技（10％）、授業態度【積極的参加・協働的取り組み】（10％）				
教科書	『体を楽器にした音楽表現リズム＆ゲームにどっぷり！リトミック 77 選』（神原雅之著、明治図書出版） 『遊んで育て！表現の力ー保育で使える活動例と指導法』（塩崎みづほ・小口偉・長谷川恭子、推敲舎） 『乳幼児・児童の運動あそびと表現あそび からだとこころを育む指導法』（宮下恭子編著、大学図書出版）				
参考文献	『リトミックで遊ぼう 器楽合奏編』（定成淡紅子、全音楽譜出版社）				
補足事項	身体表現の授業では、原則学校指定のジャージを着用して出席すること。 クラスを2つに分けて実施。塩崎：14.5 回、二藤：14.5 回 身体表現模擬保育ルーブリック評価表 https://drive.google.com/file/d/1XLgVxc8nPOU-dxn_qRdFrkw9EYs00ufK/view?usp=sharing				

科 目 名	音楽・身体表現（指導法）		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	しおさき はせがわ 塩 崎 ・ 長 谷 川
ナンバリングコード	CHS12209		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	保育内容の各領域を総合的にとらえ表現活動を中心に乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学ぶ。体の動き、音・リズムを工夫し、豊かな感性を育み、自らのイメージを広げて表現する楽しさについて理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。また、ICT を活用し、スマートフォンやタブレット端末を使用し、コメントや評価など双方向型授業も行う。							
到 達 目 標	1. 幼児の心情、認識、思考、動きなどを視野にいたる保育の構想の重要性を理解している。 2. 領域「表現」及び音楽・身体表現の特性と幼児の体験との関連を考慮した教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができている。 3. 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができている。 4. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 5. 音楽・身体表現の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができています							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・2・5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	本授業の概要 音楽・身体表現のねらい、および内容について乳幼児期の発達を踏まえて理解する	予習	テキストの指導篇を読んでくる。			
				復習	模擬保育で行いたい内容について決めてくる			
	第2回	内容	指導案作成の構造を理解し、身体表現活動におけるねらいについて考え、具体的な題材について検討し、指導実践法について研究する。	予習	行いたい活動内容についての指導の流れを考えてくる			
				復習	指導案を完成させる。			
	第3回	内容	豊かな感性を育み、イメージが広がり、工夫した動きを引き出す言葉かけ・問いかけについて理解し、具体的な保育を想定した指導場面での活用について考える。	予習	指導案を見ながら言葉かけについて考える			
				復習	指導の言葉かけシートを書き上げてくる			
	第4回	内容	保育活動における保育者の動き、言葉かけ、太鼓の叩き方などについて実践的に学ぶ。	予習	模擬保育で使用する準備物などを用意する			
				復習	実際の保育活動をイメージしてリハーサルを行う			
	第5回	内容	3歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りのグループディスカッションを通して保育の改善点について考える。	予習	指導のリハーサルを行う			
				復習	指導実践後の振り返りを Google フォームへ記入する。			
	第6回	内容	4歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りのグループディスカッションを通して保育の改善点について考える。	予習	身体表現遊びのウォーミングアップについて考えてくる			
				復習	本時の指導実践の振り返りをフォームに記入する。			
	第7回	内容	5歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りのグループディスカッションを通して保育の改善点について考える。	予習	5歳児の題材について考えノートにまとめる			
				復習	本時の指導実践の振り返りをノートにまとめる			
	第8回	内容	身体表現遊びの意義についてグループディスカッションし、指導法において重要な点についてまとめる	予習	身体表現遊びの意義について自分なりの考えをノートにまとめる			
				復習	指導法についてフォームへまとめ、提出する			
	第9回	内容	音楽教育の理論および保育における音楽指導の基礎を学び、その意義について理解を深める。	予習	1年後期の授業のプリントを読んでくる			
				復習	本時の内容をノートにまとめ、保育における音楽表現の重要性について記述する			
	第10回	内容	音楽指導におけるねらいの観点を理解し、達成するための指導方法を学ぶ。	予習	音楽指導の意義をふまえ、どのようなねらいが設定できるか調べる			
				復習	本時の内容をノートにまとめ、音楽活動を想定してねらいを立ててみる			
	第11回	内容	音楽教育の意義と音楽指導のねらいをふまえ、幼児期の発達段階をふまえた指導を計画し、指導案を作成する。	予習	幼児期の発達段階について理解し、各年齢に即した題材を考える			
				復習	指導案を完成させ、シミュレーションをする			
	第12回	内容	指導案をもとに3歳児の音楽指導に関する模擬保育を行い、振り返りを通して改善点を検討する。	予習	3歳児の音楽表現について理解しておく			
				復習	音楽指導振り返りと改善点をふまえ、3歳児の音楽指導案をノートにまとめる			
	第13回	内容	指導案をもとに4歳児の音楽指導に関する模擬保育を行い、振り返りを通して改善点を検討する。	予習	4歳児の音楽表現について理解しておく			
				復習	音楽指導振り返りと改善点をふまえ、4歳児の音楽指導案をノートにまとめる			
	第14回	内容	指導案をもとに5歳児の音楽指導に関する模擬保育を行い、振り返りを通して改善点を検討する。	予習	5歳児の音楽表現について理解しておく			
				復習	音楽指導振り返りと改善点をふまえ、5歳児の音楽指導案をノートにまとめる			
	第15回	内容	歌唱による鑑賞活動の模擬保育を行い、子どもに音楽表現	予習	子どもの各年齢に適した歌唱による鑑賞教材を検討し、提示の仕方考える			

			を伝える技術について検討する。	復習	模擬保育をふまえ、子どもへの歌唱表現の提示法の要点をノートにまとめる
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題返却時に評価及び課題点を記入する。 模擬保育については、仲間からの評価、教員からの評価を担当学生へフィードバックする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（40%）、発表（40%）、実技（10%）、授業態度【積極的参加、協働的な取り組み】（10%）				
教科書	『遊んで育て！表現の力ー保育で使える活動例と指導法』（塩崎みづほ・小口偉・長谷川恭子、推敲舎） 『乳幼児・児童の運動あそびと表現あそび からだとところを育む指導法』（宮下恭子編著、大学図書出版）				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）				
補足事項	身体表現の授業では、原則学校指定のジャージを着用して出席すること。 塩崎：15 回、長谷川：15 回 身体表現模擬保育ループリック評価表 https://drive.google.com/file/d/1XLgVxc8nPOU-dxn_qRdFrkw9EYs00ufK/view?usp=sharing 音楽表現模擬保育ループリック評価表 https://drive.google.com/drive/u/2/folders/1aQuPrNHfCJlrIUp00E9ENDyXsQUwr2i0				

科 目 名	幼児の運動遊び		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	しおさき 塩 崎 みづほ	
ナバ [®] リング [®] コート [®]	CHS12210		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	子どもの生活は遊びが中心にあるといわれ、遊びによって成長し、生きていくのに必要なことを真似し学んでいきます。本講義では、子どもの発育発達の特徴を理解し、それに即した運動遊びについて学び、指導法についても実践的に学びます。そこでは、グループで決めた題材を用いて、模擬保育を実践します。さらに ICT を活用し、スマートフォンやタブレット端末を使用し、コメントや評価など双方向型授業も行う。								
到 達 目 標	1. 子どもの発育発達に応じた運動遊びの意義とその内容を理解している。 2. 運動遊びの指導に必要な、ねらい、指導案の記入法、指導法について理解している。 3. 幼児教育者として自ら動ける身体づくりと、体力の維持・向上に努める力を習得している。								
学位授与方針	幼児教育学科（１・２・５ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	講義：履修上の注意事項 乳幼児期の運動遊びの意義	予習	シラバスを見て質問等を考える				
				復習	運動遊びの意義について自分の考えをまとめる				
	第 2 回	内容	鬼ごっこについて考えよう	予習	鬼ごっこの種類とルールをあげる				
				復習	鬼ごっこの意義とルールをまとめる				
	第 3 回	内容	米袋を使った遊び、身近なものを使った遊び	予習	本時に使用する米袋を作成する				
				復習	米袋や身近なものを使った遊びを、年齢ごとにまとめる				
	第 4 回	内容	フープを使った遊び	予習	フープの特性について教科書を読み考えてくる				
				復習	本時の活動を年齢ごとにまとめる				
	第 5 回	内容	縄を使った遊び	予習	縄の特性について考えてくる				
				復習	本時の活動を年齢ごとにノートにまとめる				
	第 6 回	内容	マットを使った遊び	予習	マットを使った遊びについて考えてくる				
				復習	本時の活動を年齢ごとにノートにまとめる				
	第 7 回	内容	ボールを使った遊び	予習	ボールの特性について読み深める				
				復習	ボール遊びの意義についてまとめる				
	第 8 回	内容	サーキット遊び	予習	サーキット遊びの意義について考えてくる				
				復習	自分なりのサーキットを作成する				
	第 9 回	内容	講義：運動遊びの指導について、指導案の書き方	予習	指示された箇所の教科書を読んでくる				
				復習	指導案の書き方を復習する				
	第 10 回	内容	運動遊びの指導案作成と指導言語を考える	予習	指導案を書き上げ、指導言語について考えてくる				
				復習	指導練習を行う				
	第 11 回	内容	模擬保育の実践とグループディスカッション① マットを使った遊び・ボールを使った遊び	予習	マット遊び、ボール遊びの特性と指導法について復習する				
				復習	本時の授業内容、講評をノートに記入する				
	第 12 回	内容	模擬保育の実践とグループディスカッション② 身近な用具を使った遊び・縄遊び	予習	身近なものを使った遊びや縄遊びの特性と指導法について復習する。				
				復習	本時の授業内容、講評をノートに記入する				
	第 13 回	内容	行事の企画と実践に向けての準備	予習	運動会の種目を考え、決められた課題に取り組む				
				復習	自分の担当種目についてまとめる				
	第 14 回	内容	行事のリハーサルと実践	予習	司会原稿などを覚えてくる				
				復習	本時のリハーサルと実践の振り返りをする				
	第 15 回	内容	まとめ 運動遊びの指導と行事の企画を通して学んだことについて振り返る	予習	指導を行ってきたレポート課題を仕上げる				
				復習	本時のグループ討議を踏まえ考察をノートにまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	振り返りを Google フォームにて行いその時間内に共有、次の時間においても活用する。 模擬保育についての講評は、個人へのフィードバックと全体へのフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 課題（40%）、作品（10%）、発表（20%）実技（20%）、授業態度【積極的参加、服装】（10%）							
教科書	『乳幼児・児童の運動あそびと表現あそび からだとこころを育む指導法』（宮下恭子他編著、大学図書出版）								
参考文献									
補足事項	実技の際は、指定のジャージを着用のこと。 実技のため、受講者数は 50 名までとします。								

科 目 名	幼児の音楽遊び		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	はせがわ きょうこ 長谷川 恭子
ナシバ [®] リング [®] コード [®]	CHS12212		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	領域「表現」に含まれる音楽表現の意義を理解し、乳幼児の感性や創造性を豊かにするために、音や音楽の表現について実践的に学ぶ。具体的には、音や音楽を伴う活動や遊びを体験したり、器楽や歌唱の演奏を楽しんだりすることで、保育者として必要な知識・技能を学び、豊かな感性と表現力を身に付ける。							
到 達 目 標	1. 聴く・動く・演奏するなどの様々な表現を体験することを通して、イメージを豊かにすることができる。 2. 生活の中の音環境を、様々な素材を生かして表現することができる。 3. 音を感じたり音楽を表現したりするにあたり、積極的に活動に取り組み、企画に参加することができる。 4. 他者の表現や意見を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2、3、5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション：音や音楽を楽しむことを考える	予習	領域「表現」を読んでくる			
				復習	本時の内容について記録し、考察する			
	第2回	内容	音探しの旅1：身体で音を感じる	予習	身体から出る音について考えてくる			
				復習	本時の内容について記録し、考察する			
	第3回	内容	音探しの旅2：身の回りの音の音質を捉える（グループワーク）	予習	グループワークの内容を確認し、活動の趣旨を理解してくる			
				復習	活動を振り返り、感じたことを記録し、考察する			
	第4回	内容	声によるアンサンブルの楽しみ：子どもができる声のアンサンブルをする 合唱	予習	歌の練習をする			
				復習	活動を振り返り、活動の意義を記録し、考察する			
	第5回	内容	音楽を使った遊び1：楽器を使って音を楽しむ 楽器から出る音に注目し、響きを楽しむ	予習	一般的に保育で使われている楽器の奏法を確認しておく			
				復習	活動を振り返り、保育への応用を記録し、考察する			
	第6回	内容	音楽を使った遊び2：手作り楽器でアンサンブルを作る（グループワーク）	予習	グループワークの内容を確認し、活動に必要なものを考えて用意する			
				復習	活動の振り返りを記録にし、授業で行った内容を整理する			
	第7回	内容	音楽を使った遊び3：歌を伴う遊びを経験する	予習	歌の練習をする			
				復習	活動の振り返りを記録にし、授業で行った遊びを覚える			
	第8回	内容	わらべうたによる保育の実践（外部講師）	予習	これまでに学習した幼児のわらべうたについて復習しておく			
				復習	授業を振り返り、学んだことを記録し、考察する			
	第9回	内容	音楽表現の基礎1：発表の企画（グループワーク）	予習	どのような発表ができるか考える			
				復習	活動を振り返り、感じたことを記録し、考察する			
	第10回	内容	音楽表現の基礎2：発表の練習（グループワーク）	予習	発表の内容を練習する			
				復習	活動を振り返り、感じたことを記録し、考察する			
	第11回	内容	音楽表現の基礎3：発表のリハーサル（グループワーク）	予習	前時の反省をふまえ、発表の内容を練習する			
				復習	活動を振り返り、感じたことを記録し、考察する			
	第12回	内容	音楽表現の応用1：発表内容の再検討（グループワーク）	予習	前時の反省をふまえ、改善点を考える			
				復習	活動を振り返り、感じたことを記録し、考察する			
	第13回	内容	音楽表現の応用2：発表	予習	発表に向けて練習する			
				復習	活動を振り返り、感じたことを記録し、考察する			
	第14回	内容	音楽表現の応用3：発表をふまえての振り返り（討議）	予習	発表に関わる回のノートを確認し、グループ討議の準備をする			
				復習	活動を振り返り、感じたことを記録し、考察する			
	第15回	内容	まとめ：授業をふまえて、音を楽しむとはどういうことかを考える（討議）	予習	これまでの活動についてノートを確認し、音楽表現の楽しさについてまとめておく			
				復習	保育における音楽表現の意義について考え、記録し、考察する			
予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題の提出時は、コメントを記入し返却する。 発表後は、講評を行う。							

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（20%）、作品・発表（30%）、実技（20%）、授業態度【積極的な参加】（30%）
教科書	授業時にプリントを配布する。ファイリングできるようにしておくこと。
参考文献	
補足事項	出欠も評価の対象とする。動きやすさや作業しやすさを考慮した服装で出席すること。30名程度の定員とする。

科 目 名	健 康		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	ひらやま きたほら 平 山 ・ 北 洞	
ナソバ・リング・コート	CHS12102		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	子どもにとって健康とは何かを教科書と資料から理解する。また幼稚園教育要領と保育所保育指針を参照して、健康のねらいと内容を学び、子どもの健康を現場でどのように確保促進していくかを理解する。								
到 達 目 標	1. 健康とは何かを理解している。 2. 幼稚園教育要領と保育所保育指針の領域健康のねらいと内容を理解している。 3. 年齢別の領域健康のねらいと内容の違いを理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 4, 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション。保育ビデオ（子ども達は未来）鑑賞。	予習	シラバスを読んでくる				
				復習	ビデオを見た感想をレポート提出する				
	第 2 回	内容	幼稚園と保育園の違い：歴史、役割	予習	幼稚園と保育所の成り立ちを調べる				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第 3 回	内容	健康の概念	予習	一般的な健康の考え方を調べる				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第 4 回	内容	健康に関わる基礎知識①：発育発達について	予習	教科書 p17～24 を読む				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第 5 回	内容	健康に関わる基礎知識②：運動の発達について	予習	教科書の該当箇所を読む				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第 6 回	内容	幼稚園教育要領総則について	予習	幼稚園教育要領の総則を読む				
				復習	まとめの資料を読んで内容を理解する				
	第 7 回	内容	幼稚園教育要領の領域健康について	予習	幼稚園教育要領領域健康のねらいと内容を読む				
				復習	まとめの資料を読んで内容を理解する				
	第 8 回	内容	保育所保育指針第 1 章総則について	予習	保育所保育指針第 1 章総則を読む				
				復習	まとめの資料を読んで内容を理解する				
	第 9 回	内容	保育所保育指針第 2 章乳児保育のねらいと内容	予習	保育所保育指針第 2 章乳児保育のねらいと内容を読む				
				復習	まとめの資料を読んで内容を理解する				
	第 10 回	内容	保育所保育指針第 2 章 1 歳～3 歳、3 歳以上の保育のねらいと内容	予習	保育所保育指針第 2 章 1 歳～3 歳、3 歳以上の保育のねらいと内容を読む				
				復習	まとめの資料を読んで内容を理解する				
	第 11 回	内容	子どものからだのおかしさについて I（実感調査より）	予習	子どもの体のおかしさを調べる				
				復習	資料を読み内容を理解する				
	第 12 回	内容	子どものからだのおかしさについて II（前頭葉の 4 タイプ）	予習	前頭葉について調べる				
				復習	資料を読み内容を理解する				
	第 13 回	内容	食育について	予習	食育について教科書の該当箇所を読む				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第 14 回	内容	アレルギーについて	予習	アレルギーの教科書の該当箇所を読む				
				復習	授業内容をノートにまとめる				
	第 15 回	内容	保育映画鑑賞（風のなかで）	予習	14 回の授業内容を復習する				
				復習	映画を観た感想をレポート提出する				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題は Google クラスルームの Google ドキュメントで提出し、その評価とコメントでフィードバックする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（20%）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【 積極性 】（10%）							
教科書	「乳幼児の健康～教育・保育に向けた計画と実践～」（宮下恭子・若井香保里・平山素子編、大学図書出版）								
参考文献	「限界を超える子どもたちー脳・身体・障害への新たなアプローチ」（アナット・パニエル、太郎次郎社エディダス）								
注意事項	リモート授業アプリの Google クラスルームを使える環境を整えること								

科 目 名	人間関係		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	まるはし さとみ 丸 橋 聡美
ナシバ [®] リング [®] コード [®]	CHS12103		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身につける。領域「人間関係」の指導基盤となる基礎理論として関係発達論的視点について学び、他者との関係や集団との関係のなかで人と関わる力が育つことを理解する。							
到 達 目 標	1. 幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解している。 2. 園生活における幼児期の人間関係の発達について理解している。 3. 遊びのなかで育つ人との関わりの発達について、乳幼児との関係、保育者との関係、集団のなかでの育ちを観点として説明できる。 4. 自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、それぞれの育ちについて子どもの発達の姿と合わせて説明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1. 2. 3. 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション、現代社会と幼児の人間関係①幼児期の生活経験（グループワーク）	予習	講義内容を読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	現代社会と幼児の人間関係①現代の幼児の生活（グループワーク）	予習	子どもの定義を考える			
				復習	人間関係の広義を理解する			
	第 3 回	内容	現代社会と子どもの人間関係②幼稚園と保育園の子どもたち（ICT の活用）	予習	幼稚園・保育園について調べておく			
				復習	保育の基本をまとめる			
	第 4 回	内容	3 歳未満児の人間関係の発達①0 歳児	予習	子どもの発達を調べておく			
				復習	0 歳児の関わりの発達をまとめる			
	第 5 回	内容	3 歳未満児の人間関係の発達②1・2 歳児	予習	1.2 歳児の発達を調べておく			
				復習	1.2 歳児の人との関わりの発達をまとめる 小テストの内容を確認する①			
	第 6 回	内容	3 歳以上児の人間関係の発達①3 歳児	予習	3 歳児の発達を調べておく			
				復習	小テストの内容を復習する①			
	第 7 回	内容	3 歳以上児の人間関係の発達②4・5 歳児	予習	4.5 歳児の発達を調べておく			
				復習	小テストの内容を確認する②			
	第 8 回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係①乳幼児と遊び（ICT 活用）	予習	子どもの遊びを調べる			
				復習	小テストの内容を復習する②			
	第 9 回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係②個の育ち	予習	事例プリントを読む			
				復習	小テストの内容を確認する③			
	第 10 回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係③集団での育ち（グループワーク）	予習	集団の形成について調べる			
				復習	小テストの内容を復習する③			
	第 11 回	内容	乳幼児期の自立心の育ち	予習	子どもの心の発達を調べる			
				復習	小テストの内容を確認する④			
	第 12 回	内容	幼児期の協同性の育ち	予習	事例を読んでおく			
				復習	小テストの内容を復習する④			
	第 13 回	内容	幼児期の道徳性・規範意識の芽生えと育ち	予習	自身の事例をあげる			
				復習	小テストの内容を確認する⑤			
	第 14 回	内容	乳幼児を取り巻く人間関係（家庭・地域など）の関わりと育ち	予習	身の周り（地域・家族）の事例を考える			
				復習	小テストの内容を復習する⑤			
	第 15 回	内容	乳幼児期の人間関係のひろがる場と関係性、まとめ	予習	乳幼児期の人間関係、関係性について考える			
				復習	乳幼児期の人間関係についてまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	課題や事例についての解説や説明を行う。小テストのなかで授業内容を再確認する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（40%）、課題（20%）、小テスト（20%）、授業態度【積極的な取り組み】（20%）							
教科書	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』、配布プリント資料等							
参考文献	なし							
補足事項								

科 目 名	人間関係		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	いまい ゆみ 今井 由美	
ナンバリングコード	CHS12103		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	現代社会における諸問題を踏まえ、乳幼児の人間関係の育ちの基本や目的について理解し、乳幼児教育で保障すべき内容に関する知識を身につける。領域「人間関係」の指導基盤となるよう関係論的発達過程についても学び、他者や集団を通して人と関わる力が育つことを理解する。								
到 達 目 標	1． 乳幼児期の人間関係における現代的課題を理解している 2． 乳幼児の人間関係の発達について理解している 3． 乳幼児の人間関係を育むための知識を身につけている								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション / 人間関係を学ぶとは	予習	自身の人間関係を振り返っておく				
				復習	人間関係を学ぶ目的を理解する				
	第2回	内容	現代社会における保育と人間関係	予習	現代社会における諸問題を調べておく				
				復習	現代社会における人間関係の課題を整理する				
	第3回	内容	人間関係からみる乳幼児教育の基本	予習	乳幼児の生活をイメージしておく				
				復習	保育における人間関係の広がりを理解する				
	第4回	内容	人間関係からみる発達過程① 乳児	予習	乳児の発達過程を調べておく				
				復習	乳児の発達過程を整理する				
	第5回	内容	人間関係からみる発達過程② 幼児	予習	幼児の発達過程を調べておく				
				復習	乳幼児の発達過程を整理し理解する				
	第6回	内容	遊びの中での人との関わり① 遊びの広がり	予習	乳幼児の遊びをイメージしておく				
				復習	遊びながら学ぶことを理解する				
	第7回	内容	遊びの中での人との関わり② 遊びと人間関係	予習	遊びから生まれる人間関係を考えておく				
				復習	遊びながら人と関わる力が育つことを理解する				
	第8回	内容	遊びの中での人との関わり③ 遊びと援助支援	予習	乳幼児の遊びへの関わり方をイメージしておく				
				復習	人間関係を育むための援助方法を整理する				
	第9回	内容	人との関わりの基盤① 自立心の育ち（グループワーク）	予習	保育でみられる自立場面をイメージしておく				
				復習	ディスカッション内容を整理する				
	第10回	内容	人との関わりの基盤② 協同性の育ち	予習	保育でみられる協同場面をイメージしておく				
				復習	人間関係を通して協同性が育つことを理解する				
	第11回	内容	人との関わりの基盤③ 道徳性・規範意識	予習	幼児にとっての道徳性・規範意識を調べておく				
				復習	人間関係を通しての道徳性の育ちを理解する				
	第12回	内容	保育者としての役割① 家庭や社会との関わり	予習	家庭との関わりをイメージする				
				復習	家庭との関わりの必要性を理解する				
	第13回	内容	保育者としての役割② 小学校との関わり	予習	小学校での生活をイメージする				
				復習	小学校との連携の重要性を整理する				
	第14回	内容	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿	予習	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿を調べる				
				復習	指針や要領を踏まえながら整理する				
	第15回	内容	幼児期に育みたい資質・能力	予習	幼児期に育みたい資質・能力を調べておく				
				復習	小学校との連携を考えながら理解する				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題・小テストは、添削して返却し、解説を行う。 グループワークは、発表後に講評を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 40 %）、レポート・課題（ 30 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（ 30 %）							
教科書	なし								
参考文献	『保育所保育指針』（厚生労働省） 『幼稚園教育要領』（文部科学省） 『人間関係』（高杉自子・岸井慶子、東京書籍） 『事例で学ぶ保育内容 領域人間関係』（無藤隆・岩立京子、萌文書林）								
補足事項									

科 目 名	環 境		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	なかむら よういち 中 村 陽 一	
ナバリングコート	CHS12104		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	子どもは家庭・保育所・幼稚園・地域社会などの「環境」の中で生活し、その体験を通じて、人格形成の基礎となる豊かな心情、思考力や想像力、意欲や態度などが培われる。本講義は、幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「環境」の内容を理解し、保育者に求められる援助について理解することを目的とする。								
到 達 目 標	1. 子どもの成長にとって望ましい自然体験と保育者の適切な援助方法について理解している。 2. 「環境を通した保育」の意義と、保育者の援助について、自分の考えを述べることができる。 3. 自然と生命を尊重する態度を身につけ、子どもに伝えることができる。 4. 保育内容「環境」と小学校「生活科」の連続性について理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（1.2.3.4）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育と環境－「環境を通して行う保育」の特質、子どもの発達と環境との関わり	予習	幼稚園教育要領 第 1 章を読む。				
				復習	「環境を通して行う保育」についての課題				
	第 2 回	内容	領域「環境」のねらいと内容－「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」。	予習	教科書 1～8p を読む。				
				復習	領域「環境」の概要についての課題				
	第 3 回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（保育室、園舎）。	予習	教科書 11～15p を読む。				
				復習	傾斜室の環境に関する課題				
	第 4 回	内容	子どもの生活と物的環境②－保育の環境構成（園庭）。	予習	教科書 27～31p を読む。				
				復習	園庭の環境に関する課題				
	第 5 回	内容	子どもの生活と自然環境①－子どもを取り巻く自然環境	予習	教科書 45～47p を読む。				
				復習	幼稚園教育要領解説 195p を読む。				
	第 6 回	内容	子どもの生活と自然環境②－自然環境と保育実践（自然への気づき・季節感）	予習	教科書 47～54p を読む。				
				復習	幼稚園教育要領解説 197p を読む。				
	第 7 回	内容	子どもの生活と自然環境③－動物との関わり、飼育動物の特徴と配慮	予習	教科書 54～57p を読む。				
				復習	幼稚園教育要領解説 66. 67p を読む。				
	第 8 回	内容	子どもの生活と自然環境④－植物の関わり、栽培植物の特徴と配慮、実践例	予習	教科書 57～58p を読む。				
				復習	幼稚園教育要領解説 199p を読む。				
	第 9 回	内容	子どもの生活と社会①－社会環境と地域性、情報化と保育	予習	教科書 61～67p を読む。				
				復習	幼稚園教育要領解説 205p を読む。				
	第 10 回	内容	子どもの生活と社会環境②－情報と生活、伝統的な行事との関わり、地域や施設との関わり	予習	教科書 67～75p を読む。				
				復習	幼稚園教育要領解説 200 p を読む。				
	第 11 回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と数、子どもの生活と文字	予習	教科書 77～84p を読む。				
				復習	幼稚園教育要領解説 203 p を読む。				
	第 12 回	内容	数量や文字に関する取り扱い②－小学校教育とのつながり	予習	教科書 84～91p を読む。				
				復習	幼稚園教育要領解説 212 p を読む。				
	第 13 回	内容	小学校教育への連続性－保育内容「環境」と小学校教育の「生活科」「総合学習」への連続性	予習	教科書 93～99p を読む。				
				復習	小学校「生活科」についての課題				
	第 14 回	内容	保育内容「環境」に関わる教育思想の変遷－ペスタロッチ・フレーベル・オウエン・倉橋惣三など。	予習	配布された資料を読む				
				復習	環境を通した保育思想についてまとめる。				
	第 15 回	内容	グループ討論と発表。 授業の振り返りとまとめ	予習	教科書 123～126p を読む。				
				復習	「環境を通して行う保育」についてレポートを作成する。				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題に対するフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ %）							
教科書	『保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領/幼稚園教育要領』（文部科学省・厚生労働省・内閣府、チャイルド本社） 『コンパス 保育内容 環境』（高橋貴志・目良秋子編、建帛社）								
参考文献	なし								
補足事項	必要に応じて、授業の終わりに小レポートを提出する。								

科 目 名	言 葉		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	いざわ えいしゅう 伊澤 永 修
ナパ・リング・コート*	CHS12105		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	人が社会の中で生活するために必要な言葉の意義や機能、乳幼児の言葉の発達過程、言葉の楽しさや美しさなどを映像や事例を通して具体的に学ぶ。また、保育の中で効果的に活用できるように、児童文化財についての教材研究を行い、また、実際に演じることで保育への活かし方について体験的に学ぶ。							
到 達 目 標	1. 「言葉」の意義や機能について理解している 2. 乳幼児の言葉の発達過程について理解している 3. 領域「言葉」のねらいや内容に基づく保育内容について理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1、2、5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 自己紹介文章作成及び実施を通して効率的な言葉による伝達方法について理解する。	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得できる内容について理解する			
	第 2 回	内容	幼児教育の根幹及び育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿についてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る			
	第 3 回	内容	幼児教育における非認知能力について及び用語と教育の一体性についてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る			
	第 4 回	内容	幼児期にふさわしい保育とは何か、子どもの発達を促すとは何かについてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る			
	第 5 回	内容	遊びを通しての総合的な指導と一人一人の発達に合わせた指導についてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る			
	第 6 回	内容	保育者の様々な役割についてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る			
	第 7 回	内容	乳幼児期の発達とことばについて理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る			
	第 8 回	内容	乳幼児期のことばの発達と大人の存在と言葉の発達を捉える視点についてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る			
	第 9 回	内容	児童文化財について理解する	予習	児童文化財について下調べをしてまとめておく			
				復習	児童文化財について理解した上で、保育への活用方法を考える			
	第 10 回	内容	言葉の働きや役割及び言葉と文化の関係性を理解する	予習	言葉と文化について下調べをしておく			
				復習	言葉の働きや役割、言葉と文化の関係性などについてまとめる			
	第 11 回	内容	身振り手振りを使つてのグループワークを通して言葉の機能について理解する	予習	言葉の働きや役割について振り返りをしておく			
				復習	グループワークで体験したことを振りかえりながら改めて言葉の機能について理解を深める			
	第 12 回	内容	日本語の美しさと魅力について理解する	予習	美しい日本語や美しくない日本語など普段使っている言葉について振り返りを行う			
				復習	美しい言葉や魅力的な言葉を子どもたちに伝えられる保育内容について考える			
	第 13 回	内容	乳幼児期のことばの発達を映像視聴から理解を深める（前半）	予習	これまで学んだ乳幼児のことばの発達について振り返りをしておく			
				復習	映像から理解できたことをこれまで学習してきたことと照らし合わせて理解を深める			
	第 14 回	内容	乳幼児期のことばの発達を映像視聴から理解を深める（後半）	予習	これまで学んだ乳幼児のことばの発達について振り返りをしておく			
				復習	映像から理解できたことをこれまで学習してきたことと照らし合わせて理解を深める			
	第 15 回	内容	オノマトペについての理解する	予習	オノマトペについての下調べをしておく			
				復習	効果的なオノマトペの使い方についてまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。。							

課題へのフィードバック	提出物に関する評価を行い、返却時に解説する。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（60％）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【参加度合】（40％）
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『事例で学ぶ保育内容』 無藤隆監修 萌文書林
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館
補足事項	

科 目 名	造形表現		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	とよはずみ なおみ 豊 泉 尚美
ナシバ・リングコート	CHS12106		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（							

科 目 名	音楽・身体表現		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	しおぎき はせがわ 塩 崎 ・ 長 谷 川
ナンバリングコード	CHS12107		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	領域「表現」における音楽・身体表現の指導法に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや環境について実践的に学ぶとともに、保育者として必要な知識・技能を学び、豊かな感性と表現力を身に付ける。また、ICT を活用し、スマートフォンやタブレット端末を使用し、コメントや評価など双方向型授業も行う。							
到 達 目 標	1.見る・聴く・動くなどの様々な表現を楽しむことを通して、イメージを豊かにすることができている。 2.生活の中での出来事を、様々な素材を生かして表現することができる。 3.それぞれの表出・表現を受け止め、表現する過程を工夫し、より楽しめるよう発展させることができている。 4.他者を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・2・5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	「表現とは」 領域「表現」のねらい及び内容について理解する	予習	領域「表現」のねらいの箇所を読んでくる			
				復習	本時の内容についてノートにまとめる			
	第 2 回	内容	「乳幼児の表現」 保育者として受け止める視点についてグループ討議し、その大切さについて考える。	予習	乳幼児期の表現の特徴について、調べる			
				復習	グループ討議やまとめの内容をノートまとめる			
	第 3 回	内容	「身体表現とは」 豊かな表現を引き出すための保育者の役割や、題材について討議する。	予習	身体表現遊びの題材について調べてくる			
				復習	身体表現の題材についてまとめる			
	第 4 回	内容	「童謡」や「歌遊び」を題材とした身体表現遊びの実技の実践とまとめ	予習	身体表現へ用いることのできる「歌遊び」を2つ探してくる			
				復習	本時の活動を発達ごとにノートにまとめる			
	第 5 回	内容	「絵本と身体表現」 絵本を題材とした身体表現遊びの実技を通して、展開についてグループ討議する。	予習	身体表現に利用できる絵本を探してくる			
				復習	気に入った絵本で身体表現遊びの活用についてまとめる			
	第 6 回	内容	「自然と身体表現」 自然を題材とした身体表現遊びの実技を通して、展開についてグループ創作・発表、討議をする。発表作品を動画で撮影する。	予習	自然観察し、動きに用いることのできる対象物を選び動画、写真などに撮影してくる			
				復習	本時の発表作品を動画にまとめる。			
	第 7 回	内容	「生活の中での身体表現」 生活を題材とした身体表現遊びの実技を通して、豊かな表現活動の展開の可能性についてグループ討議する。	予習	生活の中での身表現の題材について考えてくる			
				復習	本時の活動を発達ごとにノートにまとめ、考察する			
	第 8 回	内容	「ICTを使った身体表現」 ICTを活用した表現方法について実践し、生かし方・工夫について話し合い、まとめる。	予習	ICTの意味について調べ活用方法について考えてくる			
				復習	活用の仕方、操作の仕方の練習をする			
	第 9 回	内容	音楽の応用 1 多様な音楽表現の方法	予習	授業で指示した資料を確認する			
				復習	経験した音楽表現法を記録し振り返りをする			
	第 10 回	内容	音楽の応用 2 アレンジによる音楽表現の応用	予習	コードネームについて確認する			
				復習	経験した音楽表現法を記録し振り返りをする			
	第 11 回	内容	音楽表現の展開 1 幼児の豊かな表現力と音楽的な資質・能力を養うための教材選択	予習	授業で指示した資料を確認する			
				復習	教材選択の観点について考察し記録する			
	第 12 回	内容	音楽表現の展開 2 童謡を用いた総合的な表現活動の展開	予習	授業で支持した課題に取り組む			
				復習	経験した総合的な表現活動について記録する			
	第 13 回	内容	音楽と身体表現の出会い 音と体を使って表現を楽しむ、工夫する	予習	発表の題材について考えてくる			
				復習	本時の内容をまとめ、次時の課題を考えてくる			
	第 14 回	内容	様々な表現方法を用いて 様々な表現を集めて小作品を創作する	予習	音楽、動きについて考えてくる			
				復習	発表作品の練習課題についてまとめる			
	第 15 回	内容	学習のまとめを発表する	予習	発表作品の練習をする			
				復習	ノートのまとめをし、考察する			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	ノートや課題提出の際は、コメントを記入し返却する。 発表後は、講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、実技（20%）、授業態度【積極的参加、出席状況】（20%）							

教科書	『遊んで育て！表現の力ー保育で使える活動例と指導法』（塩崎みづほ・小口偉・長谷川恭子、推敲舎）
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『乳幼児・児童の運動あそび・表現あそび からだとところを育む指導法』（宮下恭子編著、大学図書出版）
補足事項	身体表現の授業では、学校指定のジャージを着用のこと。 塩崎（15回）、長谷川（15回）

科 目 名	音楽Ⅰ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	しかと かずのり 鹿戸 一範 他	
ナンバリングコード	EDS12101		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	この授業では、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、楽典をはじめとする音楽に関する基礎的な知識や理論、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を組み合わせた形で行う。ピアノ個人レッスンとクラス授業を各 45 分受講する。								
到 達 目 標	1. 基礎的な練習曲を学習することで、保育現場で求められるピアノ演奏技術を修得している。 2. 幼稚園・保育所実習や保育現場での実践に対応できるよう、こどものうたの弾き歌いができる。 3. 保育の中の音楽に必要な楽典やソルフェージュへの理解を深めることによって、楽譜の読み書きができ、自らの力でピアノ演奏することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1.2.5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	事前にシラバスを読んでおく				
			授業内容、進め方について	復習	この科目で学ぶ内容を確認しておく				
	第2回	内容	ハ長調の和音・分散和音の伴奏形① 大学ピアノ教本 No. 1～8	予習	大学ピアノ教本 No. 1～8 の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 1～8 の復習				
	第3回	内容	分散和音の伴奏形②・③ 大学ピアノ教本 No. 9～16	予習	大学ピアノ教本 No. 9～16 の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 9～16 の復習				
	第4回	内容	分散和音の伴奏形④ 4分音符と8分音符 大学ピアノ教本 No. 17～24	予習	大学ピアノ教本 No. 17～24 の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 17～24 の復習				
	第5回	内容	ハ長調の下属和音 大学ピアノ教本 No. 25～26	予習	大学ピアノ教本 No. 25～26 の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 25～26 の復習				
	第6回	内容	ヘ長調の主和音・下属和音・属和音 大学ピアノ教本 No. 27～32	予習	大学ピアノ教本 No. 27～32 の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 27～32 の復習				
	第7回	内容	ト長調の主和音・下属和音・属和音 大学ピアノ教本 No. 33～38	予習	大学ピアノ教本 No. 33～38 の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 33～38 の復習				
	第8回	内容	中間発表会（個人発表） いろいろな伴奏形①～④ 大学ピアノ教本 No. 39～42	予習	大学ピアノ教本 No. 39～42 の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 39～42 の復習				
	第9回	内容	高い音の練習 大学ピアノ教本 No. 43～46	予習	大学ピアノ教本 No. 43～46 の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 43～46 の復習				
	第10回	内容	3/8拍子と6/8拍子 大学ピアノ教本 No. 47～48 生活のうたの弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No. 47～48 他の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 47～48 他の復習				
	第11回	内容	付点4分音符を用いたリズム 大学ピアノ教本 No. 49～54 生活のうたの弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No. 49～54 他の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 49～54 他の復習				
	第12回	内容	ハ長調の音階 大学ピアノ教本 No. 55～58 生活のうたの弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No. 55～58 他の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 55～58 他の復習				
	第13回	内容	ヘ長調の音階 大学ピアノ教本 No. 59～61 生活のうたの弾き歌い④	予習	大学ピアノ教本 No. 59～61 他の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 59～61 他の復習				
	第14回	内容	ト長調の音階 大学ピアノ教本 No. 62～67 生活のうたの弾き歌い⑤	予習	大学ピアノ教本 No. 62～67 他の予習				
				復習	大学ピアノ教本 No. 62～67 他の復習				
	第15回	内容	これまでの授業のまとめと発表	予習	発表曲の予習				
				復習	指導を受けた点を復習する				
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（％）、作品・発表（30％）、実技（60％）、授業態度〔積極的な取り組み〕（10％）							
教科書	『教職課程のための大学ピアノ教本』（大学音楽教育研究グループ、教育芸術社） 『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』（小林美実 他、チャイルド本社）								
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。								
補足事項									

科 目 名	音 楽Ⅱ			単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	しか と かずのり 鹿 戸 一 範 他
ナンバリングコード	EDS12102			授業形態	演 習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	この授業では、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、楽典をはじめとする音楽に関する基礎的な知識や理論、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を組み合わせた形で行う。ピアノ個人レッスンとクラス授業を各 45 分受講する。								
到 達 目 標	1．基礎的な練習曲を学習することで、保育現場で求められるピアノ演奏技術を修得している。 2．幼稚園・保育所実習や保育現場での実践に対応できるよう、こどものうたの弾き歌いができる。 3．保育の中の音楽に必要な楽典やソルフェージュへの理解を深めることによって、楽譜の読み書きができ、自らの力でピアノ演奏することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1.2.5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	臨時記号と半音階 大学ピアノ教本 No.68～69 季節のうた（春）弾き歌い①	予 習	大学ピアノ教本 No.68～69 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.68～69 他の復習				
	第 2 回	内容	16 分音符を用いたリズム 大学ピアノ教本 No.70～72 季節のうた（春）弾き歌い②	予 習	大学ピアノ教本 No.70～72 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.70～72 他の復習				
	第 3 回	内容	イ短調の主要三和音 大学ピアノ教本 No.73～76 季節のうた（春）弾き歌い③	予 習	大学ピアノ教本 No.73～76 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.73～76 他の予習				
	第 4 回	内容	6 度・3 度の重音 大学ピアノ教本 No.77～78 季節のうた（夏）弾き歌い①	予 習	大学ピアノ教本 No.77～78 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.77～78 他の復習				
	第 5 回	内容	3 連符 大学ピアノ教本 No.79～80 季節のうた（夏）弾き歌い②	予 習	大学ピアノ教本 No.79～80 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.79～80 他の復習				
	第 6 回	内容	へ長調よりへ長調への転調 大学ピアノ教本 No.81 季節のうた（夏）弾き歌い③	予 習	大学ピアノ教本 No.81 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.81 他の復習				
	第 7 回	内容	3 度の重音と 8 度の跳躍 大学ピアノ教本 No.82 季節のうた（秋）弾き歌い①	予 習	大学ピアノ教本 No.82 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.82 他の復習				
	第 8 回	内容	弱起の曲 大学ピアノ教本 No.83～84 中間発表会（個人発表）	予 習	大学ピアノ教本 No.83～84 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.83～84 他の復習				
	第 9 回	内容	ニ長調・ニ短調の主要三和音 大学ピアノ教本 No.85～86 季節のうた（秋）弾き歌い③	予 習	大学ピアノ教本 No.85～86 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.85～86 他の復習				
	第 10 回	内容	装飾音 大学ピアノ教本 No.87～90 季節のうた（冬）弾き歌い①	予 習	大学ピアノ教本 No.87～90 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.87～90 他の復習				
	第 11 回	内容	複付点音符 大学ピアノ教本 No.91 季節のうた（冬）弾き歌い②	予 習	大学ピアノ教本 No.91 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.91 他の復習				
	第 12 回	内容	大学ピアノ教本 No.92～94 季節のうた（冬）弾き歌い③	予 習	大学ピアノ教本 No.92～94 他の予習				
				復 習	大学ピアノ教本 No.92～94 他の復習				
	第 13 回	内容	マーチ、その他① 大学ピアノ教本 No.95～98	予 習	マーチ曲（大学ピアノ教本 No.95～98）の予習				
				復 習	マーチ曲（大学ピアノ教本 No.95～98）の復習				
	第 14 回	内容	マーチ、その他② 大学ピアノ教本 No.99～102 園生活のうたの発表 その 1	予 習	マーチ曲（大学ピアノ教本 No.99～）の予習				
				復 習	マーチ曲（大学ピアノ教本 No.99～）の復習				
	第 15 回	内容	これまでのまとめと演奏発表	予 習	発表曲の予習				
				復 習	発表曲の復習				
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、作品・発表（30%）、実技（60%）、授業態度〔積極的な取り組み〕（10%）								
教科書	『教職課程のための大学ピアノ教本』（大学音楽教育研究グループ、教育芸術社） 『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた 100』（小林美実 他、チャイルド本社）								
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。								
補足事項									

科 目 名	音楽Ⅲ		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	しかと かずのり 鹿戸 一 範 他	
ナソ・リンク・コート	EDS12201		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）								
授 業 の 内 容	音楽Ⅰ、音楽Ⅱで学んだ子どもの音楽活動を支える基礎技能をもとに、さらに高度なピアノ演奏技術を修得し、教育実習や保育所実習、採用試験で重要視されるこどもの歌の弾き歌いを中心に学ぶ。クラスを担当する複数の教員より指導を受ける。								
到 達 目 標	1. 音楽Ⅰ、音楽Ⅱで身につけた知識、ピアノ演奏技術を深め、教育実習や保育現場での実践に対応できるよう、より多くのこどものうたの弾き歌いができている。 2. コードネームを用いた楽譜から、簡単な伴奏付けをすることができている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1.2.5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	事前にシラバスを読んでおく				
				復習	この科目で学ぶ内容を確認しておく				
	第2回	内容	園生活のうた 弾き歌い① 「おはよう」「おはようのうた」他	予習	「おはよう」「おはようのうた」の予習				
				復習	「おはよう」「おはようのうた」を復習				
	第3回	内容	園生活のうた 弾き歌い② 「おべんとう」「おかえりのうた」他	予習	「おべんとう」「おかえりのうた」の予習				
				復習	「おべんとう」「おかえりのうた」の復習				
	第4回	内容	園生活のうた 弾き歌い③ 「さよならのうた」「おかたづけ」「おむねをはりましょ」	予習	「さよならのうた」の予習				
				復習	「さよならのうた」の復習				
	第5回	内容	季節のうた 4月① 他 「あくしゅでこんにちは」「せんせいとおともだち」	予習	「あくしゅでこんにちは」他の予習				
				復習	「せんせいとおともだち」他の復習				
	第6回	内容	季節のうた 4月② 「チューリップ」「ちょうちょう」 小グループに分かれて弾き歌いの発表	予習	「チューリップ」「ちょうちょう」他の予習				
				復習	「ちょうちょう」「めだかの学校」他の復習				
	第7回	内容	季節のうた 5月① 「こいのぼり」「手をたたきましょう」他	予習	「手をたたきましょう」「こいのぼり」他の予習				
				復習	「手をたたきましょう」「こいのぼり」他の復習				
	第8回	内容	季節のうた 5月② 「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他	予習	「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他の予習				
				復習	「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他の復習				
	第9回	内容	季節のうた 6月① 「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」他	予習	「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」の予習				
				復習	「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」の復習				
	第10回	内容	季節のうた 6月②「とけいのうた」「すてきなパパ」 小グループに分かれて弾き歌いの発表	予習	「とけいのうた」「すてきなパパ」他の予習				
				復習	「とけいのうた」「すてきなパパ」他の復習				
	第11回	内容	季節のうた 7・8月① 「たなばたさま」「うみ」「アイスクリームのうた」他	予習	「たなばたさま」「うみ」の予習				
				復習	「たなばたさま」「うみ」の復習				
	第12回	内容	季節のうた 7・8月② 「おぼけなんてないさ」「シャボン玉」他	予習	「おぼけなんてないさ」「シャボン玉」他の予習				
				復習	「おぼけなんてないさ」「シャボン玉」他の復習				
	第13回	内容	あそびのうた① 「グーチョキパーでなにつくろう」他	予習	「グーチョキパーでなにつくろう」他の予習				
				復習	「グーチョキパーでなにつくろう」他の復習				
	第14回	内容	あそびのうた② 「とんとんとんとんひげじいさん」他	予習	「とんとんとんとんひげじいさん」他の予習				
				復習	「とんとんとんとんひげじいさん」他の復習				
	第15回	内容	これまでのまとめと演奏発表	予習	課題曲の予習				
				復習	課題曲の復習				
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 70 %）、実技（ %）、授業態度〔積極的な取り組み〕（ 30 %）							
教科書	『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』（小林美実 他、チャイルド本社）								
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。								
補足事項									

科 目 名	音楽Ⅳ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	しかと かずのり 鹿戸 一範 他	
ナバリングコード*	EDS12202		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）								
授 業 の 内 容	音楽Ⅰ～Ⅲで学んだ内容をもとに、子どもの音楽活動を支える基礎技能として、さらに高度なピアノ演奏技術を修得し、教育実習や保育所実習、採用試験で重要視されるこどもの歌の弾き歌いを中心に学ぶ。クラスを担当する複数の教員より指導を受ける。								
到 達 目 標	1. 音楽Ⅰ～Ⅲで身につけた知識、ピアノ演奏技術を深め、教育実習や保育現場での実践に対応できるよう、より多くのこどものうたの弾き歌いができている。 2. コードネームを用いた楽譜から、簡単な伴奏付けをすることができている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1.2.5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第1回	内容	季節のうた 9月① 「とんぼのめがね」「つき」「大きなくりの木の下で」他	予習	「とんぼのめがね」「つき」他の予習				
				復習	「とんぼのめがね」「つき」他の復習				
	第2回	内容	季節のうた 9月② 「きらきら星」「どんぐりころころ」他	予習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の予習				
				復習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の復習				
	第3回	内容	季節のうた 10月① 「やきいもグーチーパー」「きのこ」他	予習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の予習				
				復習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の復習				
	第4回	内容	季節のうた 10月② 「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」他	予習	「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」の予習				
				復習	「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」の復習				
	第5回	内容	季節のうた 11月① 「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」他	予習	「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」の予習				
				復習	「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」の復習				
	第6回	内容	季節のうた 11月② 「タヤけこやけ」「たきび」「こぎつね」他	予習	「タヤけこやけ」「たきび」他の予習				
				復習	「タヤけこやけ」「たきび」他の復習				
	第7回	内容	季節のうた 12月① 「あわてんぼうのサンタクロース」他	予習	「あわてんぼうのサンタクロース」他の予習				
				復習	「あわてんぼうのサンタクロース」他の復習				
	第8回	内容	季節のうた 12月② 「ジングルベル」「サンタクロース」他	予習	「ジングルベル」他の予習				
				復習	「ジングルベル」他の復習				
	第9回	内容	季節のうた 1月① 「お正月」「雪」他	予習	「お正月」「雪」他の予習				
				復習	「お正月」「雪」他の復習				
	第10回	内容	季節のうた 1月② 「雪のこぼうず」「雪のペンキやさん」他	予習	「雪のこぼうず」「雪のペンキやさん」他の予習				
				復習	「雪のこぼうず」「雪のペンキやさん」他の復習				
	第11回	内容	季節のうた 2月① 「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他	予習	「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他の予習				
				復習	「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他の復習				
	第12回	内容	季節のうた 2月② 「春がきた」「どこかで春が」他	予習	「春がきた」「どこかで春が」他の予習				
				復習	「春がきた」「どこかで春が」他の復習				
	第13回	内容	季節のうた 3月① 「うれしいひなまつり」「思い出のアルバム」他	予習	「うれしいひなまつり」他の予習				
				復習	「思い出のアルバム」他の復習				
	第14回	内容	季節のうた 3月② 「さよならばこたちのほいくえん」「一年生になったら」	予習	「一年生になったら」他の予習				
				復習	「さよならばこたちのほいくえん」他の復習				
	第15回	内容	これまでのまとめと演奏発表	予習	コードネームについての予習				
				復習	コードネームを用いた伴奏の練習				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 70 %）、実技（ %）、授業態度〔積極的な取り組み〕（ 30 %）							
教科書	『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた 100』（小林美実 他、チャイルド本社）								
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。								
補足事項									

科 目 名	教育社会学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子	
ナンバリングコード	SOE12101		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	教育に関するさまざまな問題がメディアを通して伝えられ議論がなされていますが、現代教育が抱えるさまざまな事柄を社会学的な視点で捉え直していこうと思います。これまで当たり前と思ってきた教育の実態や学校のシステムについて、再度考え直し見つめ直していくための視点を提供し、今後においてより良くしていくためにはどうすればよいかを共に考えていきたいと思います。								
到 達 目 標	1．いじめ自殺などについて、自分なりの見解を説明できる 2．ジェンダーをめぐる問題について、自分なりの考えを説明できる 3．子どもを取り巻く環境について説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・3・5 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション：諸注意と必要事項について	予習	教育問題について調べてまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 2 回	内容	教育社会学をまなぶこととは何かについて知る	予習	教育社会学について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 3 回	内容	日本における学校教育の現状	予習	気になる学校での出来事についてまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 4 回	内容	いじめ自殺について考える	予習	いじめについて調べまとめておく				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	第 5 回	内容	登校拒否と不登校について考える	予習	登校拒否と不登校について調べまとめる				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 6 回	内容	学級崩壊について考える	予習	学級について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 7 回	内容	学歴社会の実像と虚像	予習	学歴社会について調べまとめておく				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	第 8 回	内容	グローバル化と教育	予習	グローバル化について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 9 回	内容	カリキュラムと学力	予習	カリキュラムについて調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 10 回	内容	学校の中のジェンダーについて考える	予習	ジェンダーについて調べまとめておく				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	第 11 回	内容	メディア社会と教育について考える	予習	メディアについて調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 12 回	内容	生徒―教師の関係について考える	予習	学校用語について調べまとめておく				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	第 13 回	内容	幼児教育の普及と早期化について考える	予習	早期教育について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第 14 回	内容	日本の学校の今後のあり方について考える	予習	自分の理想とする学校像についてまとめておく				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	第 15 回	内容	まとめ	予習	いままで理解したことをまとめておく				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	小テストを実施するなどをして、学生の理解度をその都度把握していこうと思います。調べるべき事柄について、アドバイスしていきます。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（50%）、レポート・課題（30%）、授業態度【 積極的参加等 】（20%）							
教科書	特に指定はしません。								
参考文献	授業中に必要に応じて適宜、紹介していきます。								
補足事項	「学校」をめぐる問題について主体的に食欲に調べてほしいと思います。ニュースや新聞に、触れるようにしてほしいと思います。								

科 目 名	教育方法・技術論		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	こまきね たけし 駒木根 剛	
ナソバ°リンク°コート°	EDU12203		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	幼児が成長するなかで育むべき資質や能力を身につけられるよう、周囲がどのように働きかけるとよいか、指導方法を学ぶと共に指導の立案について検討する。								
到 達 目 標	1．身体、言葉、表現、科学や算数的理解など幼児が学ぶべき領域や内容について理解している。 2． 1 を幼児が身につけるために具体的な指導方法について理解できている。 3．総合学習や ICT（情報通信技術）教育の内容について理解できている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1、3、4 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	子どもの特徴を脳の仕組みや心理学の視点から理解する。	予習	シラバスをよく読むこと。				
				復習	子どもの特長について教科書を読み返す。				
	第 2 回	内容	子どもの身近な環境を取りあげ、幼児の発達を促すための環境指導法について学ぶ。	予習	子どもの環境とは何か調べる。				
				復習	自ら環境指導法について再度考える。				
	第 3 回	内容	造形表現の特質と課題を理解し、造形表現の指導方法について学ぶ。	予習	造形表現の特質と課題について調べる。				
				復習	自ら造形表現や指導法について再度考える。				
	第 4 回	内容	子どもの発達に伴う身体表現について理解するとともに、子どもの表現を引き出す指導方法について学ぶ。	予習	身体表現について調べる。				
				復習	子どもの表現を引き出す指導方法を考える。				
	第 5 回	内容	新しい時代を生きるための音楽表現や幼児の感性について理解し、指導法を学ぶ。	予習	幼児の感性とは何か調べる。				
				復習	新しい時代の音楽表現について再度考える。				
	第 6 回	内容	幼児期に発達する言葉の能力、現代における言葉の習得および発達の課題について理解する。	予習	幼児期の言葉の発達について調べる。				
				復習	言葉の習得および発達の課題を読み返す。				
	第 7 回	内容	幼児の算数的活動の内容について理解し、発達に応じた算数的理解を促すための指導法について学ぶ。	予習	幼児の算数的活動について調べる。				
				復習	算数的理解を促す指導法について考える。				
	第 8 回	内容	幼児教育における科学の指導の必要性和小学校教育への橋渡し（連携）について学ぶ。	予習	幼児教育における科学とは何か調べる。				
				復習	小学校教育への連携の意義を読み返す。				
	第 9 回	内容	総合学習の理論と実践について学び、指導法を立案し、その立案した指導法をひとに発表できるものに仕上げる。	予習	これまでの指導法について読み返す。				
				復習	自ら総合学習の指導法について再度考える。				
	第 10 回	内容	ICT 教育の内容について学び、支援や指導の方法について立案し、立案した指導法を発表できるものに仕上げる。	予習	ICT 教育とは何か調べる。				
				復習	自ら ICT 教育の指導法について再度考える。				
	第 11 回	内容	外国諸国の他文化を取り入れた ICT 保育および教育について学ぶ。	予習	他文化保育とは何か調べる。				
				復習	他文化保育についての自らの考えをまとめる。				
	第 12 回	内容	発達の気になる子ども、障害を抱える子どもへの教育や支援の方法（インクルーシブ教育）について学ぶ。	予習	インクルーシブ教育とは何か調べる。				
				復習	インクルーシブ教育について考えをまとめる。				
	第 13 回	内容	児童虐待について学び、虐待を受けた子どもへの支援方法について学ぶ。	予習	児童虐待の現状について調べる。				
				復習	虐待を受けた子どもへの支援について考える。				
	第 14 回	内容	幼稚園、保育園、小学校教育の連携の必要性を学び、連携の方法について学ぶ。	予習	小学校教育への連携の意義について調べる。				
				復習	小学校教育との連携の方法について考える。				
	第 15 回	内容	保育者として幼児教育の方法と技術をどのように捉えるか検討し、検討した指導法を発表できるものに仕上げる。	予習	これまでの理論や指導法について読み返す。				
				復習	保育者として幼児教育の方法と技術についての重要箇所をまとめる。				
	予習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 4 5 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google classroom から行います。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 5 0 ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【動画視聴後の感想や意見】（ 5 0 ）							
教科書	『実践につながる 新しい幼児教育の方法と技術』（大浦賢治 編著、野津直樹 編著、ミネルヴァ書房、2020 年）								
参考文献	『ICT を使って保育を豊かに ワクワクにつながる&広がる 28 の実践』（秋田喜代美・宮田まり子・野澤祥子編著、中央法規出版、2022 年）								
注意事項	授業ノートを作成することをもとめます。ルーズリーフよりも、針金等が入っていないキャンパスノートを使用することを推奨します。								

科 目 名	教育相談		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	みよし ちから 三好 力
ナンバリングコード	EDP12203		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	幼稚園や学校における教育相談は、心理学の専門家や一部の教師が担うものではなく、学級運営と同じように全ての教師が担当する教育活動の一環として位置づけられている。本講義では、教育相談の理論、技術、キンダー（スクール）カウンセラーの位置づけなどについて概説し、幼稚園や学校（教育現場）における教育相談の役割を理解することを目的とする。							
到 達 目 標	1．教育現場での生徒指導上の問題に応じ、適切に対応できる。 2．カウンセリングの基本的な理論と態度技術を身につけている。 3．集団指導に有益な心理的技術について理解している。 4．教育相談における保護者や地域との連携と関わり、キンダー（スクール）カウンセラー等との連携を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションとガイダンス：教育相談とは何か	予習	教育相談についてのイメージを膨らませる			
				復習	教育相談の日本における位置づけを整理する			
	第 2 回	内容	子どもを支えるために必要な教師の資質とカウンセリングマインド	予習	教師の資質について考えておく			
				復習	カウンセリングマインドを整理する			
	第 3 回	内容	子ども理解のための心理学——理論と実際の双方向からの多面的理解：教育相談のための発達心理学的基礎知識	予習	子ども家庭支援の心理学などのノートを確認			
				復習	発達理論に基づき各世代について理解整理する			
	第 4 回	内容	子ども理解のための心理学——理論と実際の双方向からの多面的理解：教育相談のための臨床心理学的基礎知識	予習	臨床心理学を漠然とで良いので下調べしておく			
				復習	臨床心理学の有用な技法を整理しておく			
	第 5 回	内容	発達障害をめぐる諸問題	予習	発達障害について下調べしておく			
				復習	学修した後のギャップを整理しておく			
	第 6 回	内容	アセスメント——多面的に子どもを理解する視点と方法	予習	子どもに利用するアセスメントツールを調べる			
				復習	アセスメントについての自分の考えをまとめる			
	第 7 回	内容	心理テスト体験実習	予習	心理テストについて調べる			
				復習	測定されたものについて詳しく調べる			
	第 8 回	内容	カウンセリング——信頼関係を築き、子どもを援助する方法	予習	カウンセリングについて下調べしておく			
				復習	カウンセリング技法について整理する			
	第 9 回	内容	コンサルテーション——よりよい指導・援助のための協働	予習	コンサルテーションとは何かを調べる			
				復習	コンサルテーションにおける連携を整理する			
	第 10 回	内容	ソーシャルスキル教育やストレスマネジメント教育	予習	自分のストレスマネジメントについて整理する			
				復習	S S T について整理する			
	第 11 回	内容	教育相談を成立させる現実条件（目標の立て方や進め方）	予習	事前に配布プリントを読み込んでおく			
				復習	教育相談の目標設定について整理する			
	第 12 回	内容	学級経営と学校のリスクマネジメント	予習	学校や園のリスクについて考えておく			
				復習	多くのリスクについて整理しておく			
	第 13 回	内容	「チーム学校」にみる支援体制（他職種連携）、保幼小連携	予習	保幼小連携について大切なことを考えておく			
				復習	他職種連携と保幼小連携について整理する			
	第 14 回	内容	相談事例の検討：いじめ、不登校・不登園、非行などを扱いグループディスカッションを行う	予習	事前に配布するプリントを読み込んでおく			
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく			
	第 15 回	内容	相談事例の検討：対人コミュニケーションの問題、発達障害を伴う問題などを扱いグループディスカッションを行う	予習	事前に配布するプリントを読み込んでおく			
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【 】（ ）							
教科書	使用しない							
参考文献	絶対役立つ教育相談：学校現場の今に向き合う 藤田哲也他 2017 ミネルヴァ書房 教師のための教育相談の技術 吉田圭吾 2007 金子書房 ほか							
補足事項	毎回小テストや課題を行う。その他、特別教材(2 回分)として別途 1000 円（予価）を授業中に集金します。							

科 目 名	教育相談		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いまみず ゆたか 今 水 豊
ナンバリングコード	EDP12203		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	教育相談は、家庭や幼稚園における子どものさまざまな問題について、その望ましい解決に向けて助言や援助を行う実践活動である。もちろんその有用性は保育園においても同様である。授業ではまず援助の前提となる子どもの発達の総まとめをする。次に子どもに起こりうる問題と相談場面の実際を紹介していく。							
到 達 目 標	1.発達を多角的にとらえることができる 2.発達の知識と臨床心理学的な知識を援助活動に活かすことができる 3.相談に必要な臨床心理学的な見立てについて理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ 3.5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	Ⅰ 教育相談とは何か ①相談の必要性	予習	相談やカウンセリングについて考える			
				復習	教育相談の意義を理解する			
	第 2 回	内容	Ⅰ 教育相談とは何か ②相談のながれ	予習	相談場面を想像する			
				復習	相談のパターンを理解する			
	第 3 回	内容	Ⅱ 子どもの発達の特徴 ①発達の表の作成 (身体・運動・言語の発達)	予習	左記の子どもの発達について考える			
				復習	表を通して発達の特徴を理解する			
	第 4 回	内容	Ⅱ 子どもの発達の特徴 ②発達の表の作成 (認知・親子関係の発達)	予習	左記の子どもの発達について考える			
				復習	表を通して認知の発達を理解する			
	第 5 回	内容	Ⅱ 子どもの発達の特徴 ③発達の表の作成 (親子関係の発達)	予習	母子関係の発達について考える			
				復習	表を通して人間関係の発達を理解する			
	第 6 回	内容	Ⅱ 子どもの発達の特徴 ④発達の表の作成 (社会心理的発達)	予習	身体から親子関係までの発達を把握する			
				復習	表を通じて子どもの発達を多角的に理解する			
	第 7 回	内容	Ⅲ 子どもに見られる発達・心理的問題 ①発達障害の実際	予習	発達障害の記事や話題を調べる			
				復習	発達障害の実際を理解する			
	第 8 回	内容	Ⅲ 子どもに見られる発達・心理的問題 ②特別支援教育	予習	義務教育の支援について調べる			
				復習	義務教育の支援を把握する			
	第 9 回	内容	Ⅲ 子どもに見られる発達・心理的問題 ③養育者の実際	予習	養育者の苦労を考える			
				復習	障害受容について理解する			
	第 10 回	内容	Ⅲ 子どもに見られる発達・心理的問題 ④虐待	予習	虐待の記事や話題を調べる			
				復習	虐待の心理的影響を把握する			
	第 11 回	内容	Ⅲ 子どもに見られる発達・心理的問題 ⑤大震災と PTSD	予習	東日本大震災当時を思い起こす			
				復習	PTSD について理解する			
	第 12 回	内容	Ⅲ 子どもに見られる発達・心理的問題 ⑥心のケアの実際	予習	震災が子どもに及ぼす影響を考える			
				復習	子どもの反応と対応を理解し、その時に備える			
	第 13 回	内容	Ⅳ 相談の実際 ①教育相談の意義	予習	連携する相談機関を調べる			
				復習	教育相談の利点を理解する			
	第 14 回	内容	Ⅳ 相談の実際 ②遊戯療法	予習	遊戯療法について調べる			
				復習	遊戯療法の利点を理解する			
	第 15 回	内容	Ⅳ 相談の実際 ③教育相談の実践	予習	上記授業の総復習			
				復習	子どもの見立てについて理解する			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	わからない内容や疑問に思うことは、授業後質問して理解すること。 テスト・レポートについては、実施後に答え合わせ、解説、紹介等のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 50 %）、レポート・課題（ 30 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（20%）							
教科書	とくになし							
参考文献	都度紹介する							
補足事項	教育相談では、保護者の相談ごとに耳を傾け、その心情を理解する謙虚な態度が不可欠である。 その姿勢を身につけるためにも、授業をしっかりと聞き理解するという構えを求める。							

科 目 名	保育・教職実践演習(幼稚園)	単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	おおくま まるはし 大熊・丸橋 他
ナンバリングコード	EDU12204	授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()						
授 業 の 内 容	これまでの教育に関する科目および教職に関する科目の学修や実習経験を踏まえ、保育士・幼稚園教諭として必要な学びを振り返り、将来の教職生活のために自己課題を見つける。 尚、学生が主体的に学ぶことを基本とし、これまで履修してきた科目や実習とのつながりを理解し、保育を総合的に捉えることができるよう演習を展開する。						
到 達 目 標	幼児教育学科のディプロマポリシーに照らして、本演習を通して保育士・幼稚園教諭として必要な以下の資質能力を身につけている。 1. 幼児教育学・保育学の知識と技能をしっかりと習得している。 2. コミュニケーション能力があり、周囲の人と協調することができる。 3. 子どもを取り巻く環境や社会問題を理解し、自ら課題を見つけ取り組むことができる。 4. 自然と生命を大切にできる心を持ち、それを子どもに伝えることができる。 5. 自分を生き生きと表現し、他者の表現を受け入れることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科 (1. 2. 3. 4. 5) 地域保育学科 () 文化表現学科 ()						
授 業 計 画	第 1 回	内容	保育・教職実践演習の授業の進め方について これまでの学修の振り返り	予習	この授業についてシラバスを読んでおく。		
				復習	授業の概要をまとめる。		
	第 2 回	内容	保育者の役割・職務内容・子どもに対する責任等について (1)講義・レポート	予習	保育者の役割・職務内容について調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第 3 回	内容	保育者の役割・職務内容・子どもに対する責任等について (2)グループワーク	予習	グループワークに必要な情報をまとめる。		
				復習	グループワークの内容をまとめる。		
	第 4 回	内容	学級経営、学級経営案の作成について (講義・レポート)	予習	学級経営について調べてくる。		
				復習	授業内容を振り返り、レポートを書く。		
	第 5 回	内容	子ども理解の方法と実際について (講義・グループワーク・レポート)	予習	子ども理解の方法について調べる。		
				復習	授業を振り返り、レポートを書く。		
	第 6 回	内容	組織の一員としての自覚 (講義・レポート)	予習	組織で協働することについて調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第 7 回	内容	保護者や地域の関係者との人間関係の構築について (グループワーク・ロールプレイ)	予習	保護者や地域関係者との交流について調べる。		
				復習	グループワーク・ロールプレイを振り返り、まとめる。		
	第 8 回	内容	幼稚園・保育園の安全管理について (講義・グループワーク)	予習	実習園での安全管理について調べる。		
				復習	授業を振り返り、まとめる。		
	第 9 回	内容	子どもを取り巻く環境、子育てに関する社会問題について (講義・レポート)	予習	子どもを巡る社会問題について調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第 10 回	内容	感性と認識についてのフィールドワーク (自然保育実習)	予習	幼児の感性について調べる。		
				復習	自然保育実習を振り返り、レポートを書く。		
	第 11 回	内容	保育内容と保育方法について (グループワーク)	予習	保育内容と保育方法について調べる。		
				復習	グループワークを振り返り、まとめる。		
	第 12 回	内容	保育における活動を計画する。(グループワーク)	予習	保育における様々な活動を調べる。		
				復習	話し合った計画についてまとめる。		
	第 13 回	内容	保育における活動を実践する。(ロールプレイ)	予習	グループでの計画を実践するための材料を準備し、方法を調べる。		
				復習	実践したことを振り返り、まとめる。		
	第 14 回	内容	保育者の専門性について (グループワーク・レポート)	予習	保育者の専門性について確認する。		
				復習	グループワークの内容をまとめる。		
	第 15 回	内容	授業全体の振り返り・資質能力の確認	予習	学科のディプロマポリシーを読み、自己課題を考える。		
				復習	授業全体を振り返り、自己課題をまとめる。		
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
	課題へのフィードバック	各回ごとに課題への取り組み、または発表後に講評を行う。					
	成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／(○) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (30 %)、作品・発表 (40 %)、授業態度【積極的参加】(30 %)					

教科書	なし
参考文献	なし
補足事項	オムニバス形式での授業（幼児教育学科専任教員で担当）。各回の授業担当教員が異なるため、欠席回数の把握に注意すること。

科 目 名	施設実習	単 位 数	2	授業時間数	90	担当教員	し の は ら み よ し 志濃原・三好
ナンバリングコード	SWS12204	授業形態	実習	実務経験			
授 業 の 内 容	施設実習を通して、施設の役割や機能、日々の生活の展開、利用者の理解と関係の形成、保育者としての職務内容等について实际的に学習する。 保育士証を取得するため、保育実習（必修）の中に施設実習を行なうことが定められており、保育に関する講義や演習で学んできた内容を児童福祉施設、障害者支援施設等で実践するものである。						
到 達 目 標	1. 居住型及び通所型児童福祉施設等の利用者の生活が理解している。 2. 居住型及び通所型児童福祉施設等の保育士の役割について理解している。 3. 居住型及び通所型児童福祉施設等の機能が理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 1. 2. 3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	1. 実習施設の目的・機能の理解①（一日の生活の理解） 2. 実習施設の目的・機能の理解②（利用児・者についての理解） 3. 実習施設の人的・物的環境の理解①（施設職員の役割・協働について） 4. 実習施設の人的・物的環境の理解②（施設の物的環境について） 5. 施設の利用者の生活実態の把握と援助技術の習得①（利用者の生活実態の把握） 6. 施設の利用者の生活実態の把握と援助技術の習得②（利用者への援助） 7. 施設の利用者の生活実態の把握と援助技術の習得③（利用者への援助のための間接業務） 8. 保育士の職務内容・役割・他職種との連携の理解①（施設で働く保育士の役割） 9. 保育士の職務内容・役割・他職種との連携の理解②（保育士と他職種との連携） 10. 施設と地域・家庭・関係機関等との連携についての理解 11. 反省会・まとめ① 12. 実習施設の役割の理解 13. 実習施設の社会的機能の理解 14. これからの施設の在り方への考察 15. 反省会・まとめ②						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（80%）、レポート・課題（10%）、作品・発表（%）、実技（%）、授業態度【積極的参加】（10%）						
教科書	なし						
参考文献	施設種別毎の「実習園資料」（本学実習資料室のもの）等を、数多く参照すること。						
補足事項	「福祉施設実習研究」で履修した内容を理解して実践すると同時に、施設の指導を受け、実習生としてふさわしい言動がとれるように、十分に留意すること。 また、実習関係報告書類の提出遅延、実習中の怠惰、非行等があった場合は、本学の「実習派遣規制基準」によって、実習の停止、中止等が行なわれる場合があり、保育士証取得ができないことになるので注意すること。						

科 目 名	保育所実習Ⅱ	単 位 数	2	授業時間数	90	担当教員	おぐち しおさき こやま 小口・塩崎・小山
ナンバリングコード	CHS12211	授業形態	実習	実務経験			
授 業 の 内 容	具体的な実践を通して、保育所の役割や機能、保育の理解を深める。さらに、これまでの実習での学びを踏まえ、保育・子育て支援・保育の計画や記録等について実際に取り組み、理解を深める。 保育士業務内容や職業倫理について実践的な経験を通して理解し、事故の課題を明確化する。						
到達目標	1. 保育実習Ⅰでの保育所実習の経験を活かし実習に積極的に取り組むことができる 2. 保育技術が向上し保育士として乳幼児に対するより適切な保育を行うことができる。 3. 保育所の保育内容と子どもの成長や発達との関連性を理解し、実践的に保育の本質を理解している。 4. 職員間の連携・チームワークの重要性を理解している。 5. 保護者対応の仕方や保育所の地域との関わり方を具体的に理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 1.2.3.4.5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	1. 保育所の役割や機能の具体的展開 （1）養護と教育が一体となって行われる保育 （2）保育所の社会的役割と責任 2. 観察に基づく保育理解 （1）子どもの心身の状態や活動の観察 （2）保育士等の援助や関わり （3）保育所の生活の流れや展開の把握 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 （1）環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解 （2）入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 （3）関係機関や地域社会との連携 4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 （1）全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 （2）作成した指導計画に基づく保育の実践と評価 5. 保育士の義務と職業倫理 （1）多様な保育の展開と保育士の業務 （2）多様な保育の展開と保育士の職業倫理 6. 自己の課題の明確化						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：実習施設による評価（50%）、実習日誌の評価（30%）、個人面談等（20%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
補足事項	実習関係書類の提出遅延、実習中の怠惰等があった場合は本学「実習派遣規制」により、実習の中止等があり得るので注意すること。						

科 目 名	保育所実習指導Ⅰ		単 位 数	1	授業時間数	40	担当教員	おぐち しおさき こやま 小口・塩崎・小山
ナンバリングコード	CHS12109		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	保育所実習Ⅰに必要な知識や技術を学ぶ。保育所実習の目的、内容、方法、実習施設の機能を学ぶとともに、手続書類の作成等について指導を行う。実習に対する課題を立て、事後の学習目標を明確にしていくことで今後の実習に対する意欲を高める。							
到 達 目 標	1．保育所実習の意義・目的・内容を理解している。 2．実習の計画、実践、観察、評価の方法について理解し実践できる。 3．実習課題を明確にし、事前準備に取り組むことができる。 4．事後指導の実習の統括と自己評価から、課題と目標を明確にしている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1,2,3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	実習の意義と目的・種類と時期 （保育所・教育実習指導Ⅰ共通）	予習	実習の手引きp8を読んでくる			
				復習	実習の意義・目的・種類と時期を確認する			
	第2回	内容	実習申込書・配当資料について 実習の段階を知る（保育所・教育実習指導Ⅰ共通）	予習	実習の手引きp12を読んでくる			
				復習	配当園を調べ、配当資料を作成する			
	第3回	内容	実習生としての心構え・守秘義務について 実習派遣規制について(保育所・教育実習指導Ⅰ共通)	予習	実習手引きの個人情報に関する事例集を読む			
				復習	実習派遣規制について実習の手引きを読み返す			
	第4回	内容	言葉遣い・礼儀・マナーについて （保育所・教育実習指導Ⅰ共通）	予習	言葉遣いやマナーについて考えてくる			
				復習	配布資料を読みかえす			
	第5回	内容	実習日誌の作成指導1 実習日誌の書き方①～保育の記録の説明～（保育所・教育実習指導Ⅰ共通）	予習	教科書p84～85を読んでくる			
				復習	配布資料・教科書を読み返す			
	第6回	内容	実習日誌の作成指導2 実習日誌の書き方②～ワーク～（保育所・教育実習指導Ⅰ共通）	予習	保育の記録の書き方について確認する			
				復習	時系列のワークを最後まで行う			
	第7回	内容	実習の持ち物・服装・身支度 （保育所・教育実習指導Ⅰ共通）	予習	教科書p33を読んでくる			
				復習	配布資料を読み返す			
	第8回	内容	実習における礼儀・マナー② （保育所・教育実習指導Ⅰ共通）	予習	教科書p94～95を読んでくる			
				復習	礼儀・マナーの復習をする			
	第9回	内容	保育実習Ⅰの目的を理解する	予習	事前の配布資料を読む			
				復習	保育所の一日の流れをノートにまとめる			
	第10回	内容	参加・観察実習の留意点を知る	予習	事前の配布資料を読む			
				復習	参加・観察実習の留意点をノートにまとめる			
	第11回	内容	保育所の一日の流れを知る	予習	事前の配布資料を読む			
				復習	保育所の一日の流れをノートにまとめる			
	第12回	内容	実習日誌の作成指導3 実習開始前に必要な記入事項の説明	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく			
				復習	必要事項を日誌に記入する			
	第13回	内容	「実習課題」を考えて実習の課題を明確にする 「実習生調査書」を作成する	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく			
				復習	実習課題を考える			
	第14回	内容	実習日誌の作成指導4 時系列記録による記録方法の理解1	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく			
				復習	記録方法をノートに整理する			
	第15回	内容	実習日誌の作成指導5 エピソード記録による記録方法の理解	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく			
				復習	記録方法をノートに整理する			
	第16回	内容	実習日誌の作成指導6 様々な記録の方法と振り返り等の書き方の理解	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく			
				復習	記録方法をノートに整理する			
	第17回	内容	部分実習指導計画案作成指導	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく			
				復習	指導計画案を作成する			
	第18回	内容	実習オリエンテーションについて理解する 持ち物、身だしなみ等、実習の諸注意について	予習	事前配布資料を読んでおく			
				復習	オリエンテーションの注意事項をノートにまとめる			
	第19回	内容	実習の評価の観点と訪問指導を理解する	予習	事前配布資料を読んでおく			
				復習	訪問指導についての必要性をノートにまとめる			
	第20回	内容	実習の総括と自己評価	予習	これまでの授業のノートを見直す			
				復習	実習指導Ⅰから学んだ事をノートにまとめる			

	第 21 回	内容	事後指導 評価面談	予習	保育所実習Ⅰの総括を行う
				復習	評価面談の内容の受け、保育所実習Ⅱの課題を考える
	第 22 回	内容	事後指導 評価面談	予習	保育所実習Ⅰの総括を行う
				復習	評価面談の内容の受け、保育所実習Ⅱの課題を考える
	第 23 回	内容	事後指導 評価面談	予習	保育所実習Ⅰの総括を行う
				復習	評価面談の内容の受け、保育所実習Ⅱの課題を考える
	第 24 回	内容	事後指導 評価面談	予習	保育所実習Ⅰの総括を行う
				復習	評価面談の内容の受け、保育所実習Ⅱの課題を考える
	第 25 回	内容	事後指導 評価面談	予習	保育所実習Ⅰの総括を行う
				復習	評価面談の内容の受け、保育所実習Ⅱの課題を考える
	第 26 回	内容	事後指導 評価面談	予習	保育所実習Ⅰの総括を行う
				復習	評価面談の内容の受け、保育所実習Ⅱの課題を考える
	第 27 回	内容	事後指導 評価面談	予習	保育所実習Ⅰの総括を行う
				復習	評価面談の内容の受け、保育所実習Ⅱの課題を考える
	第 28 回	内容	事後指導 評価面談	予習	保育所実習Ⅰの総括を行う
				復習	評価面談の内容の受け、保育所実習Ⅱの課題を考える
	第 29 回	内容	事後指導 評価面談	予習	保育所実習Ⅰの総括を行う
				復習	評価面談の内容の受け、保育所実習Ⅱの課題を考える
	第 30 回	内容	事後指導 評価面談	予習	保育所実習Ⅰの総括を行う
				復習	評価面談の内容の受け、保育所実習Ⅱの課題を考える
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。					
課題へのフィードバック	授業内で課題への補足説明を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）%、レポート・課題（80%）、授業態度【 積極的な参加 】（20%）				
教科書	『パターンと練習問題でだれでも書けるようになる！保育実習日誌・指導案』（浅井拓久也、明治図書出版） 『実習の手引き』（秋草学園短期大学・実習委員会）				
参考文献	『幼稚園・保育所実習パーフェクトガイド』（小櫃智子他2名、わかば社） 『保育所保育指針<平成29年告示>』（厚生労働省、フレーベル館）、『保育所保育指針解説 平成30年3月』（厚生労働省、フレーベル館）				
補足事項	1. 実習について必要な事柄や注意事項の説明、提出書類の作成を行うので、原則として欠席は認めない。 2. 実習書類の遅延、授業態度の怠慢等は「実習派遣規制」によって禁じられており、実習派遣できなくなるので十分に留意すること。 3. 実習手続きに必要な資料は、授業内で適宜配布する				

科 目 名	施設実習指導（一部）		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	し の は ら み よ し せ き 志濃原・三好・関
ナンバリングコード	SWS12205		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	この授業は、施設実習の前後に行なわれるものである。事前授業では実習の目的、実習施設の機能、保育者の職務内容、および実習手続き書類の作成等について学習し、実習心得を身に付け、実習参加意欲の高揚を図るとともに、各自の実習課題を確立する。 実習後授業は、実習報告会の参加、実習報告書と実習アンケートの作成等を通して、自己の適性を見直し、保育者としての使命感や人権意識等を考え今後の学習課題を設定する。							
到 達 目 標	1. 実習施設について理解を深めることができる。 2. 実習課題が設定できる。 3. 自己の適性を知ることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション（履修上の諸注意）	予習	シラバスを確認する			
				復習	履修上の諸注意を確認する			
	第2回	内容	施設実習の意義の理解	予習	実習の手引きを一読する			
				復習	実習の手引きを確認しながら理解を深める			
	第3回	内容	実習施設の配当発表及び各実習施設の理解	予習	配当の確認をする			
				復習	配当の施設について調べる			
	第4回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（乳児院）	予習	児童福祉施設の知識の復習をする			
				復習	感想文を書く			
	第5回	内容	実習生調書の作成	予習	実習生調書下書き			
				復習	実習生調書を直す			
	第6回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（児童養護施設）	予習	児童福祉施設の知識の復習をする			
				復習	感想文を書く			
	第7回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（障害児関連施設）	予習	障害児への知識を確認する			
				復習	感想文を書く			
	第8回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（障害者関連施設）	予習	障がい者福祉の知識を確認する			
				復習	感想文を書く			
	第9回	内容	各施設への実習前訪問と諸注意	予習	実習先の概要を確認する			
				復習	実習先への交通経路等の確認をする			
	第10回	内容	外部講師の話	予習	実習への心構えを考えておく			
				復習	感想文を書く			
	第11回	内容	実習日誌の書き方	予習	実習日誌を一読する			
				復習	日誌の記入方法等を確認する			
	第12回	内容	実習関係書類作成、細菌検査、実習課題について	予習	提出書類の記入及び準備をする			
				復習	書類の確認・実習課題の整理をする			
	第13回	内容	実習に向けての諸注意	予習	実習に向けて準備を整える			
				復習	諸注意の確認をする			
	第14回	内容	実習概要報告書の作成（書き方の説明）	予習	提出物・書類の確認、報告書の下書きをする			
				復習	報告書の作成、実習の振り返りと自己評価			
	第15回	内容	実習概要報告ビデオの作成（オンライン）	予習	報告ビデオの作成			
				復習	報告ビデオの提出			
	第16回	内容	評価面談1	予習	自己評価と省察			
				復習	実習の振り返りと自己評価			
	第17回	内容	評価面談2	予習	自己評価と省察			
				復習	実習の振り返りと自己評価			
	第18回	内容	評価面談3	予習	自己評価と省察			
				復習	実習の振り返りと自己評価			
	第19回	内容	評価面談4	予習	自己評価と省察			
				復習	実習の振り返りと自己評価			
			内容		予習	自己評価と省察		

	第 20 回		評価面談 5	復習	実習の振り返りと自己評価
	第 21 回	内容	評価面談 6	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 22 回	内容	評価面談 7	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 23 回	内容	評価面談 8	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 24 回	内容	評価面談 9	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 25 回	内容	実習を振り返って	予習	自己評価と省察
				復習	グループごとの実習の振り返り
第 26 回	内容	まとめ、日誌の返却、講評	予習	感想文を書く	
			復習	自己評価を考察する	
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	実習の評価面談、及び反省を通して、フィードバックする				
成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：課題（ 30%）、レポート（ 20%）、授業態度【積極的参加】（ 50%）				
教科書	『施設実習』（立花直樹他著者、ミネルヴァ書房）				
参考文献	『保育福祉小六法 2022 年版』（保育福祉小六法編集委員会編、みらい）				
補足事項	各実習園に対する注意事項の説明、提出書類の作成等を行うので、原則として欠席は認めない。また、実習提出書類の遅延、非行・怠惰等は、「実習派遣規制基準」によって禁じられているので十分に留意すること。 ◎派遣施設が決まったら、自主的にその施設機能や利用者について予備学習を行うこと。				

科 目 名	施設実習指導（二部）		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	みよし せき 三好・関
ナンパリングコード	SWS12205		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	この授業は、施設実習の前後に行なわれるものである。事前授業では実習の目的、実習施設の機能、保育者の職務内容、および実習手続き書類の作成等について学習し、実習心得を身に付け、実習参加意欲の高揚を図るとともに、各自の実習課題を確立する。 実習後授業は、実習報告会の参加、実習報告書と実習アンケートの作成等を通して、自己の適性を見直し、保育者としての使命感や人権意識等を考え今後の学習課題を設定する。							
到 達 目 標	1. 実習施設について理解を深めることができる。 2. 実習課題が設定できる。 3. 自己の適性を知ることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション（履修上の諸注意）	予習	シラバスを確認する			
				復習	履修上の諸注意を確認する			
	第2回	内容	施設実習の意義の理解	予習	実習の手引きを一読する			
				復習	実習の手引きを確認しながら理解を深める			
	第3回	内容	実習施設の配当発表及び各実習施設の理解	予習	配当の確認をする			
				復習	配当の施設について調べる			
	第4回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（乳児院）	予習	児童福祉施設の知識の復習をする			
				復習	感想文を書く			
	第5回	内容	実習生調書の作成	予習	実習生調書下書き			
				復習	実習生調書を直す			
	第6回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（児童養護施設）	予習	児童福祉施設の知識の復習をする			
				復習	感想文を書く			
	第7回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（障害児関連施設）	予習	障害児への知識を確認する			
				復習	感想文を書く			
	第8回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（障害者関連施設）	予習	障がい者福祉の知識を確認する			
				復習	感想文を書く			
	第9回	内容	各施設への実習前訪問と諸注意	予習	実習先の概要を確認する			
				復習	実習先への交通経路等の確認をする			
	第10回	内容	外部講師の話	予習	実習への心構えを考えておく			
				復習	感想文を書く			
	第11回	内容	実習日誌の書き方	予習	実習日誌を一読する			
				復習	日誌の記入方法等を確認する			
	第12回	内容	実習関係書類作成、細菌検査、実習課題について	予習	提出書類の記入及び準備をする			
				復習	書類の確認・実習課題の整理をする			
	第13回	内容	実習に向けての諸注意	予習	実習に向けて準備を整える			
				復習	諸注意の確認をする			
	第14回	内容	実習概要報告書の作成（書き方の説明）	予習	提出物・書類の確認、報告書の下書きをする			
				復習	報告書の作成、実習の振り返りと自己評価			
	第15回	内容	実習概要報告ビデオの作成（オンライン）	予習	報告ビデオの作成			
				復習	報告ビデオの提出			
	第16回	内容	評価面談1	予習	自己評価と省察			
				復習	実習の振り返りと自己評価			
	第17回	内容	評価面談2	予習	自己評価と省察			
				復習	実習の振り返りと自己評価			
	第18回	内容	評価面談3	予習	自己評価と省察			
				復習	実習の振り返りと自己評価			
	第19回	内容	評価面談4	予習	自己評価と省察			
				復習	実習の振り返りと自己評価			
			内容		予習	自己評価と省察		

	第 20 回		評価面談 5	復習	実習の振り返りと自己評価
	第 21 回	内容	評価面談 6	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 22 回	内容	評価面談 7	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 23 回	内容	評価面談 8	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 24 回	内容	評価面談 9	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 25 回	内容	実習を振り返って	予習	自己評価と省察
				復習	グループごとの実習の振り返り
第 26 回	内容	まとめ、日誌の返却、講評	予習	感想文を書く	
			復習	自己評価を考察する	
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	実習の評価面談、及び反省を通して、フィードバックする				
成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：課題（ 30%）、レポート（ 20%）、授業態度【積極的参加】（ 50%）				
教科書	『施設実習』（立花直樹他著者、ミネルヴァ書房）				
参考文献					
補足事項	各実習園に対する注意事項の説明、提出書類の作成等を行うので、原則として欠席は認めない。また、実習提出書類の遅延、非行・怠惰等は、「実習派遣規制基準」によって禁じられているので十分に留意すること。 ◎派遣施設が決まったら、自主的にその施設機能や利用者について予備学習を行うこと。				

科 目 名	保育所実習指導Ⅱ			単 位 数	1	授業時間数	4 0	担当教員	おぐち しおざき こやま 小口・塩崎・小山
ナンバリングコード	CHS12212			授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	保育所実習に必要な知識や技術を学ぶ。保育所実習の目的、内容、方法、実習施設の機能を学ぶとともに、手続き書類の作成等について指導を行う。 実習に対する課題を立て、無地後の学習目標を明確にしていくことで今後の実習に対する意欲を高める。								
到 達 目 標	1.保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解している。 2.実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力が身についている。 3.保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して検討できる。 4.保育士の専門性と職業倫理について理解できる。 5.実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にできる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 1.2.3.4.5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）								
授業計画	第1回	内容	保育所実習指導Ⅱの目的と概要	予習	シラバスを確認する				
				復習	実習概要についてまとめる				
	第2回	内容	事例から学ぶ 実習事例報告・検討会	予習	保育実習Ⅰの事例を考える				
				復習	事例報告をまとめ、課題をシートに記入する				
	第3回	内容	保育実習の振り返り及び課題について検討する	予習	保育実習Ⅰの振り返り、反省をまとめる				
				復習	保育実習Ⅱの実習課題を考える				
	第4回	内容	実習の意義と目的の理解・実習課題の明確化	予習	実習課題をまとめる				
				復習	実習課題を整理し、実習日誌に記入する				
	第5回	内容	保育実習Ⅱに必要な書類の準備	予習	実習に必要な書類を用意する				
				復習	実習園に提出する書類を作成する				
	第6回	内容	部分実習・責任実習指導計画作成の準備① 指導計画の書き方（ねらいの書き方）	予習	指導計画とは何かを調べる				
				復習	ねらいの書き方をまとめる				
	第7回	内容	部分実習・責任実習指導計画作成の準備② 指導計画の書き方（援助や配慮の書き方）	予習	実習生の援助・配慮とは何かを調べる				
				復習	援助・配慮の違いについてまとめる				
	第8回	内容	部分実習・責任実習指導計画作成の準備③ 指導計画の書き方（0～2歳児クラスの指導計画案）	予習	0～2歳児の発達を理解する				
				復習	0～2歳児クラスの指導計画を考える				
	第9回	内容	部分実習・責任実習指導計画作成の準備④ 指導計画の書き方（3～5歳児クラスの指導計画案）	予習	3～5歳児の発達を理解する				
				復習	3～5歳児クラスの指導計画を考える				
	第10回	内容	指導実習に向けての模擬授業の計画立案① グループワーク	予習	2歳児クラスの部分実習を考える				
				復習	2歳児クラスの部分実習を立案する				
	第11回	内容	指導実習に向けての模擬授業の計画立案② グループワーク 内容検討	予習	3歳児クラスの部分実習を考える				
				復習	3歳児クラスの部分実習を立案する				
	第12回	内容	指導実習に向けての模擬授業の計画立案③ グループワーク 内容検討	予習	5歳児クラスの責任実習を考える				
				復習	5歳児クラスの責任実習を立案する				
	第13回	内容	指導実習に向けての模擬授業の計画立案④ グループワーク 発表・反省	予習	指導案を確認し、模擬授業の練習を行う				
				復習	模擬授業の振り返りを行う				
	第14回	内容	指導実習に向けての模擬授業の計画立案⑤ グループワーク 発表・反省・自己評価	予習	指導案を修正し、模擬授業の練習を行う				
				復習	模擬授業の振り返りを行う				
	第15回	内容	実習日誌の書き方① 目的と概要	予習	保育所実習Ⅰの日誌を確認する				
				復習	保育所実習Ⅱで求められていることを考える				
	第16回	内容	実習日誌の書き方2 エピソード記録	予習	保育所実習Ⅰの日誌を確認する				
				復習	エピソード記録のワークに取り組む				
	第17回	内容	実習前の心構え・実習における諸注意	予習	心構え等をまとめる				
				復習	守秘義務・マナー等の再確認 持ち物確認				
	第18回	内容	保育所実習Ⅱを振り返る	予習	実習を振り返り、自己評価を行う				
				復習	自己評価シートを記入する				
	第19回	内容	自己評価と実習の総括 グループワーク①	予習	実習を振り返り、自己評価を行う				
				復習	グループワークで行ったことをまとめる				
		内容		予習	実習を振り返り、自己評価を行う				

	第 20 回		自己評価と実習の総括　グループワーク② パワーポイント作成	復習	パワーポイントを作成する
	第 21 回	内容	自己評価と実習の総括　グループワーク④ パワーポイント発表練習	予習	パワーポイントを修正する
				復習	パワーポイント発表練習を行う
	第 22 回	内容	自己評価と実習の総括　発表	予習	パワーポイント発表練習を行う
				復習	発表後の感想をまとめる
	第 23 回	内容	実習の振り返りと今後の課題について 事後指導(評価面談等)	予習	実習の自己評価をまとめる
				復習	評価を受けて、省察する
	第 24 回	内容	実習の振り返りと今後の課題について 事後指導(評価面談等)	予習	実習の自己評価をまとめる
				復習	評価を受けて、省察する
	第 25 回	内容	実習の振り返りと今後の課題について 事後指導(評価面談等)	予習	実習の自己評価をまとめる
				復習	評価を受けて、省察する
	第 26 回	内容	実習の振り返りと今後の課題について 事後指導(評価面談等)	予習	実習の自己評価をまとめる
				復習	評価を受けて、省察する
	第 27 回	内容	実習の振り返りと今後の課題について 事後指導(評価面談等)	予習	実習の自己評価をまとめる
復習				評価を受けて、省察する	
第 28 回	内容	実習の振り返りと今後の課題について 事後指導(評価面談等)	予習	実習の自己評価をまとめる	
			復習	評価を受けて、省察する	
第 29 回	内容	実習の振り返りと今後の課題について 事後指導(評価面談等)	予習	実習の自己評価をまとめる	
			復習	評価を受けて、省察する	
第 30 回	内容	まとめ　日誌の返却　講評	予習	自己評価シートのまとめを書く	
			復習	自己評価を考察する	
予習に要する学習時間：概ね　30 分を目安とする。　復習に要する学習時間：概ね　60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	個人面談等で実習に関する評価を伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（　）する／（　○　）しない 成績評価の方法：レポート・課題（　50%）、作品・発表（　15%）、授業態度【積極的参加】（　35%）				
教科書	ISBN 978-4-89347-398-1『保育実習(仮題)』萌文書林　2023 年発行　『実習の手引き』（秋草学園短期大学・実習委員会）				
参考文献	『パターンと練習問題でだれでもかけられるようになる!保育実習日誌・指導案』（浅井拓久也編著、明治図書） 『保育所保育指針』（厚生労働省、フレーベル館）				
補足事項					

科 目 名	教育実習 I	単 位 数	2	授業時間数	9 0	担当教員	きたざわ おおくま 北 澤 ・ 大 熊
ナンバリングコード	EDU12105	授業形態	実習	実務経験			
授 業 の 内 容	教育実習は幼稚園教諭の免許状を取得するための必修科目である。これまで学んできた学校での理論を統合的に整理し、保育の場でどのように具現化・統合化されているのかを理解する。教育実習 I（前期教育実習）では、保育活動に直接参加する前段階として、子どもや保育者の活動を見学・観察し、客観的に記録する見学・観察実習と、保育活動に加わり、体験を通して保育の営みについて学ぶ参加実習を行う						
到 達 目 標	1. 教育実習の意義を理解し、課題を持ち実習に臨むことができる。 2. 幼稚園の機能や活動内容を理解し、幼稚園教育の場を統合的に理解している。 3. 実習を通し、社会人としてのマナー、保育者としての使命感を認識することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・2・3・4・5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	○前期教育実習：見学・観察・参加実習 幼稚園で生活する子どもや保育者の日々の営みについて、見学・観察をする。また、子どもの実態や保育内容、保育者の職務等について理解を深める。具体的には、以下の 5 つのねらいを持ち 10 日間の実習を行う。 （1）一日の保育の流れを理解する。 （2）子どもの生活実態と活動の様子を理解する。 （3）保育者の職務内容や保育活動について理解する。 （4）保育者としての自覚・態度を確認する。 （5）今後の学習の目標や自己課題について確認する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：実習園による評価（ 50 %）日誌（ 50 %）						
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）						
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）						
補足事項	1. 「教育実習指導 I」を履修し、準備をすると同時に実習生としてふさわしい言動を心がけること。 2. 実習関係書類の提出期限は厳守すること。 3. 「実習派遣規制」に基づき、実習の停止、中止等が行われる場合があるため注意すること。						

科 目 名	教育実習Ⅱ	単 位 数	2	授業時間数	90	担当教員	いざわ おおくま 伊澤・大熊
ナンバリングコード	EDU12205	授業形態	実習	実務経験			
授 業 の 内 容	教育実習は幼稚園教諭の免許状を取得するための必修科目である。これまで学んできた学校での理論を統合的に整理し、保育の場でどのように具現化・統合化されているのかを理解する。前期実習での学びを通し、後期実習では、幼稚園での子どもの生活や保育者の日々の営みについてさらに理解を深め、幼稚園教諭（保育者）として必要な技術を習得していく。						
到 達 目 標	1. 教育実習の意義を理解し、課題を持ち実習に臨むことができる。 2. 幼稚園の機能や活動内容を理解し、幼稚園教育の場を統合的に理解している。 3. 実習を通し、社会人としてのマナー、保育者としての使命感を認識することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	○後期教育実習：参加・指導実習 前期実習での体験、大学で学んだ理論や技術を基に、幼稚園教育の場を統合的に理解する。また、実習生が主体となって指導する実践体験を積み重ねることにより、保育者論や指導技術の向上を図る。具体的には以下の3つのねらいを持ち、10日間の実習を行う。 （1）幼稚園の機能や活動内容を理解する。 （2）大学で学んだ理論や技術と実践との関連性を確認する。 （3）社会人としてのマナー、保育者としての使命感等を認識する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：実習園による評価（50%）、実習日誌評価（50%）						
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）						
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）						
補足事項	1. 「教育実習指導Ⅱ」を履修し、準備をすると同時に実習生としてふさわしい言動を心がけること。 2. 実習関係書類の提出期限は厳守すること。 3. 「実習派遣規制」に基づき、実習の停止、中止等が行われる場合があるため注意すること。						

科 目 名	教育実習指導Ⅰ		単 位 数	1	授業時間数	60	担当教員	きたざわ おおくま 北澤・大熊
ナンバリングコード	EDU12106		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）							
授 業 の 内 容	教育実習と並行して行われる授業であり、教育実習に関する事前事後の指導を行う。具体的には、教育実習の目的、幼稚園の機能、幼稚園教諭の職務内容について学ぶとともに、実習手続きに必要な書類の作成の指導を行っていく。前期教育実習の各段階における実習内容や目的、実習記録の方法、指導計画の理解と作成について学習することを目的とする。							
到 達 目 標	1. 前期教育実習の事前準備として、実習の心構えを理解し、実習に必要な態度や意欲を持っている。 2. 前期教育実習の事前準備として、実習の課題を明確にしている。 3. 前期教育実習の事前事後指導を通し、後期教育実習に向けて必要な、保育者としての資質・能力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・2・3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	実習の意義と目的・種類と時期（保共通）	予習	実習の手引き p 8 を読んでくる			
				復習	実習の意義・目的・種類と時期を確認する			
	第2回	内容	実習申込書・配当資料について 実習のプロセスについて（保共通）	予習	実習の手引き p 12 を読んでくる			
				復習	配当圖を調べ、配当資料を作成する			
	第3回	内容	実習生としての心構え・守秘義務について 実習派遣規制について	予習	実習手引きの個人情報に関する事例集を読む			
				復習	実習派遣規制について実習の手引きを読み返す			
	第4回	内容	幼稚園・保育所・認定こども園について 前期教育実習とは	予習	実習の手引き p 15 を読んでくる			
				復習	実習の手引き p 15・配布資料を読み復習する			
	第5回	内容	実習の段階について～観察・参加・部分実習～ 実習生調査書作成指導①（下書き）	予習	自分の長所・短所をまとめる			
				復習	調査書の下書きを完成させる			
	第6回	内容	言葉遣い・礼儀・マナーについて①（保共通）	予習	言葉遣いやマナーについて考えてくる			
				復習	配布資料を読みかえす			
	第7回	内容	実習日誌の書き方①～保育の記録の説明～ （保共通）	予習	教科書 p 84～85 を読んでくる			
				復習	配布資料・教科書を読み返す			
	第8回	内容	実習日誌の書き方②～ワーク～ （保共通）	予習	保育の記録の書き方について確認する			
				復習	時系列のワークを最後まで行う			
	第9回	内容	実習日誌の書き方③～環境図・書き言葉～ （保共通）	予習	教科書 p 92 を読んでくる			
				復習	環境図の書き方の練習をする			
	第10回	内容	実習生調査書作成指導②（清書） 守秘義務誓約書作成指導	予習	守秘義務についての復習をする			
				復習	実習生調査書を完成させる			
	第11回	内容	実習の持ち物・服装・身支度（保共通）	予習	教科書 p 33 を読んでくる			
				復習	配布資料を読み返す			
	第12回	内容	実習日誌の書き方④～実習の振り返り～ 実習における礼儀・マナー②（保共通）	予習	教科書 p 94～95 を読んでくる			
				復習	礼儀・マナーの復習をする			
	第13回	内容	部分実習について～絵本・手遊び・保育実技～	予習	教科書 p 48～67 を読み復習する			
				復習	実習時期にあう絵本・手遊びを調べてくる			
	第14回	内容	教育実習日誌指導①～定型部分～	予習	日誌の書式の確認をしてくる			
				復習	日誌の書き方の復習をする。			
	第15回	内容	実習生調査書完成（写真添付） 教育実習日誌指導②～定型部分続き～	予習	日誌の書き方についてワークブックを読んでくる			
				復習	書き方を復習する			
	第16回	内容	実習にかかわる通勤方法 配当について・配当発表	予習	実習の手引きの該当ページを読んでくる			
				復習	実習先について調べる（通勤方法や園の特徴など）			
	第17回	内容	オリエンテーションについて	予習	教科書 p 30～31 を読んでくる			
				復習	オリエンテーションで聞くことをまとめる			
	第18回	内容	教育実習日誌指導③～保育の記録～	予習	ワークブックを読んでくる			
				復習	書き言葉などの復習をする			
	第19回	内容	教育実習日誌指導④～振り返り～ 指導案の書き方について①～説明～	予習	エピソード記録を書いてみる			
				復習	指導案の書き方についての復習をする			
		内容			予習	指導案の例を教科書でいくつかみる		

	第 20 回		指導案の書き方について②～ワーク～	復習	指導案を完成させる
	第 21 回	内容	感染症予防についての指導・抗原検査等の説明	予習	実習中の感染症予防について考えてくる
				復習	配布資料を読み復習する
	第 22 回	内容	直前チェック・実習中の諸手続きについて	予習	直前チェックを確認してくる
				復習	直前チェックを自分でおこなう
	第 23 回	内容	前期教育実習の振り返り 実習概要報告書作成指導	予習	前期教育実習の振り返りをまとめてくる
				復習	概要報告書を完成させる
	第 24 回	内容	前期実習自己評価記入 後期教育実習の概要①	予習	自己評価について考えてくる
				復習	後期実習の概要の復習をする
	第 25 回	内容	指導案作成指導①～ラフ案作成～ 日誌提出	予習	製作物の見本を作ってくる
				復習	指導案を書く
	第 26 回	内容	指導案作成指導②～指導案作成～ 評価面談	予習	指導案を書いてくる
				復習	評価面談の内容の受け、後期の課題を考える
	第 27 回	内容	後期調査書下書き作成指導① 評価面談	予習	後期実習に向け、自己評価のワークをしてくる
復習				評価面談の内容の受け、後期の課題を考える	
第 28 回	内容	先輩からの実習報告 評価面談	予習	指導案作成について復習する	
			復習	先輩からの報告の感想をまとめる	
第 29 回	内容	後期調査書下書き作成指導② 評価面談	予習	後期実習の抱負を考えてくる	
			復習	調査書を完成させる	
第 30 回	内容	評価面談	予習	前期実習の総括を行う	
			復習	評価面談の内容の受け、後期の課題を考える	
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	評価面談にて実習の評価を伝え、後期実習につなげていく。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 70 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 30 %）				
教科書	『幼稚園・保育所実習パーフェクトガイド』（小櫃智子他 2 名、わかば社） 『実習の手引き』（秋草学園短期大学・実習委員会）				
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）				
補足事項	1. 実習について必要な事柄や注意事項の説明，提出書類の作成を行うので，原則として欠席は認めない。 2. 実習書類の遅延，授業態度の怠慢等は「実習派遣規制」によって禁じられており，実習派遣できなくなるので十分に留意すること。 3. 必要な資料は授業内で適宜、配布する。 4. 先輩からの報告の時期は前後する場合がある。				

科 目 名	教育実習指導Ⅱ		単 位 数	1	授業時間数	60	担当教員	いざわ おおくま 伊澤・大熊
ナンバリングコード	EDU12206		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）							
授 業 の 内 容	教育実習Ⅱと並行して行われる授業であり、後期教育実習に関する事前事後の指導を行う。具体的には、後期教育実習の目的、幼稚園の機能、幼稚園教諭の職務内容について学ぶとともに、実習手続きに必要な書類の作成の指導を行っていく。後期実習における実習内容や目的、実習記録の方法、指導計画の理解と作成について学習することを目的とする。							
到 達 目 標	1．後期教育実習の事前準備として、実習の心構えを理解し、実習に必要な態度や意欲を持っている。 2．後期教育実習の事前準備として、実習の課題を明確にしている。 3．実習の事前事後指導を通し、保育者としての資質・能力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（1，2，3）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授 業 計 画	第1回	内容	実習生調査書の書き方と記入	予習	実習生調査書への記入項目について事前に考えておく			
				復習	記入内容について確認する			
	第2回	内容	個人情報保護について 実習課題を考える	予習	手引きの該当部分を読み込んでおく 前期実習の日誌等をもとに前期実習の振り返りを行う			
				復習	個人情報保護について自身の日々の行動についての振り返りを行う 実習課題を再考する			
	第3回	内容	後期実習について 責任実習について	予習	手引きの該当部分を読み込んでおく			
				復習	後期実習や責任実習についてのまとめを行う			
	第4回	内容	実習園オリエンテーションについて 実習指導案について	予習	指導案の立案について下調べをしておく			
				復習	指導案を立案する意義と目的についてまとめる			
	第5回	内容	保育の記録の書き方について	予習	前期実習で記入した保育の記録の仕方について振り返りを行う			
				復習	前期実習で記入した保育の記録の修正点等を探る			
	第6回	内容	健康管理について	予習	自身の日常の健康管理についての振り返りを行う			
				復習	実習に向けての健康管理法について考える			
	第7回	内容	部分実習指導案について	予習	指導案の記入方法についての振り返りを行う			
				復習	指導案例を作成する			
	第8回	内容	保育の記録と指導案の関係について	予習	保育の記録と指導案への記載内容について確認しておく			
				復習	保育の記録と指導案の共通点と相違点をまとめる			
	第9回	内容	実習日誌のチェック お礼状の書き方	予習	実習日誌の確認を行う お礼状の書き方について調べておく			
				復習	お礼状を書く練習をする			
	第10回	内容	実習概要報告書の作成	予習	実習の振り返りを行う			
				復習	作成した実習概要報告書の確認を行う			
	第11回	内容	実習の振り返りを行う（1）	予習	実習の振り返りを行う			
				復習	改めて実習の成果や課題をまとめる			
	第12回	内容	実習の振り返りを行う（2） グループワーク	予習	実習の振り返りを行う			
				復習	改めて実習の成果や課題をまとめる			
	第13回	内容	振り返りのワーク（1）	予習	実習の振り返りを行う			
				復習	課題を仕上げる			
	第14回	内容	振り返りのワーク（2）	予習	実習の振り返りを行う			
				復習	課題を仕上げる			
	第15回	内容	振り返りのワーク（3）	予習	実習の振り返りを行う			
				復習	課題を仕上げる			
	第16回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる			
				復習	評価を受けて、省察する。			
	第17回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる			
				復習	評価を受けて、省察する。			
	第18回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる			
				復習	評価を受けて、省察する。			
	第19回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる			
				復習	評価を受けて、省察する。			

	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。
課題へのフィードバック	個別面談にて実習に関する評価を伝える。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60%）、授業態度【 主体的取組 】（40%）
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）
補足事項	1. 実習について必要な事柄や注意事項の説明，提出書類の作成を行うので，原則として欠席は認めない。 2. 実習書類の遅延，授業態度の怠慢等は「実習派遣規制」によって禁じられており，実習派遣できなくなるので十分に留意すること。

【幼児教育学科第一部・二部】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/pdf/infant1_resume/yk_syllabus_2023.pdf

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	小口偉・塩崎みづほ・ 小山玲子	107
2	施設実習	2	実習	志濃原亜美・三好力	108
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	小口偉・塩崎みづほ・ 小山玲子	109
4	教育実習Ⅰ	2	実習	大熊美佳子・北澤明子	118
5	教育実習Ⅱ	2	実習	大熊美佳子・伊澤永修	119
計		10			

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。